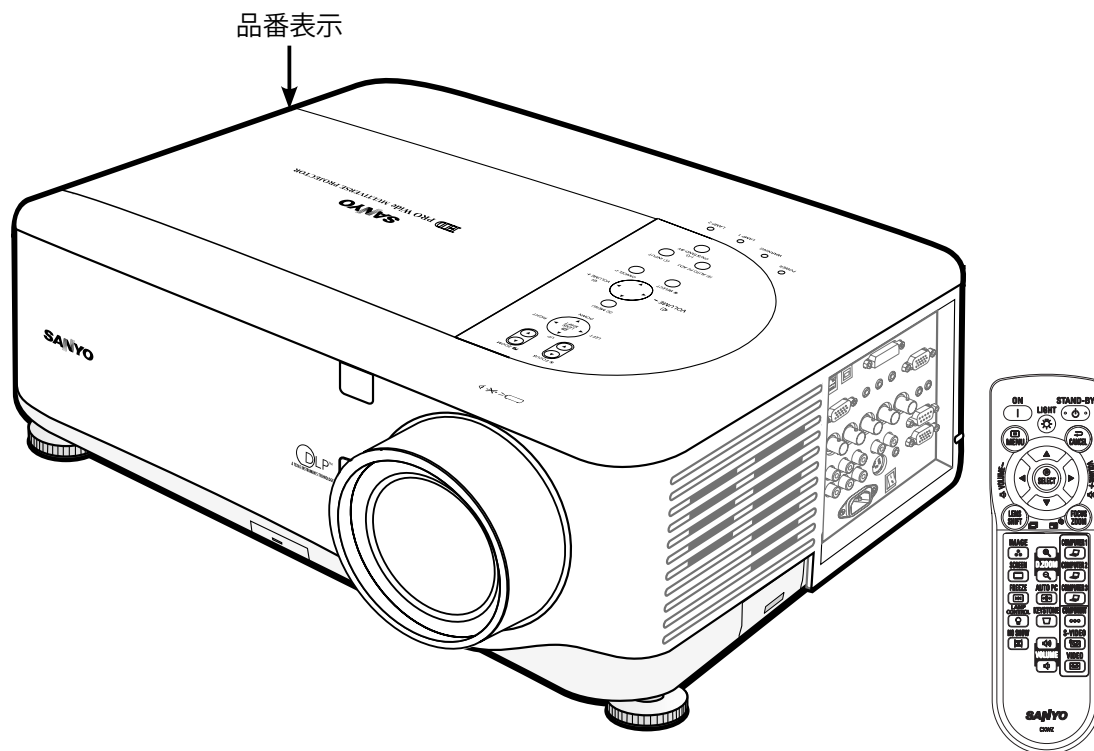
取扱説明書

DLP® プロジェクター
品番 PDG-DWT50JL

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。とくに 3 ～ 12 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

保証書は必ずお受け取りください

品番表示

※レンズは別売です。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

・ このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
・ 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
・ 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものと異なります。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■ 絵表示について

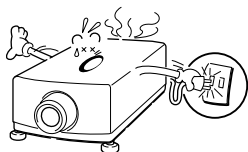
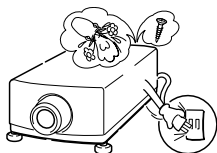
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

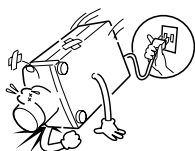
	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
●	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠警告

警告

電源プラグを
コンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

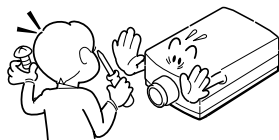
・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた

このような異常状態や故障状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。

禁　止

水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

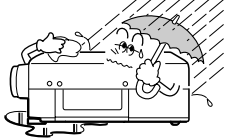
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠警告

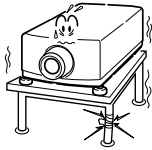
風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

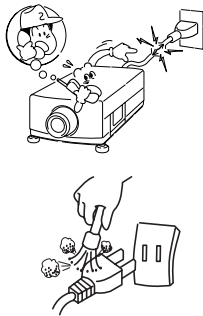
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

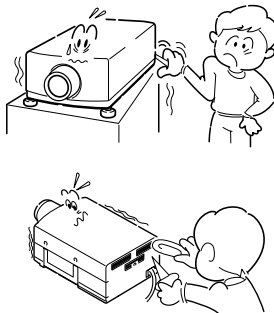
禁　止

不安定な場所に置かないでください。

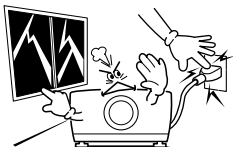
ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

電源コードの取扱に注意してください。

・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
　コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
・電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
　コードが破損して、火災・感電の原因となります。
・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）

吸気口・排気口にご注意ください。

禁　止

・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
・本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠警告

禁　止

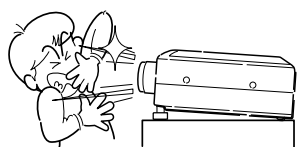
本機を改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機はアースリード線の付いた 2 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードのアースリード線を接地してください。（詳しくは、46 ページを参照してください。）

警　告

使用中はレンズをのぞかないでください。

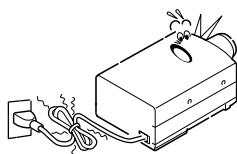
強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

警　告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

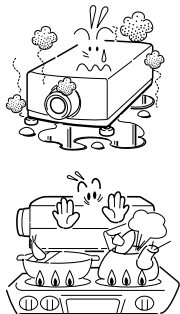
取付が不十分のときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

禁　止

電源コードの取扱いにご注意ください。

●電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。

●電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

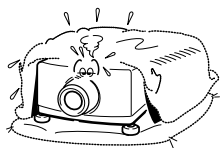
禁　止

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

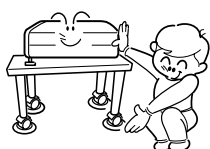
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

⚠注 意

禁　止

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。
吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●設置のときは、ファンの排気口を壁から 1 メートル以上あけてください。
●空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
●次のような使い方はしないでください。
　＊ 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
　＊ 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
　＊ じゅうたんや布団の上に置く。
　＊ テーブルクロスなどを掛ける。
●また、壁など、周囲のものからじゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方 20cm、側面 50cm、後面排気口 1m 以上）

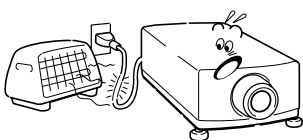
注　意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

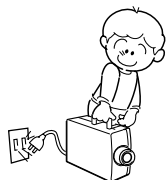
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意ください。

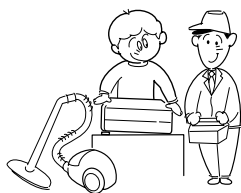
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、レンズを取り外し、レンズ穴カバーを取り付けて、輸送用の専用ケースに入れてください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

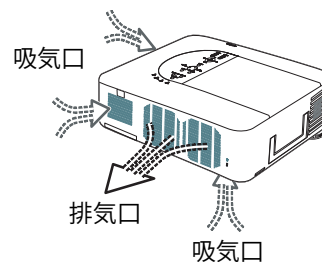
- スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- 観葉植物やペットを置かないでください。
- 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- 排気口付近には視聴席を設けないでください。

注 意

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

吸気口

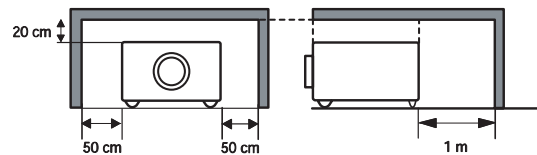
排気口

吸気口

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 40℃	保管温度範囲	－10℃～ 60℃

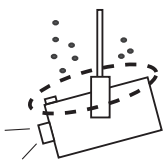
● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方 20cm、側面 50cm、後面排気口 1m 以上）

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 200 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 111-114 ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

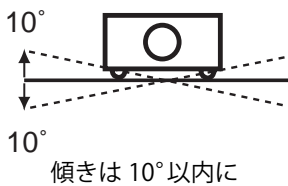
注　意

正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。
指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、火災や事故の原因となります。

使用禁止方向

以下の方向では使用しないでください。

傾きは 10˚ 以内に

プロジェクターを左右方向の傾きは各 10 度以内としてください。

上向き禁止

上向きに設置して投映しないでください。

横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。

下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

プロジェクター取り扱い上のご注意

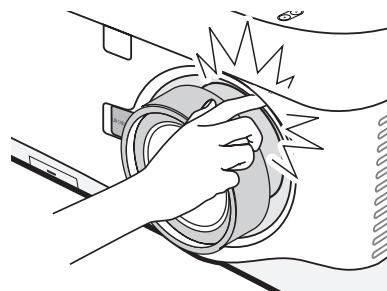
注　意

・プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
・プロジェクターを立てて置くときは、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。

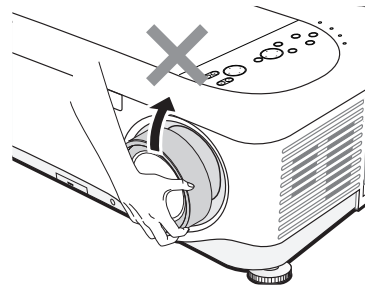
接触禁止

指挟み注意

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。

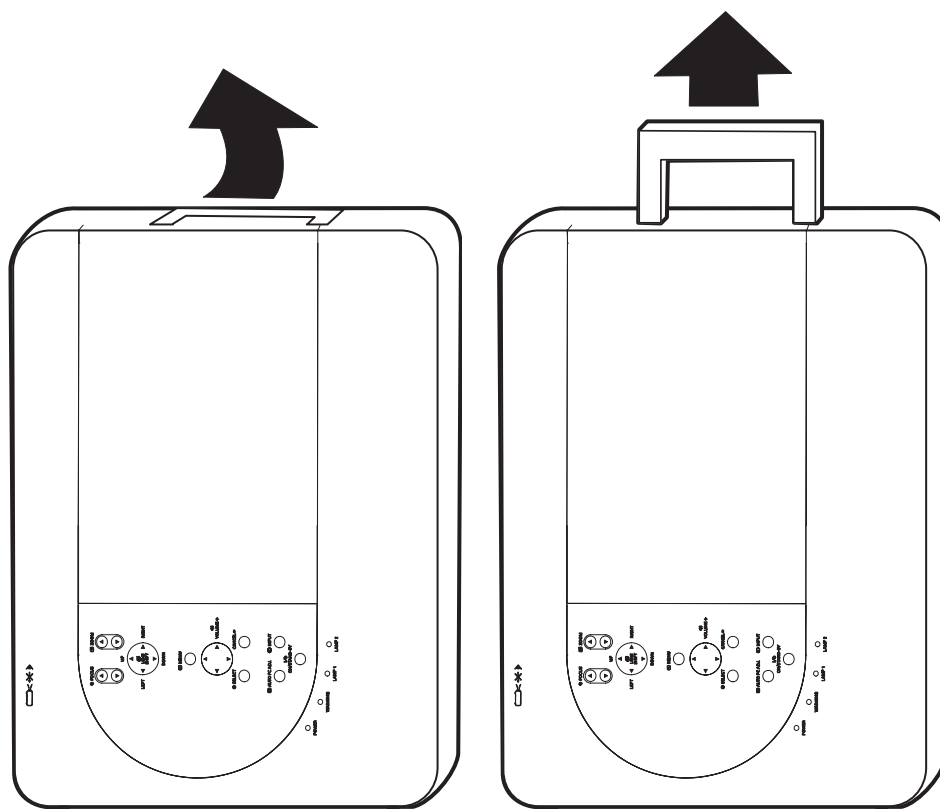
・レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
・お子様がレンズに触れないように注意してください。

プロジェクターを持ち抱えるときのご注意

注　意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護キャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。

プロジェクターを持ち運ぶ際のご注意

プロジェクターを持ち運ぶときは、必ず取っ手を持ってください。
プロジェクターを動かすときは、本体に接続された電源コードなどのケーブルをすべて外してください。
プロジェクターを動かすときや使用しないときは、レンズキャップをはめてください。

プロジェクターの取っ手を引き出す手順は、次のとおりです。

1. 下図のとおり、プロジェクターを立てます。
2. 取っ手を矢印方向に引き出します。

 メモ

プロジェクターを立てるときは、取っ手を使わずにキャビネットを持ち上げてください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

● 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。

● ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。

● 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP 1/2］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。

● 万が一、ランプが破裂した場合、生じたガスを吸い込んだり目や口に入ったりしないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

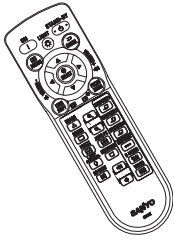
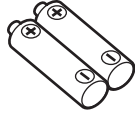
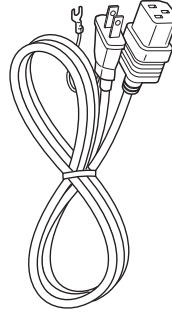
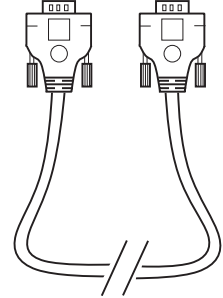
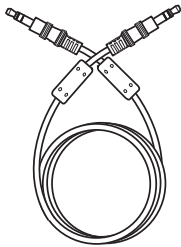
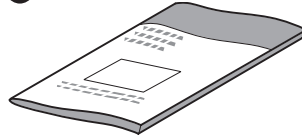
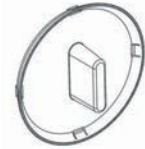
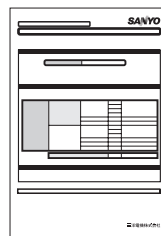
⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

目次

準　備

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確めください。

＊　暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。（68 ページを参照してください。）

万一、部品が不足していたり損傷している場合、または装置が適正に機能しない場合は、直ちにお買い上げの販売店にご連絡ください。

PDG-DWT50JL の特長

特長

高解像度 DLP® プロジェクター
BrilliantColor™ と 6 セグメントカラーホイール（別売）の組み合わせにより、色再現性が向上。

柔軟な設置
本機には､電動レンズシフト機能､天吊り & リア投映､簡単に脱着できるレンズ取り外しボタン､電動レンズ（別売）など､便利な機能が多数あります。

複数のインタフェース端子を装備
本機には、様々なタイプのデバイスや信号に対応した複数のインタフェース端子が用意されています。

2 灯ランプコントロールシステム
高輝度、長寿命、低消費電力のランプを採用した 2 灯ランプコントロールシステム。ランプコントロール機能によりランプの明るさを選択できます。また、パワーマネージメント機能は、消費電力を抑え、ランプの寿命を維持します。

簡単なコンピュータシステム設定
コンピュータのほとんどすべての出力信号に対応する「マルチスキャンシステム」機能を搭載しています。UXGA までの解像度に対応します。

セキュリティ機能
セキュリティ機能が、プロジェクターを盗難から守ります。キーロック機能を使用すると、操作パネルでの操作がロックされます。暗証番号ロック機能により、不正使用を防止できます。

多言語メニュー表示
操作メニューは、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、スウェーデン語、中国語、日本語の 8 カ国語に対応しています。

多目的リモコン
リモコンは、ワイヤードまたはワイヤレスで使用でき、8 種類のリモコンコードがあります。

3W + 3W ステレオスピーカー
3W スピーカー 2 本内蔵。

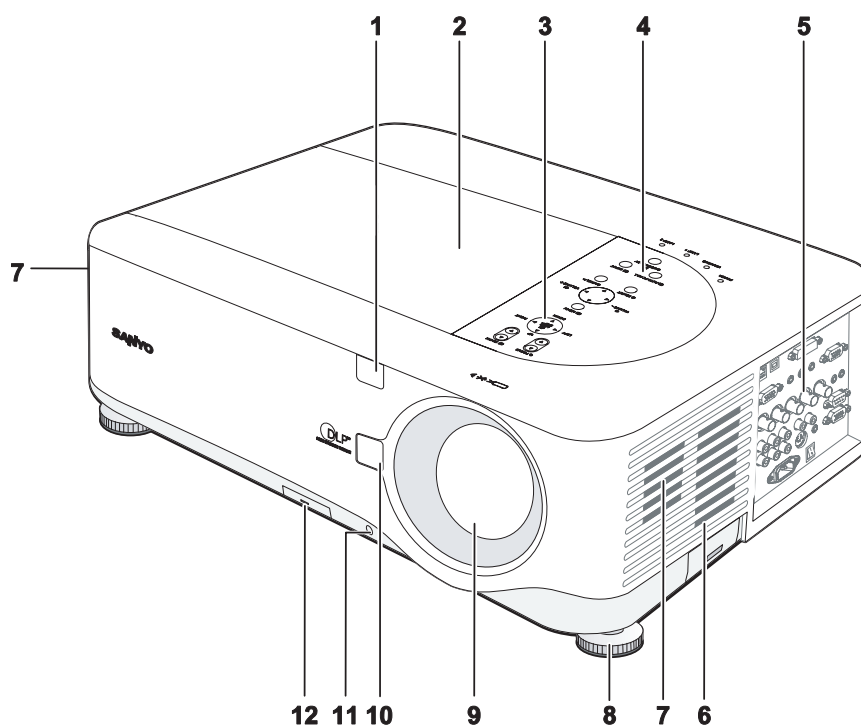
便利なメンテナンス機能
プロジェクターを常に適正な状態で使えるように、ランプおよびフィルターのメンテナンス機能を搭載しています。メンテナンスカバーを開けると、ランプやカラーホイールが簡単に交換できます。

ダイレクトパワーオフおよびオンスタート機能
ダイレクトパワーオフ機能により、画像が投映されている場合でも、切替器 / ブレーカ内蔵ケーブルタップを使用してプロジェクターの電源を切ることができます。オンスタート機能を使用すると、電源コードを接続するだけでプロジェクターの電源が入ります。

メモ

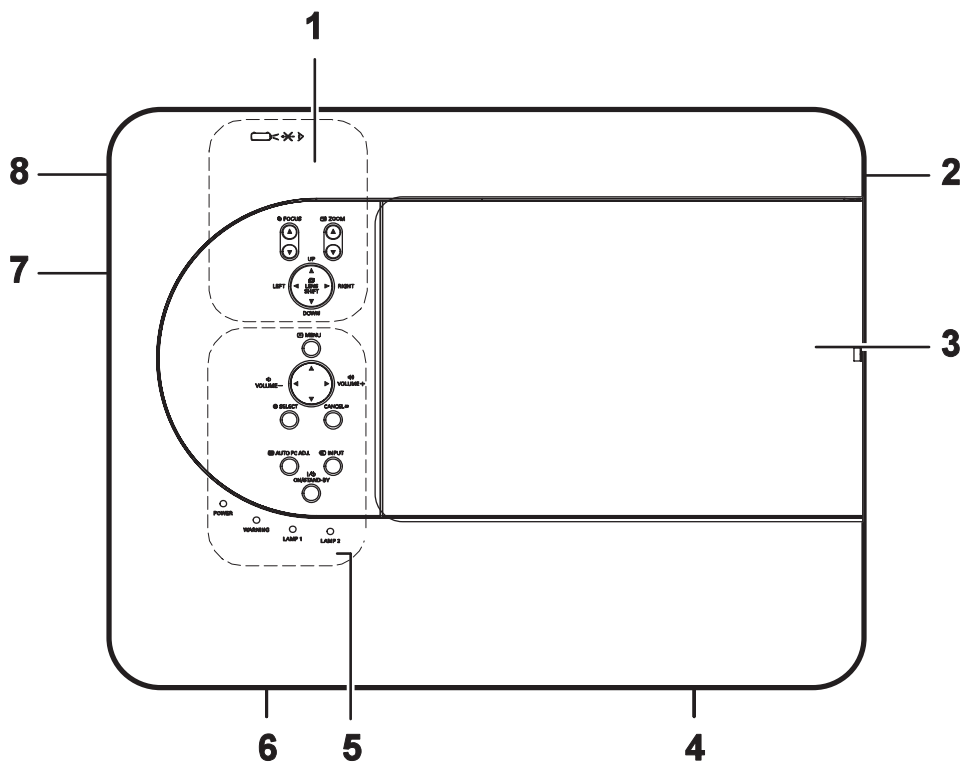
ダイレクトパワーオフ機能は、プロジェクターの電源を入れ、画像を投映してから 20 分以上経過してから使用してください。プロジェクターの電源を切った後、直ちに電源コードを外すことができます。
オンスタート機能を使用すると、リモコンまたは本機キャビネットの [POWER (ON/STAND-BY)] ボタンを押す必要はありません。

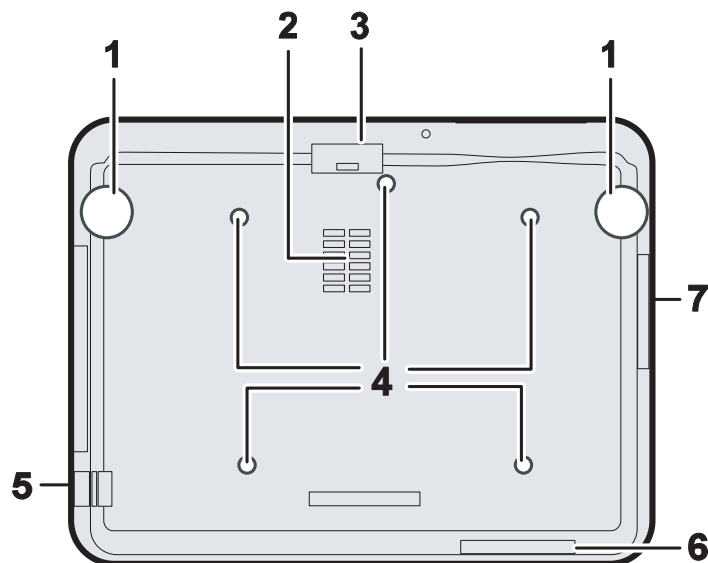
本体各部の名称

前面

項　目	名　称	仕　様	参照ページ
1.	リモコン受信部	リモコンからの IR 信号を受信します。	26
2.	ランプカバー	ランプまたはカラーホイールを交換するときは、このカバーを外してください。	115
3.	レンズ操作パネル	「レンズ操作部」を参照してください。	22
4.	OSD 操作パネル	「OSD 操作部およびステータス LED」を参照してください。	23
5.	I/O 端子部	各種の入力装置を接続します。	24
6.	吸気口	ランプ冷却用通気口です。ふさがないように注意してください。	—
7.	スピーカー	内蔵ステレオスピーカー	—
8.	調整脚	投映画面の高さを調整します。	53
9.	レンズ	本機を使用する前にレンズキャップを外してください。	—
10.	レンズ取り外しボタン	レンズ取り外しボタンを押しながらレンズを外します。	—
11.	盗難防止ネジ穴	レンズを盗難から保護します。	—
12.	吸気口 / 前面エアフィルター	前面ファンにほこりが入らないように保護します。 • プロジェクターの性能を維持するために定期的に掃除してください。 • 吸気口をふさがないでください。	111

重要

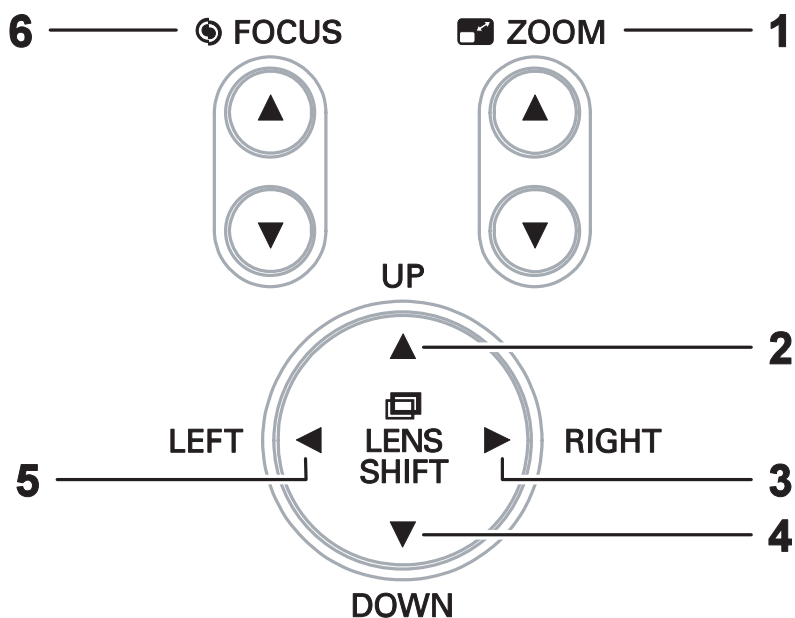
プロジェクター本体の通気口は、プロジェクター内部のランプの温度上昇を防ぎます。通気口はふさがないように注意してください。

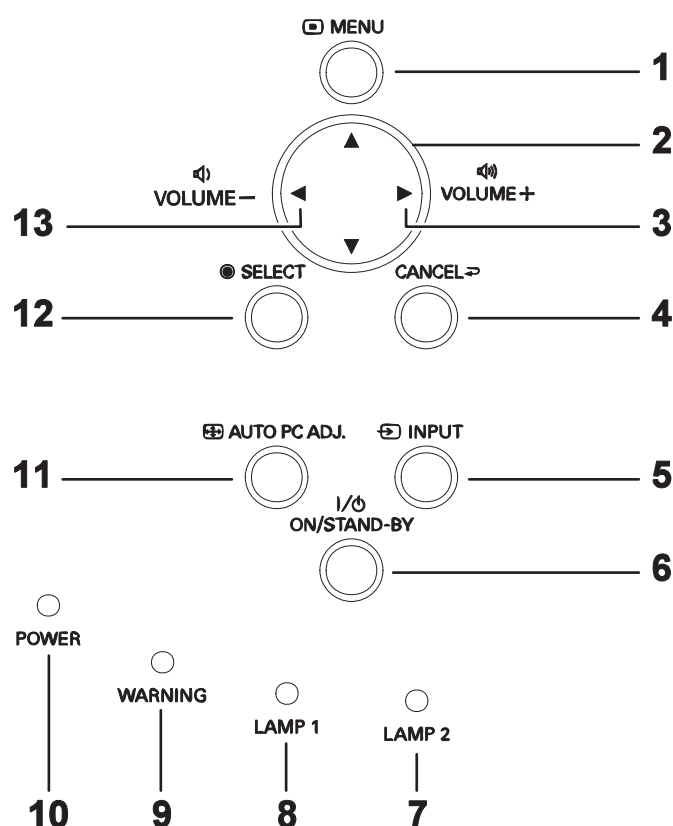
上面

項　目	名　称	仕　様	参照ページ
1.	レンズ操作パネル	「レンズ操作部」を参照してください。	22
2.	右側スピーカー		—
3.	ランプカバー	ランプまたはカラーホイールを交換するときは、このカバーを外してください。	115
4.	排気口	ふさがないように注意してください。	—
5.	OSD 操作パネル	「OSD 操作部およびステータス LED」を参照してください。	23
6.	後部吸気口	冷却ファン用の吸気口です。ふさがないように注意してください。	—
7.	左吸気口	冷却ファン用の吸気口です。ふさがないように注意してください。	—
8.	左側スピーカー		—

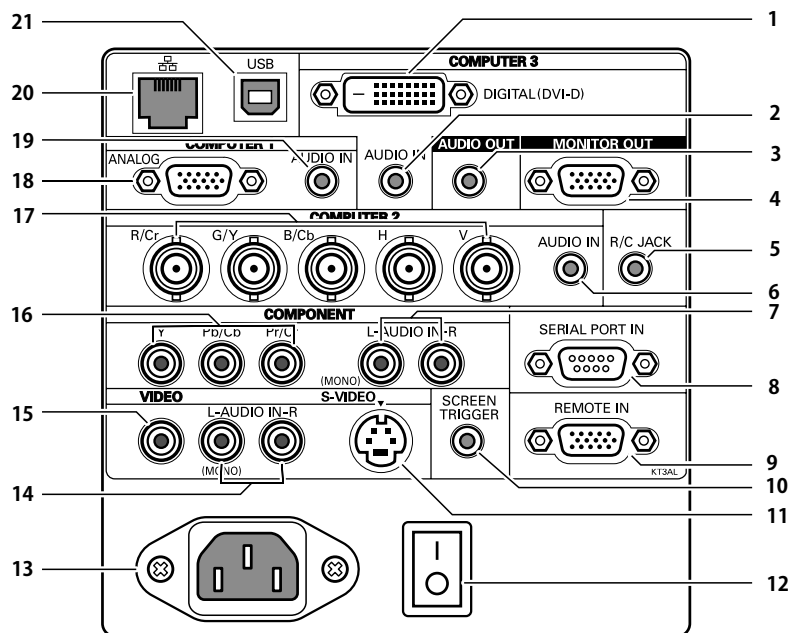
底面

項　目	名　称	仕　様	参照ページ
1.	調整脚	投映画面の高さを調整します。	53
2.	吸気口	カラーホイール冷却用吸気口です。ふさがないように注意してください。	—
3.	前面エアフィルター	ファンにほこりが入らないように保護するフィルターです。プロジェクターの性能を維持するために定期的に掃除してください。	111
4.	天吊り用のネジ穴	プロジェクター本体の天井取り付けに関する詳細は、お買い上げの販売店におたずねください。	—
5.	盗難防止用チェーンホール	盗難防止装置取り付け用。「物理的ロックを使用する」を参照してください。	70
6.	背面エアフィルター	ファンにほこりが入らないように保護するフィルターです。プロジェクターの性能を維持するために定期的に掃除してください。	111
7.	側面エアフィルター		

天井から吊り下げて使用する場合は、適用される規格に準拠した取り付け金具および M4 ネジを使用してください（ネジ込み深さ：12mm）。通気のために、天井 / 壁面から 20cm 以上、蛍光灯から 1m 以上離してください。常設使用については、使用する地域の基準に従ってください。

上面操作部

レンズ操作部

項　目	名　称	仕　様	参照ページ
1.	ZOOM	投映サイズを調整します。	60
2.	UP ボタン	映像の位置を上下左右に調整します。	—
3.	RIGHT ボタン		
4.	DOWN ボタン		
5.	LEFT ボタン		
6.	FOCUS	フォーカスを調整します。	60

OSD 操作部およびステータス LED

項　目	名　称	仕　様	参照ページ
1.	MENU	OSD メニューを表示します。	71
2.	UP/DOWN/ LEFT/RIGHT ボタン	設定の操作・変更を行います。	71
3.	▶/VOLUME ＋	音量を上げます。	55
4.	CANCEL	OSD を終了します。	71
5.	INPUT	インプット（入力）を切り替えます。	49
6.	ON/STAND-BY	電源を入れる、または切ります（本体の側面にある主電源スイッチを入れておく必要があります）。 このボタンを押すと、プロジェクター本体はスタンバイモードになります。	47
7.	LAMP 2（LED）	「インジケータ表示」を参照してください。	118
8.	LAMP 1（LED）	「インジケータ表示」を参照してください。	118
9.	WARNING (LED)	「インジケータ表示」を参照してください。	118
10.	POWER (LED)	「インジケータ表示」を参照してください。	118
11.	AUTO PC ADJ.	イメージのサイズ、位置、解像度を最適化します。	54
12.	SELECT	OSD の設定の選択・変更を行います。	71
13.	◀/VOLUME －	音量を下げます。	55

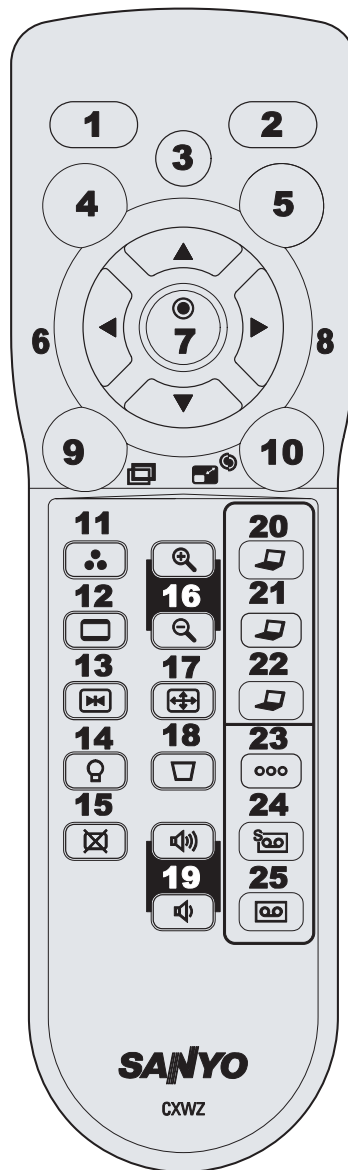
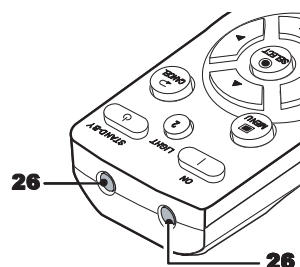
端子パネル

項　目	名　称	機　能	参照ページ
1.	COMPUTER 3 IN	コンピュータ接続ケーブル（DVI-D 用）を接続します。	42
2.	AUDIO IN (COMPUTER 3)	ビデオ機器からの音声ケーブル（別売）を接続します。	—
3.	AUDIO OUT	音声入力のループスルー	—
4.	MONITOR OUT	モニターを接続します。	—
5.	R/C JACK	リモコンのワイヤードリモコン端子のリモコン接続コードをこの端子に接続します。	30
6.	AUDIO IN (COMPUTER 2)	ビデオ機器からの音声ケーブル（別売）を接続します。	—
7.	AUDIO IN [L(MONO)/R] (COMPONENT)	左右のチャネルに接続されている入力装置の音声ケーブル（別売）を接続します。	—
8.	SERIAL PORT IN	PC を接続します。	129
9.	REMOTE IN	外部制御用	136
10.	SCREEN TRIGGER	市販のケーブルを使用してスクリーンを接続すると、プロジェクター本体の起動時にスクリーンが自動的に下降します。プロジェクター本体の電源を切ると、スクリーンは上昇します（次頁のメモを参照してください）。	131
11.	S-VIDEO	ビデオ機器からの S- ビデオケーブル（市販品）を接続します。	45
12.	主電源スイッチ	本体の電源を入れる、または切ります。	47
13.	電源コード端子	付属の電源コードを接続します。	46

項　目	名　称	機　能	参照ページ
14.	AUDIO IN [L(MONO)/R] (VIDEO)	左右のチャネルに接続されている入力装置の音声ケーブル（別売）を接続します。AUDIO ジャックは S-VIDEO と共有します。	45
15.	VIDEO IN	ビデオ機器からのコンポジットビデオケーブルを黄色の RAC ジャックに接続します。（本機には、このケーブルは付属していません。）	45
16.	COMPONENT IN （Y, Cb/Pb, Cr/Pr）	コンポーネントビデオ信号対応の機器を接続します。	44
17.	COMPUTER 2 IN （R/Cr, G/Y, B/Cb, H, V）	コンピュータまたはコンポーネントビデオ信号対応の機器からのアナログ信号を接続します。	—
18.	COMPUTER 1 IN	コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）を接続します（このケーブルは付属品）。	42
19.	AUDIO IN (COMPUTER1)	COMPUTER1 からの音声ケーブル（別売）を接続します。	42
20.	LAN	コンピュータからの LAN ケーブルを接続します。（本機にはこのケーブルは付属していません。）	—
21.	SERVICE	サービス専用端子です。	—

メモ：スクリーントリガについて

- この機能を使用するには、OSD 操作部でスクリーントリガ機能をオンにする必要があります。
- スクリーンコントローラは、スクリーンメーカーから提供されサポートされています。
- このジャックは、指定された目的以外には使用しないでください。SCREEN TRIGGER ジャックにワイヤードリモコンを接続すると、リモコンが損傷するおそれがあります。

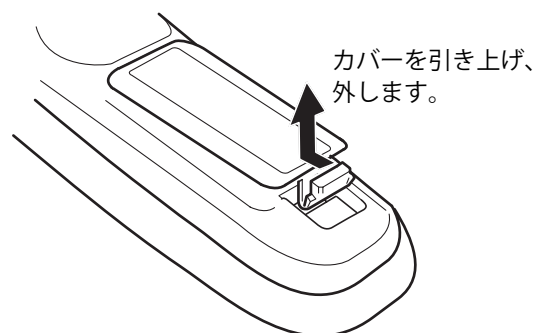
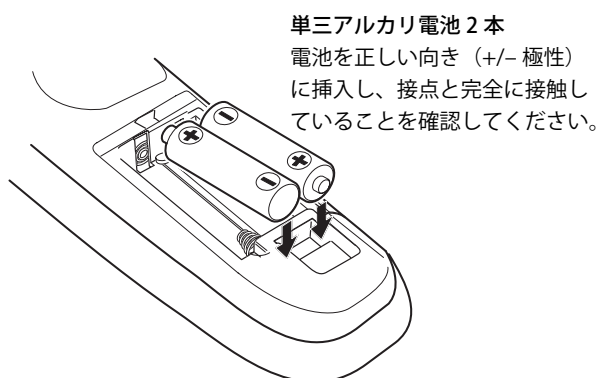
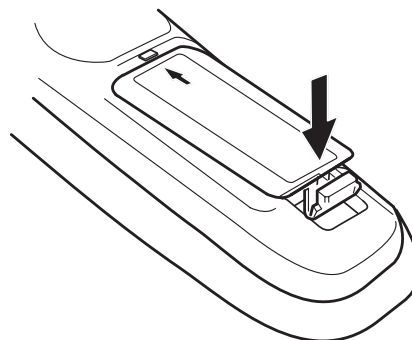
リモコン各部の名称

項　目	名　称
1.	ON
2.	STAND-BY
3.	LIGHT リモコンの操作ボタンを点灯します。
4.	MENU オンスクリーンメニューを表示します。
5.	CANCEL
6.	◀/VOLUME ー
7.	SELECT 選択されたメニューを実行します。
8.	▶/VOLUME +
9.	LENS SHIFT レンズを上下左右にシフトします。
10.	FOCUS/ZOOM フォーカス / ズームを調整します。
11.	IMAGE イメージモードを選択します。
12.	SCREEN 画面サイズを選択します。
13.	FREEZE 画面を一時的に静止させます。
14.	LAMP CONTROL ランプモードを選択します。

名　称	項　目
NO SHOW 画面を一時的に消します。	15.
D. ZOOM ー /+ ズームイン / ズームアウト機能	16.
AUTO PC コンピュータシステムを自動的に調整します。	17.
KEYSTONE 画面の台形ひずみを調整します。	18.
VOLUME ー /+	19.
COMPUTER 1	20.
COMPUTER 2	21.
COMPUTER 3	22.
COMPONENT コンポーネント入力を選択します。	23.
S-VIDEO S- ビデオ入力を選択します。	24.
VIDEO ビデオ入力を選択します。	25.
IR 信号発光部	26.
REMOTE JACK ワイヤードリモコンケーブルを接続します。	27.

電池の入れかた

リモコンには、本機に付属している電池を使用してください。電池を入れる（交換する）手順は、次のとおりです。

1. 電池カバーのロックを押しながら、矢印方向に引き上げ、電池カバーを外します。

2. 極性に注意して、付属の電池を入れます。

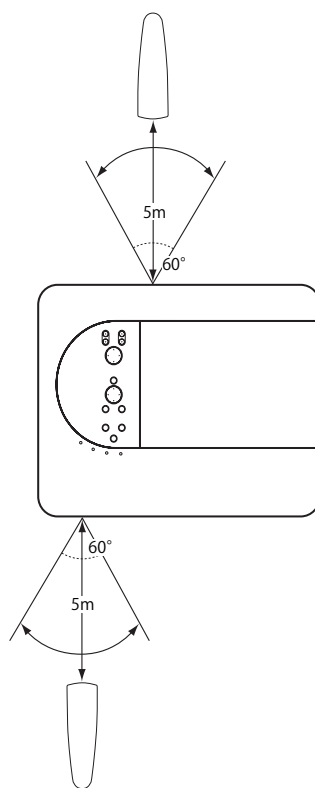
単三アルカリ電池 2 本
電池を正しい向き（+/– 極性）に挿入し、接点と完全に接触していることを確認してください。

3. カバーを元に戻し、図のようにロックします。

電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。
- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- ＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。
- 液が体についたときは、すみやかに洗い流す。

ワイヤレスリモコンで操作できる範囲

リモコンのボタンを押しながら、リモコンを本体のリモコン受信部に向けます。リモコンで操作できる範囲は、本体前面と後面から 5m 以内、上下左右 60度以内です。

リモコン受信部は、本体の前面と後面の両方にありますので、使用状況に応じて使い分けてください。

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

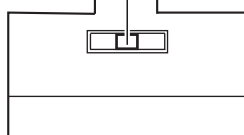
本機は 8 種類のリモコンコード（「コード１」～「コード８」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード２」～「コード８」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるには設定メニュー内で行ないます。（103 ページを参照してください。）

1. ［MENU］ボタンを押します。

2. ［MENU］ボタンを押したまま、［IMAGE］ボタンを押します。［IMAGE］ボタンを押す回数でコードが決まります。

※［MENU］ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り替わります。

リモコンコード	[IMAGE] ボタンを押す回数
コード 1	**1**
コード 2	**2**
コード 3	**3**
コード 4	**4**
コード 5	**5**
コード 6	**6**
コード 7	**7**
コード 8	**8**

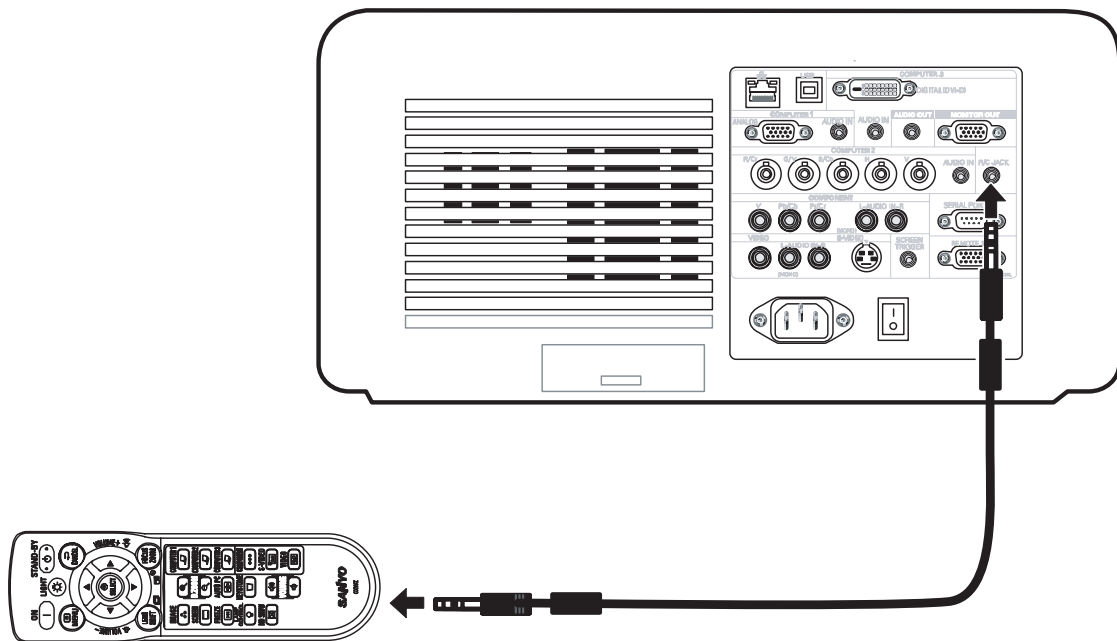
※ 設定したリモコンコードを初期化したいときは、リモコンの電池カバーを開けると中に切り換えスイッチがあります。そのスイッチを右側に倒すと、設定が初期化されます。その後再度左側に戻します。
スイッチが左側［ON］になっていないと、リモコンは使用できません。
※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

リモコン本体のスイッチ

ワイヤードリモコンによる操作

付属のリモコンコードを、本体側面にある端子パネルの [R/C JACK] 端子（24 ページの「端子パネル」を参照してください）に接続し、他端をリモコンのワイヤードリモコン端子（26 ページの「リモコン各部の名称」を参照してください）に接続します。

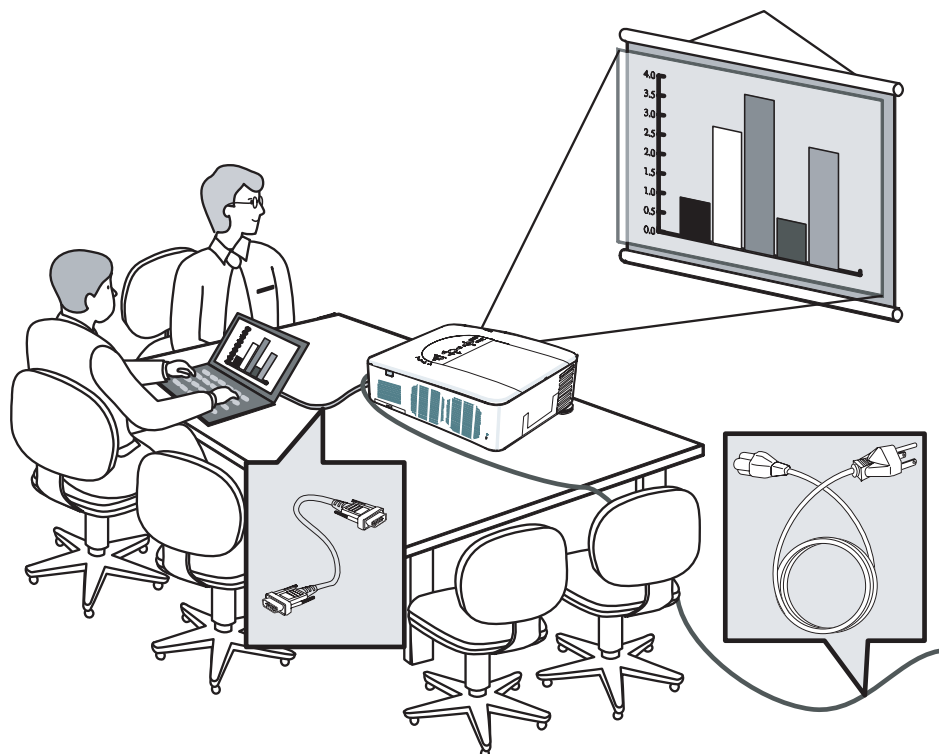
 メモ

ワイヤードリモコンケーブルを端子パネルの [R/C JACK] 端子に接続すると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。

設置・接続

スクリーンとプロジェクターの据え付け

ここでは、プロジェクターを据え付ける方法と、ビデオ機器やオーディオソースを接続する方法について説明します。

本機は簡単に据え付けられ、すぐに使用できます。次の手順で準備してください。

- スクリーンとプロジェクターを据え付けます。
- コンピュータまたはビデオ機器をプロジェクターに接続します。42 ページの「接続」を参照してください。
- 付属の電源コードを接続します。46 ページの「電源コードを接続する」を参照してください。

 メモ

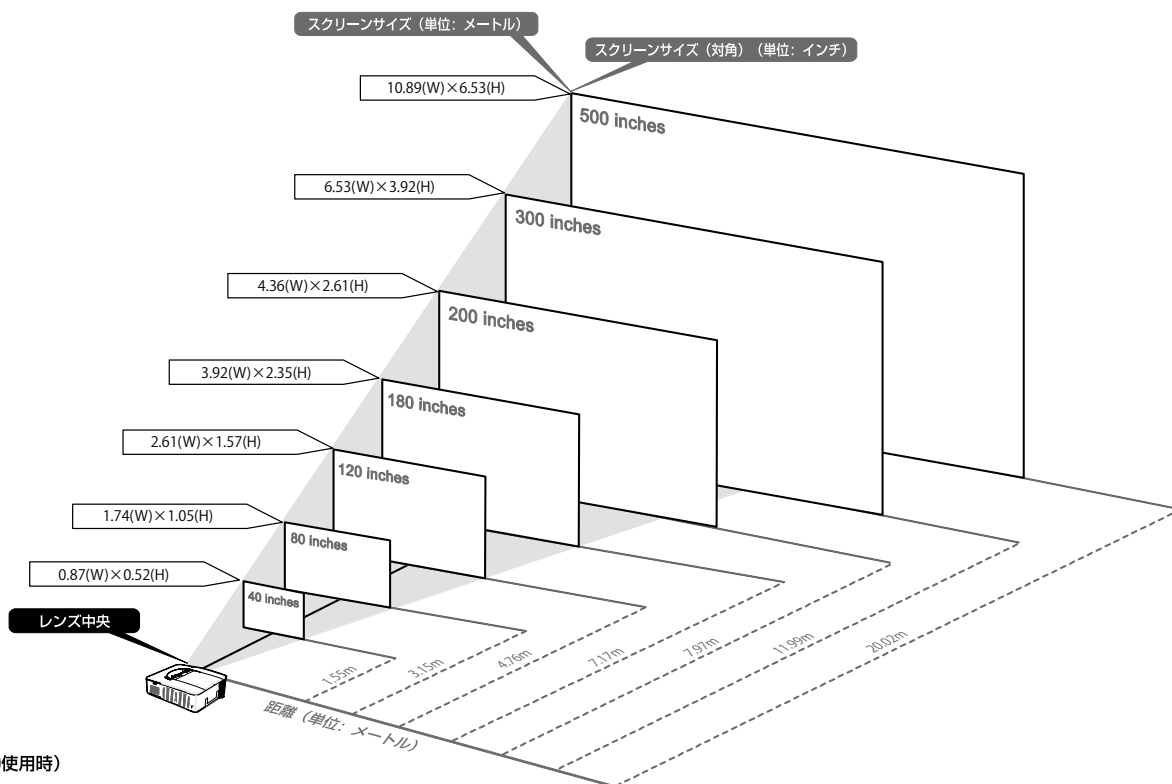
プロジェクターを動かすときは、電源コードなどのケーブルをすべて外してください。プロジェクターを動かすときや使用しないときは、レンズキャップをはめてください。

設置場所を選択する

プロジェクターを正しく設置することにより、最適な状態で使用でき部品の寿命が伸びます。

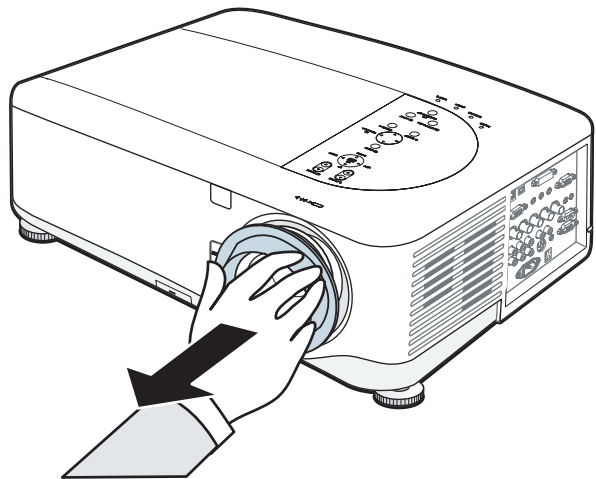
プロジェクターを設置する際は、次のことに注意してください。

- 平らで安定した台の上にプロジェクターを置いてください。
- プロジェクターはスクリーンに対して直角に設置してください。

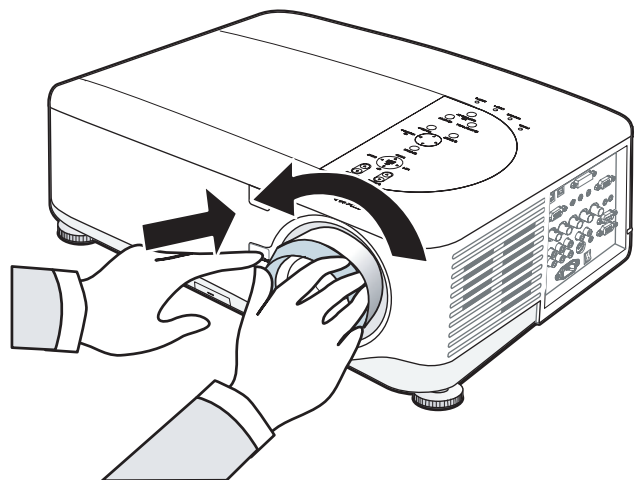
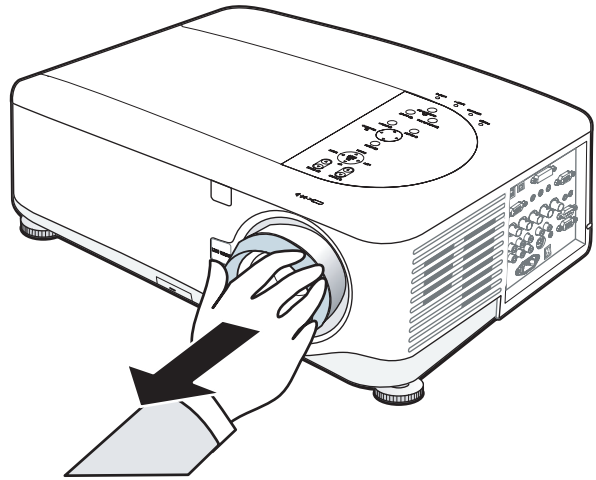
（LNS-S40使用時）

レンズ（別売）の取り付け・取り外し

- プロジェクターやレンズ部品には精密部品が含まれていますので、衝撃を与えたり無理な力を加えないでください。
- プロジェクターを輸送するときは､レンズを外してください。レンズを取り付けたままプロジェクターを輸送すると、レンズやレンズシフトが損傷する恐れがあります。
- レンズの取り付け・取り外しを行う前に、プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まってから、主電源スイッチを切ります。
- レンズの取り付け・取り外しを行うときは、レンズの表面に触れないでください。
- レンズ面に指紋、ほこり、油分がつかないように注意してください。また、レンズ面に傷をつけないでください。
- レンズを扱う際は、平らな面に柔らかい布をしき、レンズ面に傷がつかないようにしてください。
- レンズを外し保管する場合は、レンズキャップをはめて、ほこりが入らないようにしてください。

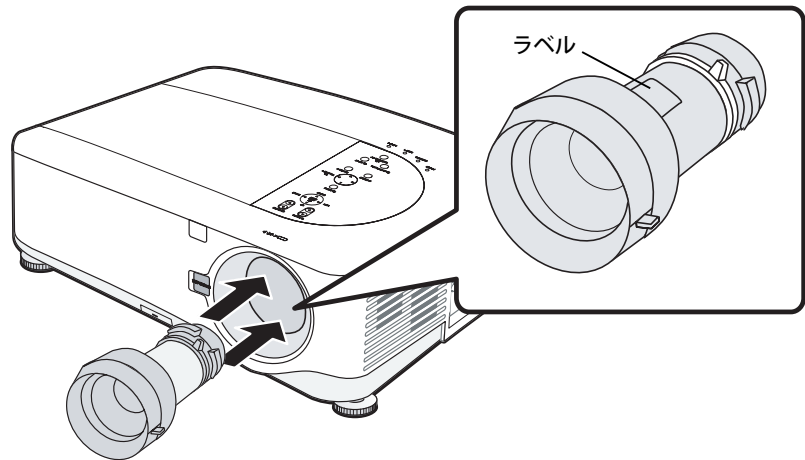
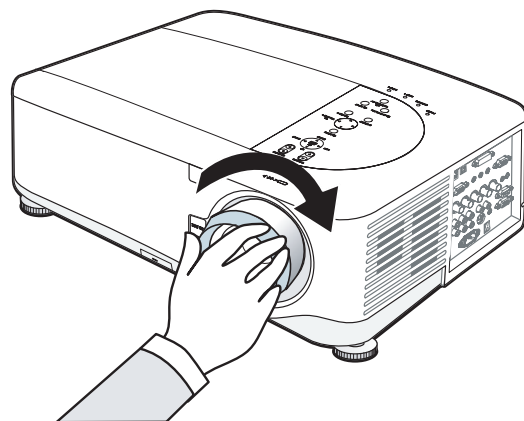
レンズの取り外し

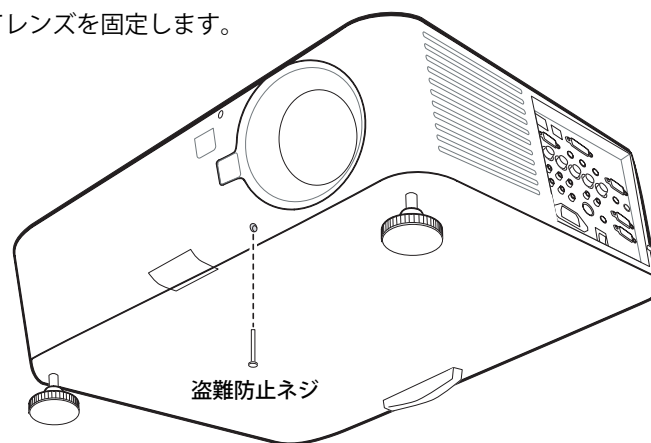
1. レンズキャップを外します。

2. レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回すと、レンズは外れます。

 メモ

レンズ取り外しボタンを押してもレンズが外れない場合は、盗難防止ネジによってレンズがロックされている可能性があります。その場合は、最初に盗難防止ネジを外してください。

3. レンズをゆっくり引き抜きます。

⚠	必ずレンズキャップを外してから、レンズ（別売）をプロジェクターに取りつけてください。レンズキャップを付けたままレンズを挿入すると、プロジェクターが故障する恐れがあります。

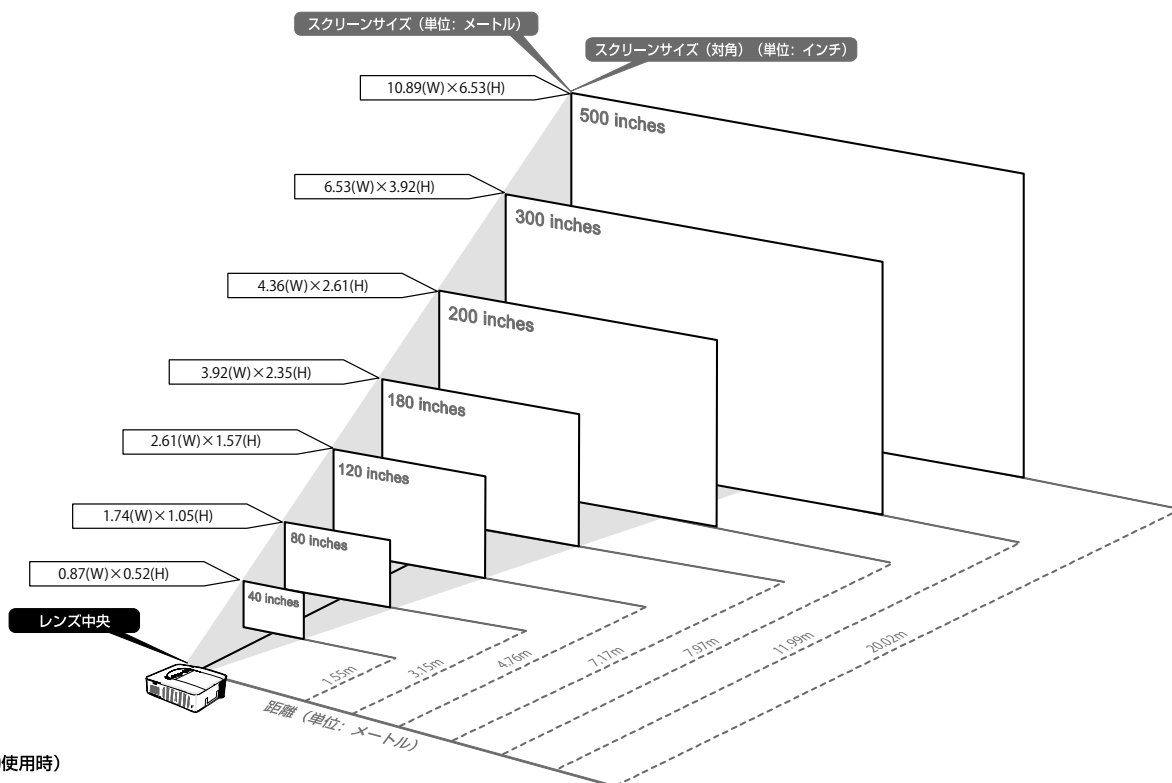
新しいレンズを取り付ける

1. ラベル面を上に向け、
レンズをはめ込みます。

2. 「カチッ」という音がするまでレンズを時計
方向に回します。

盗難防止ネジを取り付ける

盗難防止ネジを使ってレンズの盗難を防止します。
正面下部にある穴に、盗難防止ネジ（付属）を締めてレンズを固定します。

投映距離と画面サイズ

LNS-S40 の例

プロジェクターをスクリーンや壁から離すと、画像は大きくなります。画像の最小サイズ（約 1m）は（対角寸法）、プロジェクターを壁面またはスクリーンから約 1.7m 離したとき得られます。画像の最大サイズ（約 12.7m）は、プロジェクターを壁面またはスクリーンから約 21.4m 離したときに得られます。

（LNS-S40使用時）

スクリーンサイズ			LNS-W41	LNS-W40	LNS-S40
			0.77	1.33 - 1.79	1.78 - 2.35
対角寸法	幅	高さ	距離		
[m]	[m]	[m]	[m]	[m]	[m]
1.02	0.87	0.52		1.15 - 1.57	1.55 - 2.06
1.27	1.09	0.65	0.85	1.45 - 1.97	1.95 - 2.59
1.52	1.31	0.78	1.03	1.75 - 2.38	2.35 - 3.12
1.70	1.47	0.87	1.15	1.96 - 2.66	2.63 - 3.49
1.83	1.58	0.94	1.24	2.11 - 2.86	2.83 - 3.76
2.03	1.74	1.05	1.38	2.35 - 3.19	3.15 - 4.18
2.13	1.83	1.10	1.46	2.47 - 3.35	3.31 - 4.39
2.29	1.96	1.18	1.56	2.65 - 3.59	3.56 - 4.71
2.54	2.18	1.31	1.74	2.95 - 3.99	3.96 - 5.24
3.05	2.61	1.57	2.10	3.56 - 4.80	4.76 - 6.30
3.81	3.27	1.96	2.63	4.46 - 6.01	5.97 - 7.89
4.57	3.92	2.35	3.16	5.36 - 7.22	7.17 - 9.48
5.08	4.36	2.61	3.52	5.96 - 8.03	7.97 - 10.54
5.33	4.57	2.74		6.26 - 8.44	8.38 - 11.07

スクリーンサイズ			LNS-W41	LNS-W40	LNS-S40
			0.77	1.33 - 1.79	1.78 - 2.35
対角寸法	幅	高さ	距離		
[m]	[m]	[m]	[m]	[m]	[m]
6.10	5.24	3.13		7.16 - 9.65	9.58 - 12.66
6.63	5.69	3.41		7.79 - 10.50	10.42 - 13.78
6.86	5.89	3.52		8.06 - 10.86	10.79 - 14.25
7.62	6.53	3.92		8.96 - 12.07	11.99 - 15.85
8.89	7.62	4.57		10.47 - 14.09	14.00 - 18.50
10.16	8.71	5.23		11.97 - 16.11	16.01 - 21.15
11.43	9.80	5.88		13.47 - 18.13	18.02 - 23.80
12.70	10.89	6.53		14.97 - 20.15	20.02 - 26.45

スクリーンサイズ			LNS-T40	LNS-T41
			2.22 - 4.43	4.43 - 8.3
対角寸法	幅	高さ	距離	
[m]	[m]	[m]	[m]	[m]
1.02	0.87	0.52	1.92 - 3.94	3.85 - 7.36
1.27	1.09	0.65	2.43 - 4.95	4.85 - 9.23
1.52	1.31	0.78	2.94 - 5.96	5.85 - 11.11
1.70	1.47	0.87	3.29 - 6.66	6.55 - 12.42
1.83	1.58	0.94	3.55 - 7.17	7.04 - 13.36
2.03	1.74	1.05	3.95 - 7.98	7.84 - 14.86
2.13	1.83	1.10	4.15 - 8.38	8.24 - 15.60
2.29	1.96	1.18	4.46 - 8.99	8.84 - 16.73
2.54	2.18	1.31	4.97 - 10.00	9.84 - 18.60
3.05	2.61	1.57	5.98 - 12.02	11.83 - 22.35
3.81	3.27	1.96	7.50 - 15.05	14.83 - 27.97
4.57	3.92	2.35	9.02 - 18.08	17.82 - 33.59
5.08	4.36	2.61	10.04 - 20.10	19.81 - 37.34
5.33	4.57	2.74	10.54 - 21.11	20.81 - 39.22
6.10	5.24	3.13	12.07 - 24.15	23.80 - 44.84
6.63	5.69	3.41	13.13 - 26.27	25.90 - 48.77
6.86	5.89	3.52	13.59 - 27.18	26.80 - 50.46
7.62	6.53	3.92	15.11 - 30.21	29.79 - 56.08
8.89	7.62	4.57	17.64 - 35.26	34.78 - 65.45
10.16	8.71	5.23	20.18 - 40.31	39.76 - 74.82
11.43	9.80	5.88	22.72 - 45.37	44.75 - 84.19
12.70	10.89	6.53	25.25 - 50.42	49.74 - 93.56

天吊り設置は有資格者が行ってください。詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様による設置作業は行わないでください。

プロジェクターは必ず、強度が十分で平らな面に据え付けてください。プロジェクターが落下し、破損やけがの原因になります。

プロジェクターは、周囲温度が 5℃～ 40℃の範囲で使用してください。この範囲を超える環境では使用しないでください。

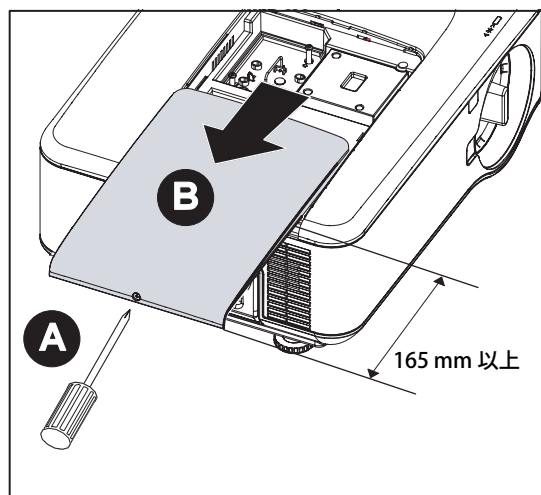
吸気口や排気口をふさがないでください。内部の熱を逃がすために適切な通気を行う必要があります。吸気口や排気口をふさぐとプロジェクターが故障する恐れがあります。

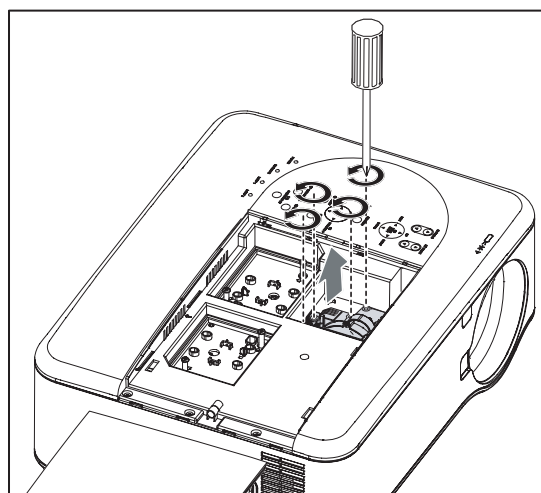
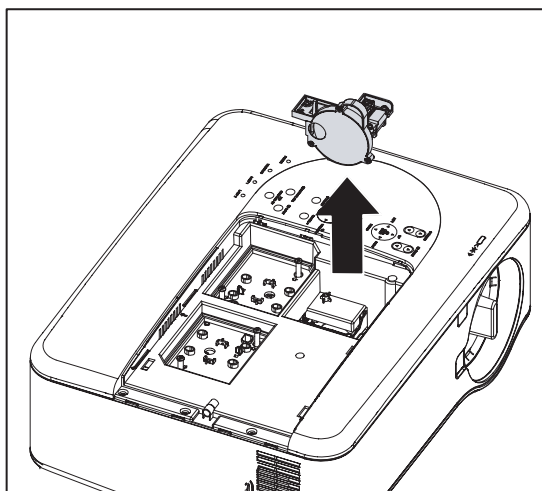
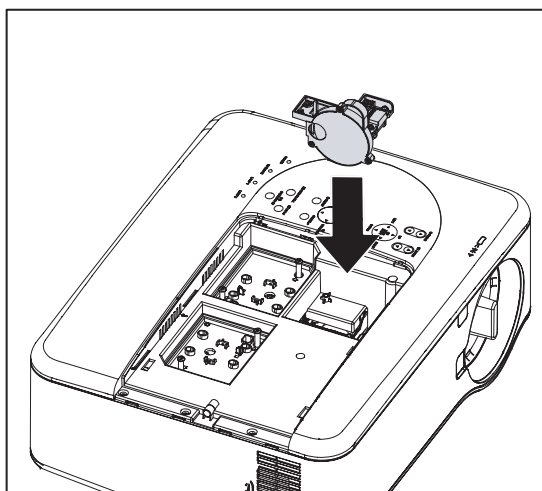
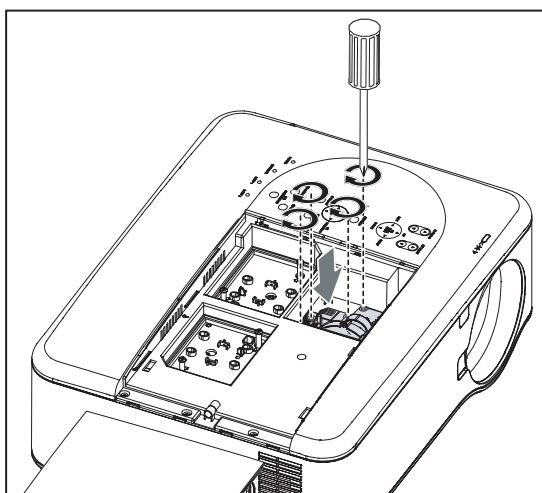
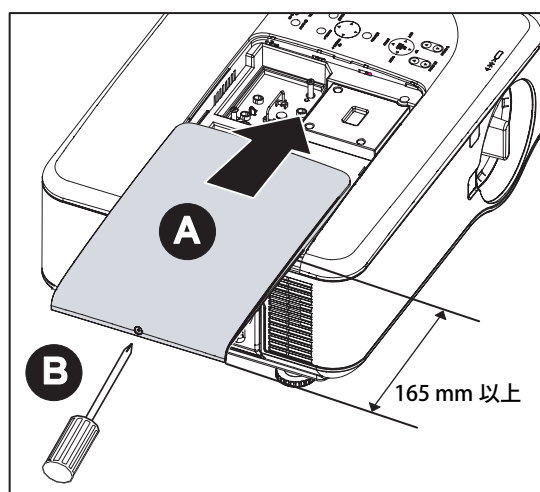
カラーホイール（別売）を取り付ける

PDG-DWT50JL プロジェクターには 4 セグメントカラーホイールが標準装備されています。6 セグメントカラーホイールは、別売です。カラーホイールは、ランプカバー下のランプ 1 の横にあります。カラーホイールを交換する手順は、次のとおりです。

メモ

- 必ずプロジェクターの主電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行なってください。
- プロジェクターの電源を切って 1 時間以上経過してから、カラーホイールを交換してください。

1. ランプカバーの押さえネジ（A）をゆるめます。

2. ランプカバー（B）を矢印方向にスライドさせ、ランプカバーを外します。

3. 4 セグメントカラーホイールの止めネジ（4 本）を外します。

4. カラーホイールを矢印方向に引き抜きます。

5. 6 セグメントカラーホイールをはめ込みます。

6. 止めネジ 4 本を締め付けます。

7. ランプカバー（A）をキャビネット上の矢印に合わせスライドさせます。

8. 押さえネジ（B）を締め付けます。

メモ

カラーホイールをご使用にならないときは
6 セグメントカラーホイール（別売）をご使用にならないときは、ほこりがつかないようにするために、カラーホイールが入っていたポリ袋に入れ保管してください。

接続

コンピュータを接続する

コンピュータの外部ディスプレイをオンする

ラップトップ PC の画面に映像を表示しても、プロジェクターには信号は出力されません。PC を使用するときは、機能キーの組み合わせにより外部ディスプレイを制御します。通常、Fn キーと 12 個ある機能キーの 1 つを組み合わせて、外部ディスプレイを制御します。

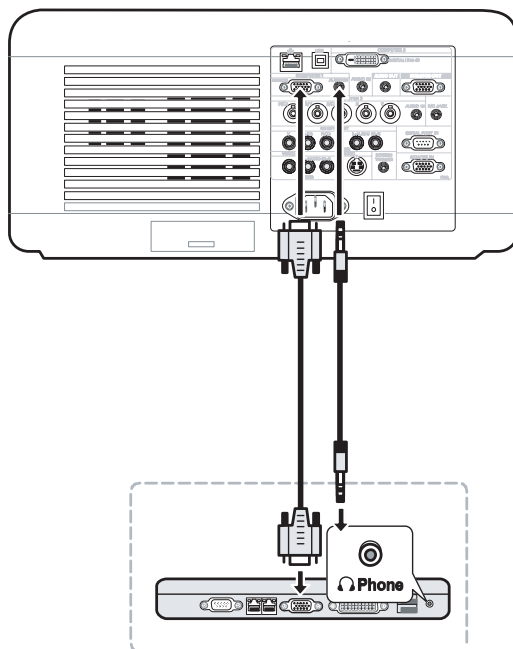
コンピュータをプロジェクターに接続する手順は、次のとおりです。

1. プロジェクター本体側面に 3 つある入力端子の 1 つにコンピュータからのケーブルを接続し、PC またはプロジェクター本体の電源を入れます。これらの信号入力端子の最適な順番は次のとおりです。
   - [COMPUTER 3]（24 ページの「端子パネル」を参照してください）は、デジタル信号入力端子で、コンピュータを接続するのに最適な端子です。

 メモ

DVI（デジタル端子）コネクタ（COMPUTER 3）は、VGA（640 × 480）、1152 × 864, XGA（1024 × 768）、WXGA（1280 × 768）、SXGA（リフレッシュレート 60Hz まで、1280 × 1024）および SXGA+（リフレッシュレート 60Hz まで、1400 × 1050）に対応します。

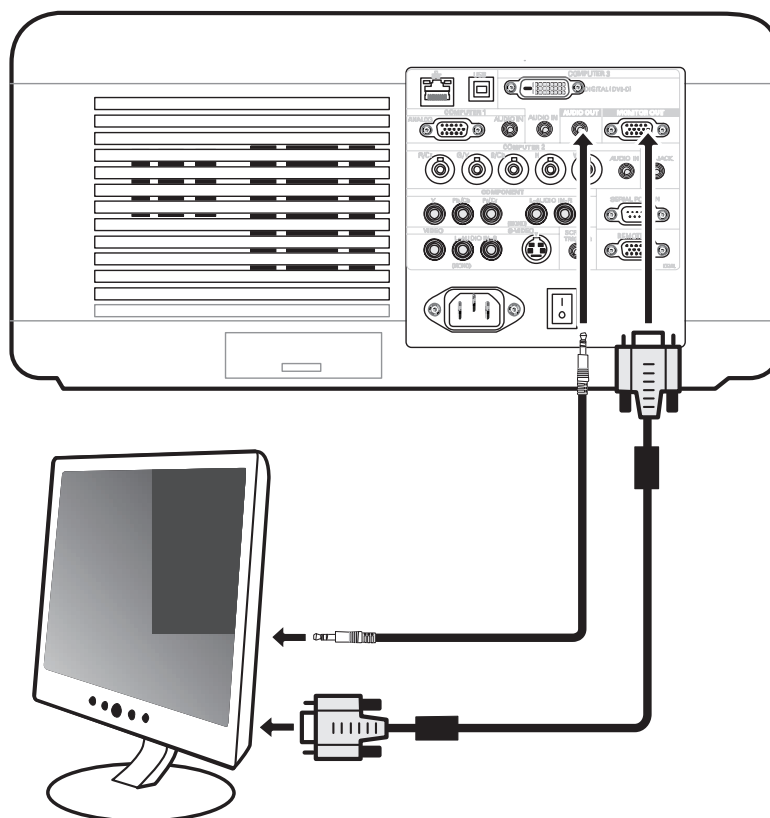
   - [COMPUTER 2]（24 ページの「端子パネル」を参照してください）は、アナログ信号入力端子で、Dsub-15 ケーブルと 5BNC コネクタ間を接続します。
   - [COMPUTER 1]（24 ページの「端子パネル」を参照してください）は、アナログ信号入力端子で、標準の RGB コンピュータケーブルを使用します。

【接続例】COMPUTER1

2. プロジェクターの電源を入れ、選択した接続方法をインプットメニューから選択します（49 ページの「入力の選択」を参照してください）。
3. PC の電源を入れます。

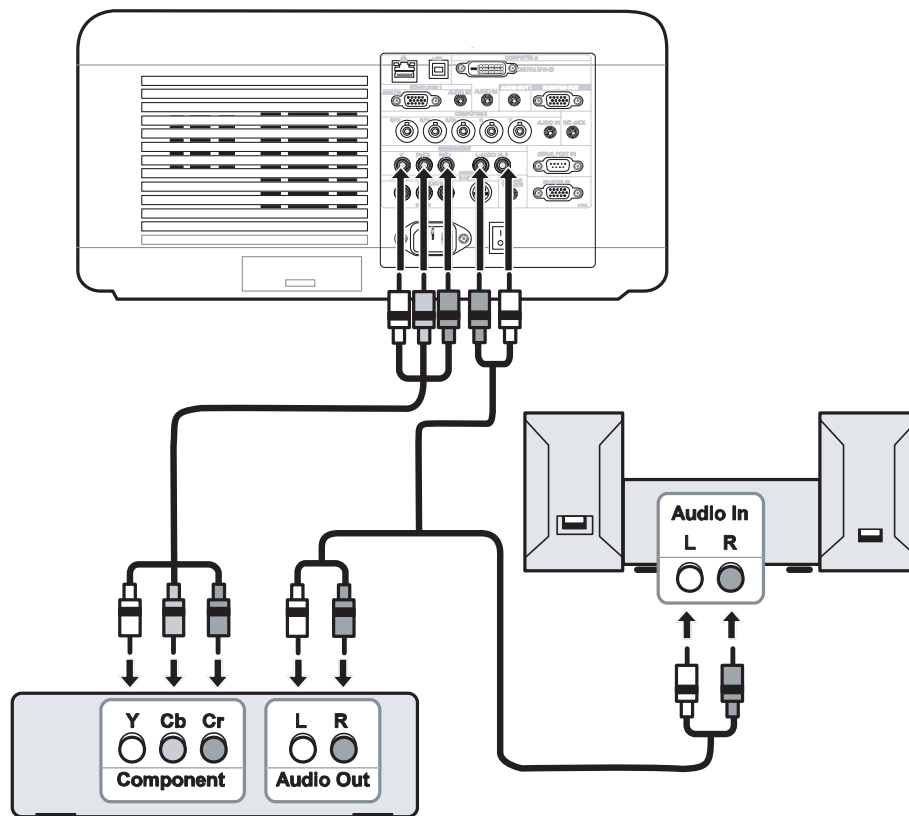
 メモ

手順通りに接続しないと、PC 側のグラフィックカードのデジタル出力がアクティブにならず、映像が表示されない場合があります。その場合は、PC を再起動してください。

外部モニターを接続する

次の図のように、MONITOR OUT 端子に外部モニターからのケーブルを接続します（24 ページの「端子パネル」を参照してください）。

DVD プレーヤを Component Output に接続する

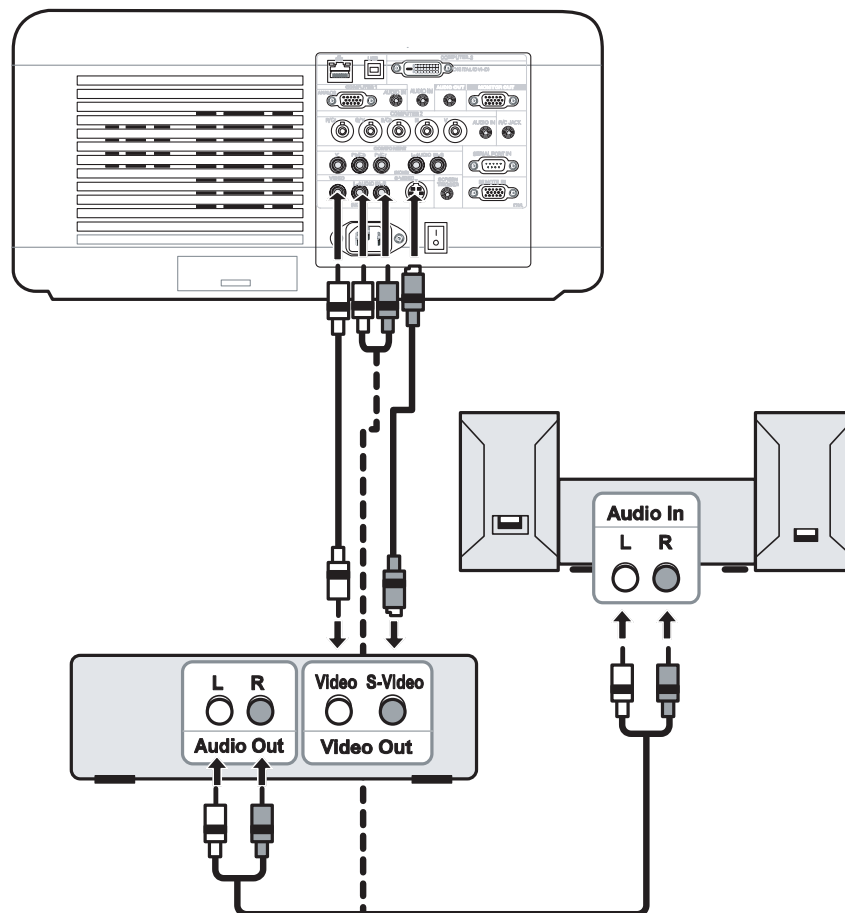
DVD プレーヤをプロジェクターに接続する手順は、次のとおりです。

1. 下図のように DVD プレーヤをプロジェクターに接続します。

2. プロジェクターの電源を入れ、インプットメニューから「コンポーネント」を選択します（49 ページの「入力の選択」を参照してください）。
3. DVD プレーヤの電源を入れます。

 メモ

DVD プレーヤのビデオ出力については、お使いになっている DVD プレーヤの取扱説明書を参照してください。

VCR を接続する

VCR などをプロジェクターに接続するときは、図を参照してください。

 メモ

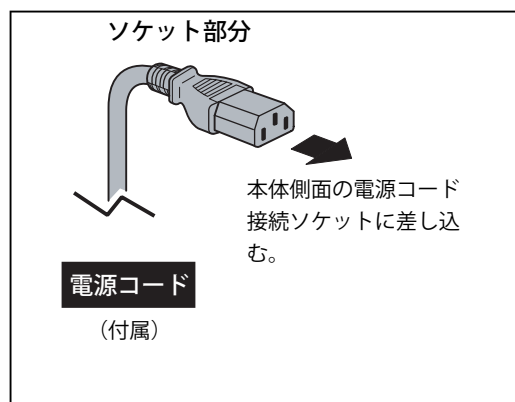
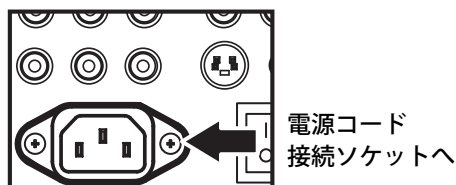
これらの装置の要件については、お使いになっている VCR の取扱説明書を参照してください。

S-Video または Video 端子を使用して早送りスキャンまたは巻き戻しスキャンを行うときは、映像が正しく表示されない場合があります。

AUDIO IN RCA ジャックは VIDEO IN と S-VIDEO IN とで共有です。

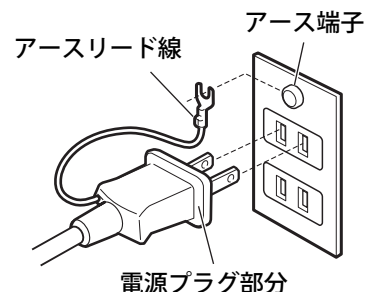
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、42 ～ 45 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1. 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

2. 電源コードのプラグ部分をアース工事されたＡＣコンセントに差し込みます。下記のアースリード線の接地に関する注意事項をよくお読みください。

電源プラグのアースリード線を接地してください

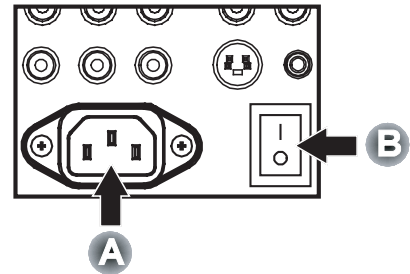
電源コードのプラグはアースリード線付き 2 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行なってから、接地してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

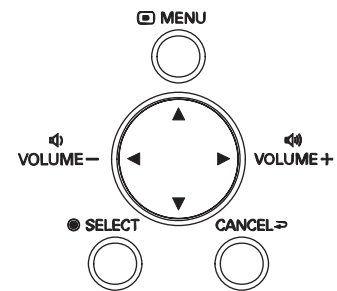
- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 安全のため、コンセントに電源プラグを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、外すときは電源プラグをコンセントから抜いたあとでアースリード線を外してください。

電源コード取扱上の注意
電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

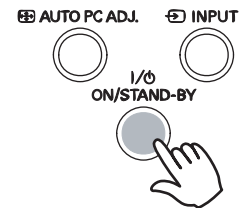
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください
本機は、操作パネルやリモコンの［ON/STAND-BY］ボタンで電源を切ってもスタンバイモードがノーマルの時は約 30W の電力が消費されています（省電力モード時は約 5W）。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは主電源スイッチで電源を切り電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

電源を入れる

プロジェクターを適正な場所に配置し、電源コードや他のケーブルの準備が整ったら、プロジェクター本体の電源を正しく入れて、接続された機器が損傷しないようにします。プロジェクターの電源を入れる手順は、次のとおりです。

1. 電源コード（A）を接続します。（B）に示す主電源スイッチを入れます（I 位置）。全てのインジケータが点灯（橙）します。

2. しばらくすると、[LAMP1] / [LAMP2] インジケータ（橙）が消え、[POWER] インジケータ（橙）と [WARNING] インジケータ（緑）が点灯します。

3. [ON/STAND-BY] ボタンを 1 回押します。
[WARNING] インジケータ（緑）が消え、[POWER] インジケータ（橙）が緑色の点滅に変わり、ファンが回転します。

4. [POWER] インジケータ（緑）が点滅している間に [LAMP1]/ [LAMP2] インジケータ（緑）が点灯します。

5. [POWER] インジケータが点灯状態（緑）になると、プロジェクターは使用できます。

> **メモ**
> いずれかのインジケータが点滅したままの場合は、起動不良が考えられます。118 ページの「故障かなと思ったら」を参照してください。

起動画面について（メニュー言語選択画面）

最初に本機の電源を入れると、言語を選択するための言語メニューが表示されます。

Please select a menu language.	
Please select a menu language.	English
Wählen Sie bitte die Menü Sprache aus.	Deutsch
S'il vous plaît choisir la langue de menu.	Français
Per favore scegliere la lingua del menu.	Italiano
Escoja por favor el idioma de menú.	Español
Välj menyn språken.	Svenska
メニュー言語を選択してください。	日本語
请选择菜单语言。	中文
Select "UP", "DOWN" & "SELECT"	

OSD メニューパネルまたはリモコンの ▲ または ▼ ボタンを押して言語を選択し、[SELECT] ボタンを押して言語を選択します。

メモ

言語選択画面は、初回電源投入時のみ表示されます。以降の操作では、初期設定の言語が選択されています。言語の設定を変更する手順については、90 ページの「言語」を参照してください。

入力の選択

入力の切り替えは、本体の操作パネルまたはリモコンで行います。入力を切り替える手順は、次のとおりです。

1. OSD 操作パネルまたはリモコンの [MENU] ボタンを押してメインメニューを表示します。▲ または ▼ を押して「入力」を選択し、[SELECT] を押します。

メモ

[CANCEL] を 2 回押すと、投映している画面に戻ります。

2. ▲ または ▼ を押して切り替えたい入力を選択し、[SELECT] を押します。

◉ コンピュータ 1
○ コンピュータ 2
○ コンピュータ 3
○ コンポーネント
○ ビデオ
○ S-ビデオ
○ テストパターン

メモ

もしも XGA 信号が正しく認識されない場合は、WXGA モードをオフにしてください（79 ページ参照）。

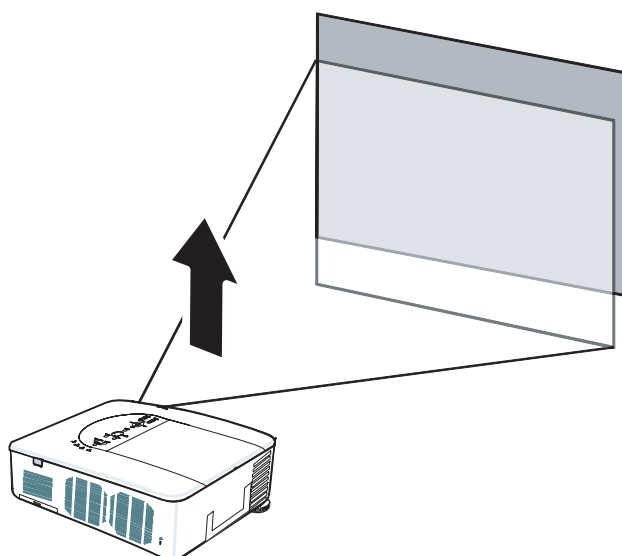
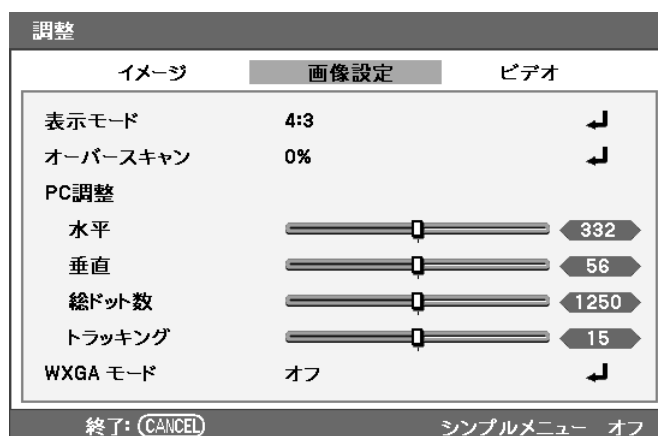
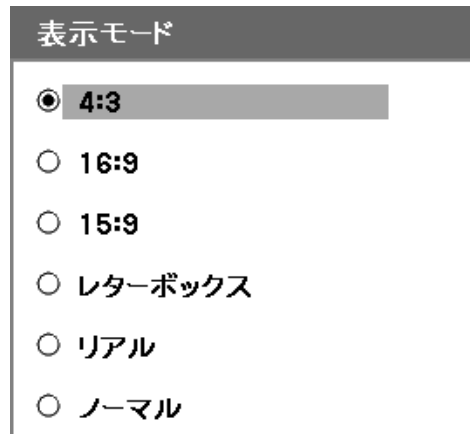
信号が正しく認識されているかどうか確認するには、「インフォメーション」メニューの下の「入力」を参照してください（106 ページ参照）。

画像の位置およびサイズを調整する

画像の位置およびサイズは、レンズ操作パネルまたはリモコンからマニュアルで調整できます。画像の位置をマニュアルで調整する手順は、次のとおりです。

画像位置をマニュアルで調整する

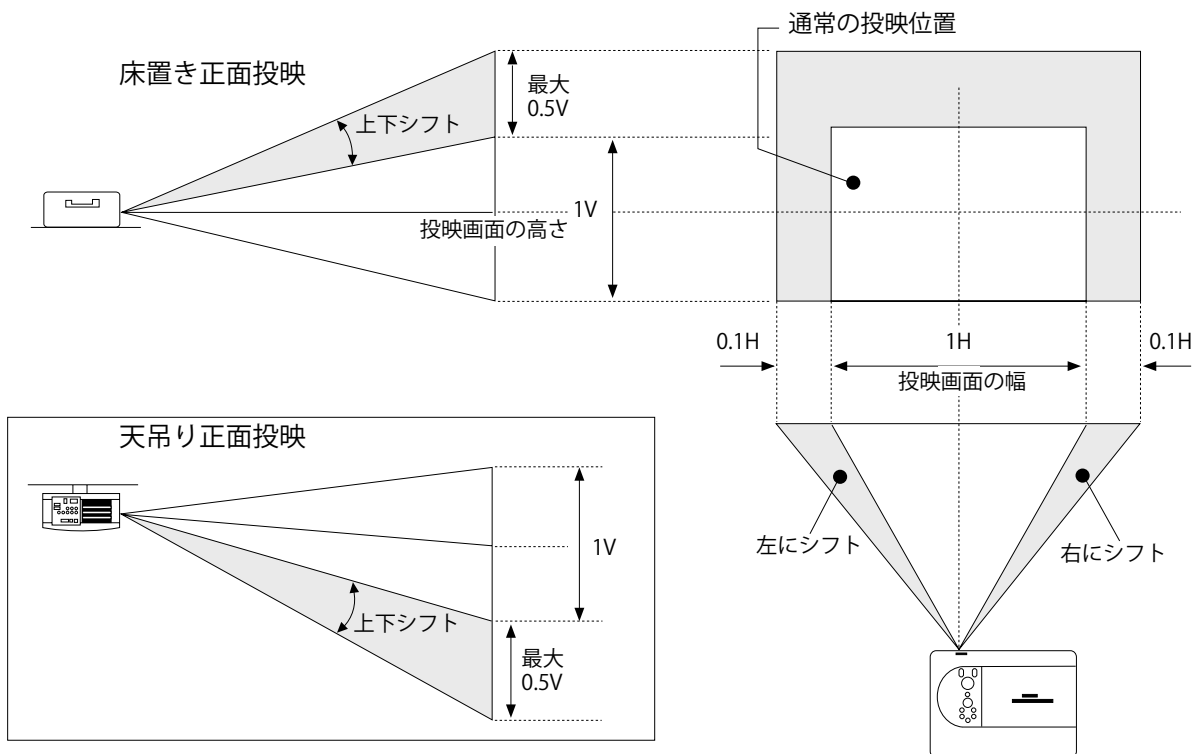
1. 方向キーのいずれかを押すと、「レンズシフト」画面が表示されます。

2. 方向キーを押して画面を上下左右に移動させます。矢印キーから手を離すと、カーソルは中央位置に戻ります。

3. 画像サイズを調整するには、[MENU] を押し ▲ または ▼ を押して「調整」メニューを選択します。[SELECT] を押すと「調整」メニューが表示されます。◀ または ▶ を押して「画像設定」を選択してから、▲ または ▼ を押して「表示モード」を選択し、[SELECT] を押します。

4. 「表示モード」画面が表示されます。▲ または ▼ を押してサイズを選択します。

5. 調整後 [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

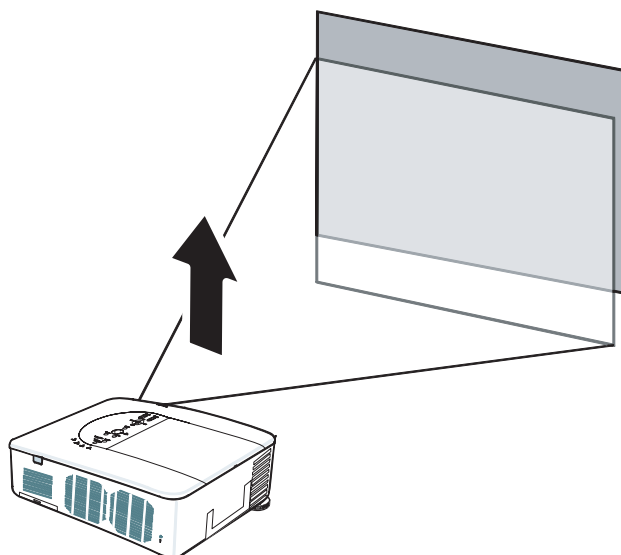
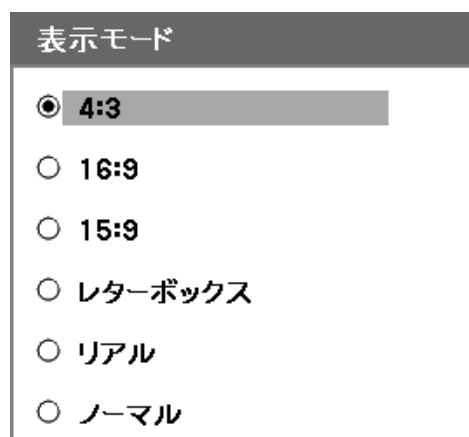
レンズの調整可能範囲

下図にレンズの調整可能範囲を示します。この範囲は、条件によって異なります。

メモ

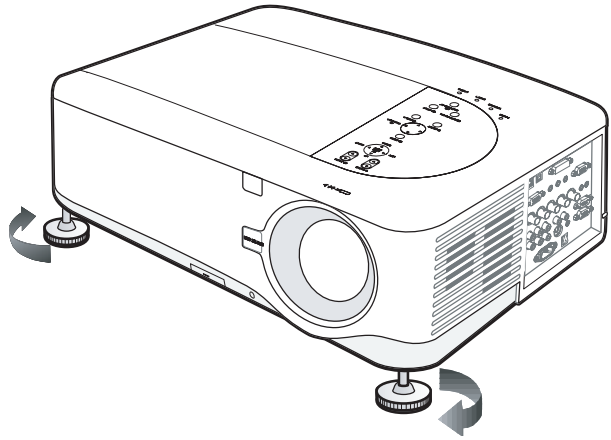
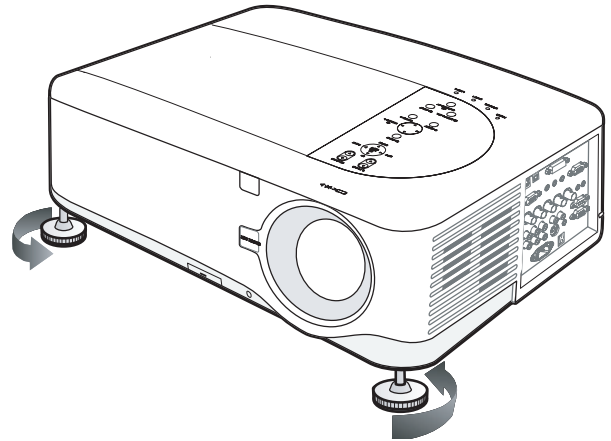
下図は、標準レンズ（LNS-S40）を装着した場合の例です。

リモコンによる操作

1. [LENS SHIFT] ボタンを押すと、「レンズシフト」画面が表示されます。

2. 方向キーを押して画面を上下左右に移動させます。矢印キーから手を離すと、カーソルは中央位置に戻ります。

3. 画面サイズを調整するには、[SCREEN] ボタンを押し「表示モード」 画面を表示します。

4. ▲ または ▼ を押してサイズを選択します。

5. 調整後 [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

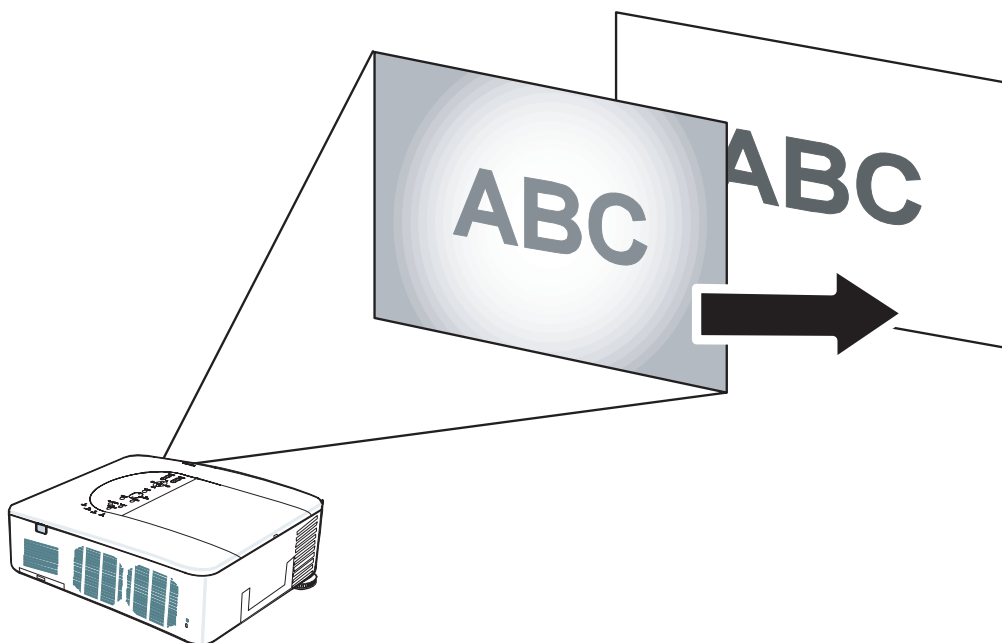
プロジェクターの高さを調整する

1. プロジェクターを上げるには、本体の調整脚を時計方向に回します。

2. プロジェクターを下げるには、本体を持ち上げ調整脚を反時計方向に回します。

RGB 画像を自動で最適化する

AUTO PC により画像を調整する

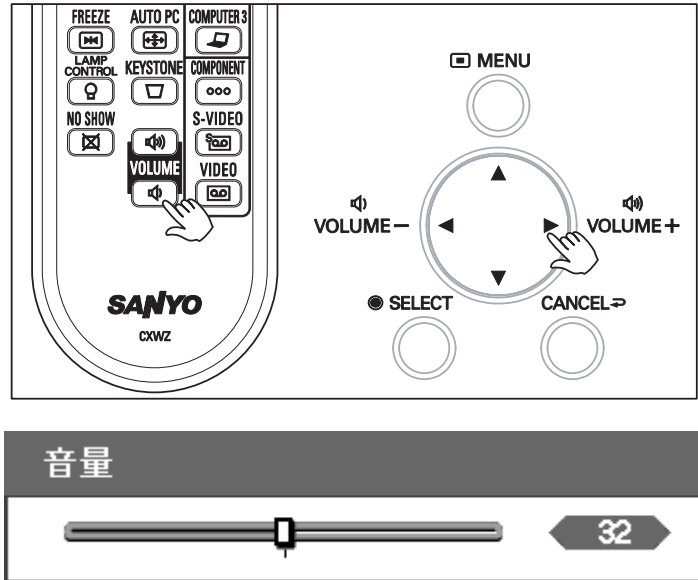
RGB 画像の最適化を自動で行う手順は、次のとおりです。

リモコンの [AUTO PC] ボタンまたは OSD 操作パネルの［AUTO PC ADJ.］ボタン（26 ページの「リモコン各部の名称」を参照してください）を押すと、RGB 画像が自動的に最適化されます。

この調整は、コンピュータをプロジェクターに接続した直後に行ってください。

音量を調節する

音量の調節は、OSD 操作パネルまたはリモコンで行います。音量を調節する手順は、次のとおりです。

1. リモコンの [VOLUME ＋] または [VOLUME －] ボタンを押すか、OSD 操作パネルの ◀ または ▶ キーを押します。スクリーンに音量レベルが表示されます。

2. リモコンの [VOLUME ＋] または [VOLUME －] ボタンを押すか、OSD 操作パネルの ◀ または ▶ キーを押し、音量を調整します。

電源を切る

プロジェクターの操作を終了したら、本体を損傷しないように電源を適正に切ってください。

- プロジェクターの電源が入っているときに、電源コードを抜かないでください。電源が入っている状態で電源コードを抜くと、プロジェクターの電源コネクタや電源コードのプラグが損傷するおそれがあります。プロジェクターの電源が入っているときに AC 電源を切るには、切替器 / ブレーカー内蔵ケーブルタップを使用してください。
- 調整や設定を変更したときは、メニューを閉じてから 10 秒以上待って AC 電源を切ってください。10 秒経過しない内に AC 電源を切ると、調整値や設定値が失われたり初期設定に戻ることがあります。

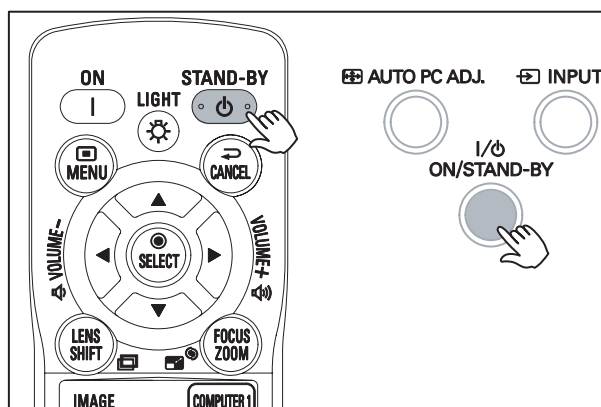
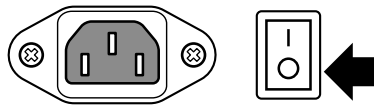
プロジェクターの電源を切る手順は、次のとおりです。

1. [ON/STAND-BY] ボタンを 1 回押します。電源オフ確認画面が表示されます。

2. OSD 操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンまたはリモコンの [STAND-BY] ボタンをもう一度押すか、あるいは「確定」を選択し [SELECT] ボタンを押して、電源をオフにします。
電源を切った後も、冷却ファンは回転し続けます（冷却時間）。
プロジェクターの電源が切れると、冷却ファンは停止します。

3. プロジェクターはスタンバイモードになり、[POWER] インジケータが点灯（橙）します。

しばらくお待ちください。

4. 主電源スイッチを O 位置側に倒し、プロジェクターの電源を切ります。

ダイレクトパワーオフ機能

プロジェクターには、ダイレクトパワーオフという新しい機能が追加されています。この機能により、画像が投映されている場合でも、ブレーカ内蔵テーブルタップを使用してプロジェクターの電源を切ることができます。

 メモ

ダイレクトパワーオフ機能は、プロジェクターの電源を入れ、画像を投映してから 20 分以上経過してから使用してください。

使用後の注意

準備：プロジェクターの電源がオフになっていることを確認します。

1. 電源コードを外します。
2. 他のコード、ケーブルを外します。
3. 調整脚を元の位置に戻します。
4. レンズにキャップを取り付けます。

画面と音声を消す

画面と音声は、リモコンで一時的に消すことができます。この機能は、プレゼンテーションを中断したり投映を一時的に中断する場合に便利です。画面や画像を表示しない手順は、次のとおりです。

1. リモコンの [NO SHOW] ボタン（26 ページの「リモコン各部の名称」を参照してください）を押します。
2. 画面が一時的に消えます。
3. ［NO SHOW］ボタンをもう一度押すと、投映画面は元の状態に戻ります。

メモ

長時間画面を消した状態にする場合は、プロジェクターの電源を切ることをお薦めします。

画面を静止させる

投映画面は、リモコンで一時的に静止させることができます。この機能は、ムービーから静止画像を取り込んだり、ある時点でムービーを一時的に静止させる場合に便利です。投映画面を一時的に静止させる手順は、次のとおりです。

1. リモコンの [FREEZE] ボタン（26 ページの「リモコン各部の名称」を参照してください）を押します。
2. 画面が一時的に静止します。
3. ［FREEZE］ボタンをもう一度押すと、画面は元の状態に戻ります。

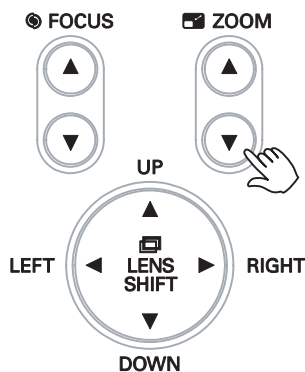
 メモ

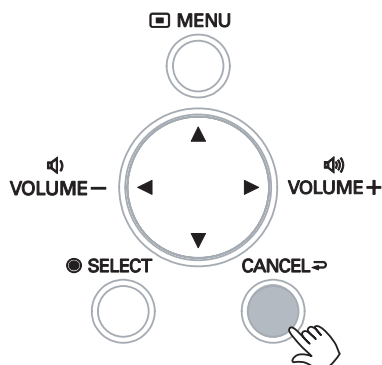
長時間静止状態にする場合は、プロジェクターの電源を切ることをお薦めします。

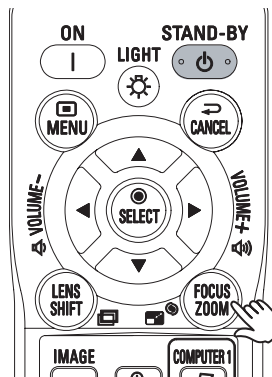
フォーカス / ズームをマニュアルで調整する

フォーカスおよびズームは、レンズ操作パネルまたはリモコンからマニュアルで調整できます。フォーカスおよびズームをマニュアルで調整する手順は、次のとおりです。

OSD 操作パネルで調整する

1. 操作パネルの [FOCUS] または [ZOOM] ボタンを押し画面を表示します。

2. [FOCUS]/[ZOOM] ボタンの ▲▼ ボタンを押してフォーカスまたはズームを調整します。

3. [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

リモコンで調整する

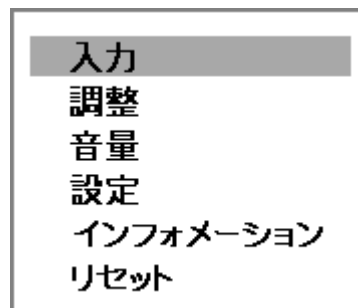
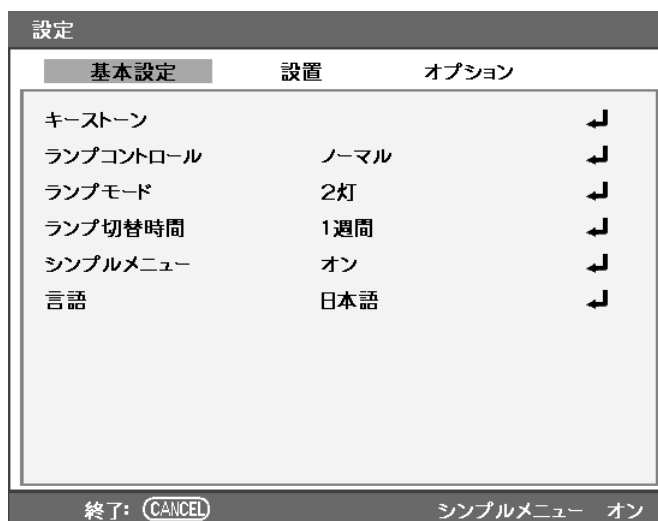
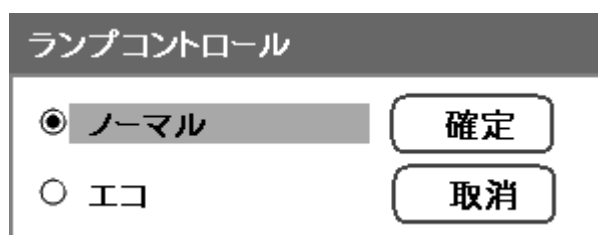
1. リモコンの [FOCUS]/[ZOOM] ボタンを押し、[FOCUS] または [ZOOM] 調整画面を表示します。

2. ◀▶ キーを押して、フォーカスまたはズームを調整します。

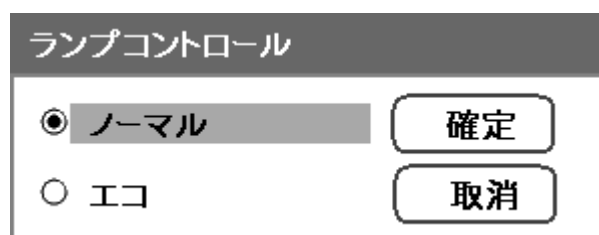
3. [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

ランプモードを切り替える

本機には、「ノーマル」と「エコ」の 2 つのランプモードがあります。ノーマルモードは標準のモードで、エコモードはプロジェクターの電力消費を抑えランプの寿命伸ばします。ランプモードを切り替える手順は、次のとおりです。

OSD 操作パネルによりランプモードを切り替える

1. OSD 操作パネルの［MENU］ボタンを押してメインメニューを表示します。▲ または ▼ を押して「設定」までスクロールし、[SELECT] を押します。

2. ◀ または ▶ を押して「基本設定」タブを選択し、▲ または ▼ を押して「ランプコントロール」を選択します。［SELECT］を押します。

3. 「ランプコントロール」画面で ▲ をまたは ▼ を押して、「ノーマル」または「エコ」を選択します。カーソルを [確定] に移動し、［SELECT］を押します。

リモコンによりランプモードを切り替える

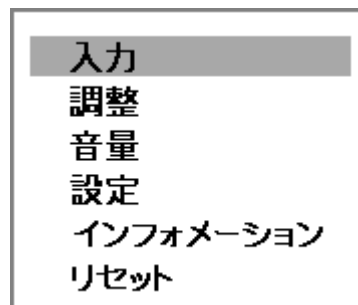
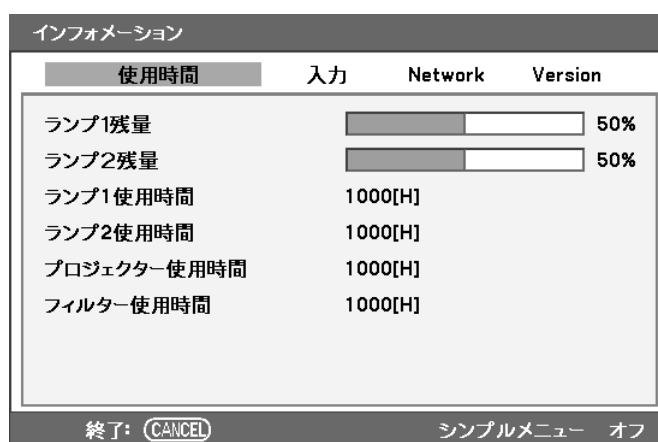
1. リモコンの［LAMP CONTROL］ボタンを押し、「ランプコントロール」メニューにアクセスします。

2. 「ランプコントロール」画面で ▲ をまたは ▼ を押して、「ノーマル」または「エコ」を選択します。カーソルを「確定」に移動し、［SELECT］を押します。

メモ

エコモード時、輝度は低下します。
ノーマルモード時の輝度 : 100%
エコモード時の輝度 : 約 85%

インフォメーションを取り込む

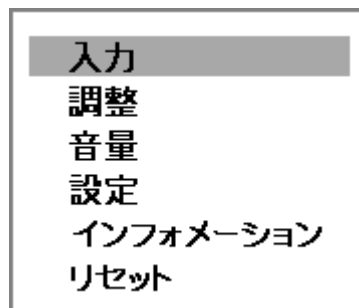
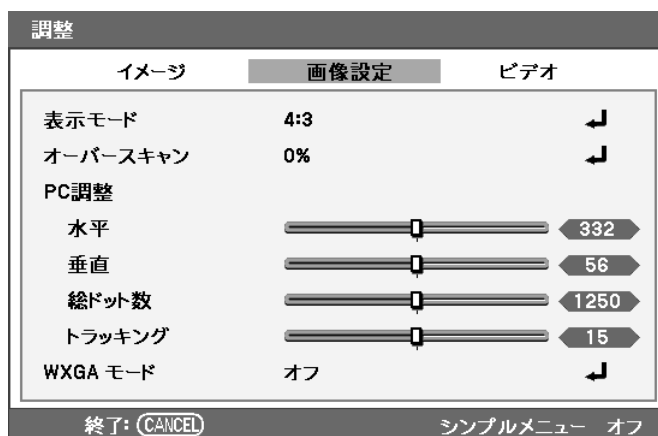
「インフォメーション」画面には、プロジェクターの消耗部品やソフトウェアのバージョン情報などが表示されます。
「インフォメーション」画面を表示する手順は、次のとおりです。

1. OSD 操作パネルまたはリモコンの［MENU］ボタンを押して、メインメニューを表示します。▲ または ▼ を押して「インフォメーション」までスクロールし、[SELECT] を押します。

2. 初期設定では、「使用時間」メニューが表示されます。この画面のメニュー項目は、表示のみを目的とし、変更することはできません。

3. [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

画面位置 / 総ドット数 / トラッキングを調節する

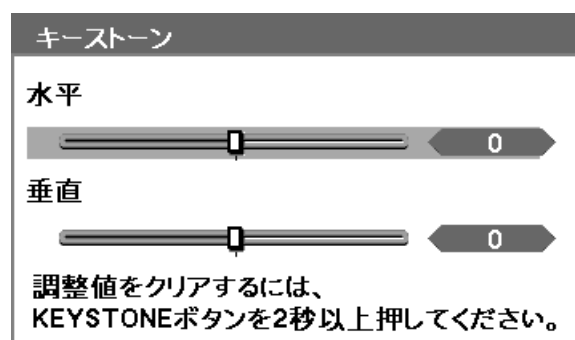
画面位置、総ドット数、トラッキングおよびキーストーン補正は、操作パネルまたはリモコンからマニュアルで調整できます。キーストーン（台形歪み）をマニュアルで調整する手順は、次のとおりです。

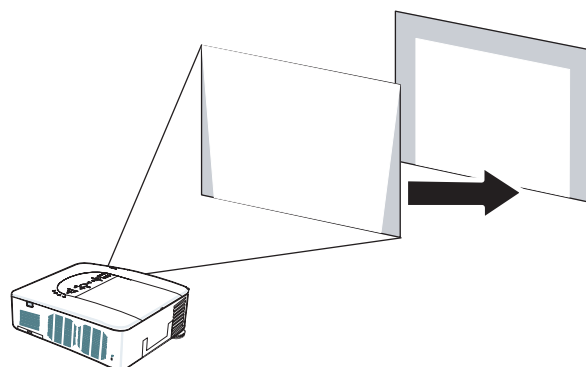
OSD 操作パネルにより画面位置 / 総ドット数 / トラッキングを調整する

1. [MENU] ボタンを押してメインメニューを表示します。▲ または ▼ を押して「調整」メニューを選択し、[SELECT] を押します。

2. 「調整」メニューで ◀ または ▶ を押して「画像設定」を選択してから、▲ または ▼ を押して「水平」、「垂直」、「総ドット数」、または「トラッキング」までスクロールします。

3. ▲、▼、◀、▶ ボタンを押して、「水平」、「垂直」、「総ドット数」、「トラッキング」のスライドバーを調整します。

4. [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

リモコンによりキーストーン（台形歪み）を補正する

1. [KEYSTONE] ボタンを押して「キーストーン」画面を表示します。

2. ▲、▼、◀、▶ ボタンにより「水平」位置および「垂直」位置のスライドバーを調整します。

3. 台形のゆがみがなくなるまで、スライドバーを調整してください（右図参照）。

4. [CANCEL] を押すと、投映している画面に戻ります。

メモ

[KEYSTONE] ボタンを 2 秒以上押しつづけると、キーストーンの調整値がリセットされます。

調　整	水　平	垂　直
キーストーン	最大約+/− 35°	最大約+/− 40°

上記の最大角度が得られる条件は、次のとおりです。

- 標準レンズ（LNS-S40）を使用する。
- レンズシフトを、水平は中央に設定し、垂直は上端に設定する。
- 画像をワイドモードで投映する。
- 解像度は WXGA とする。

メモ

WXGA を超える解像度の場合、調整可能範囲は狭くなります。

メニュー項目は、次のように設定してください。

- アスペクト比 15:9

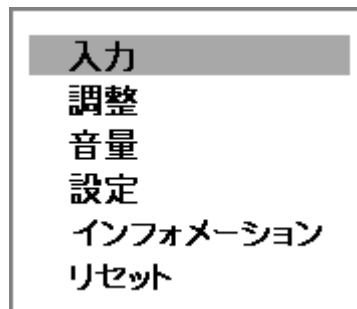
水平方向および垂直方向の調整は、個別に行われます。
両方の調整を組み合せた場合、調整可能範囲が狭くなります。

プロジェクターの不正使用を防ぐ

プロジェクターには、OSD 操作パネルをロックしたりリモコン操作を無効にするセキュリティ機能があります。セキュリティ機能には、暗証番号の初期設定値はありません。そのため、セキュリティ機能を初めてオンにするときは、暗証番号を指定する必要があります。

プロジェクターをロックする

セキュリティキーワードを設定する手順は、次のとおりです。

1. プロジェクターの OSD 操作パネルまたはリモコンの [MENU] ボタンを押して、メインメニューを表示します。▲ または ▼ を押して「設定」までスクロールし、[SELECT] を押します。

2. 「設定」メニューが表示されます。◀ または ▶ を押して「設置」タブを選択します。

設定

基本設定　設置　オプション

天吊り&リア	デスク／フロント
通信速度	4800bps
メニュー表示色選択	カラー
表示時間	自動 5秒
バックグラウンド	青
暗証番号ロック	オフ
キーロック	オフ
DynamicBlack	オフ
リモコン受光部	両方
ネットワーク設定	
スタンバイモード	ノーマル
PCコントロール	PCコントロール

終了: CANCEL　シンプルメニュー　オフ

3. ▲ または ▼ を押して「暗証番号ロック」を選択し、［SELECT］を押します。◀ または ▶ ボタンを押して「オン」を選択します。「確定」を選択し、［SELECT］を押します。

設定

基本設定　設置　オプション

天吊り&リア	デスク／フロント
通信速度	4800bps
メニュー表示色選択	カラー
表示時間	自動 5秒
バックグラウンド	青
暗証番号ロック	オフ
キーロック	オフ
DynamicBlack	オフ
リモコン受光部	両方
ネットワーク設定	
スタンバイモード	ノーマル
PCコントロール	PCコントロール

選択: SELECT　終了: CANCEL　シンプルメニュー　オフ

4. 「暗証番号ロック」画面が表示されます。▲、▼、◀、▶ を押して 4 文字以上 10 文字以下のキーワードを入力し、[SELECT] を押します。入力した暗証番号は、"*" で表示されます。

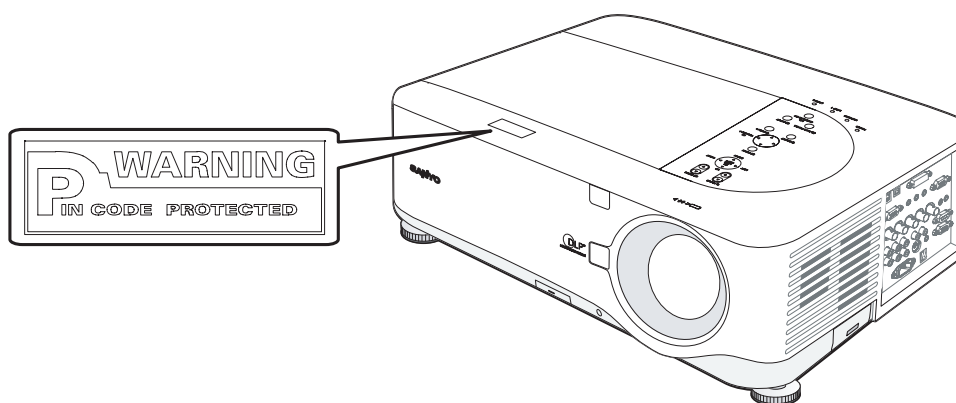
メモ

暗証番号は数字ではありません。
上下左右キーの組み合わせです。
【例】
▲▼◀▶、▲▲▼▼▶▶◀◀ など

5. 指定された長さの暗証番号を入力すると、確認画面が表示されます。同じパスワードをもう一度入力します。このパスワードは書き留めておいてください。[SELECT] を押します。暗証番号ロック機能を有効にするかどうか確認するメッセージが表示されます。「取消」を選択して「設定」メニューに戻るか、「確定」を選択してセキュリティをオンにします。

暗証番号を設定または変更した場合は、それを書き留め、安全な場所に保管してください。暗証番号を忘れた場合、プロジェクターを起動できません。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

暗証番号でプロジェクターをロックした場合

暗証番号ロックシール（下図参照）を、プロジェクター本体の目立つ場所に貼ってください。

プロジェクターのロックを解除する

プロジェクターのロックを解除する手順は、次のとおりです。

1. プロジェクターをロックすると、次に電源を入れたときにプロジェクターがロック状態であるというメッセージが表示されます。

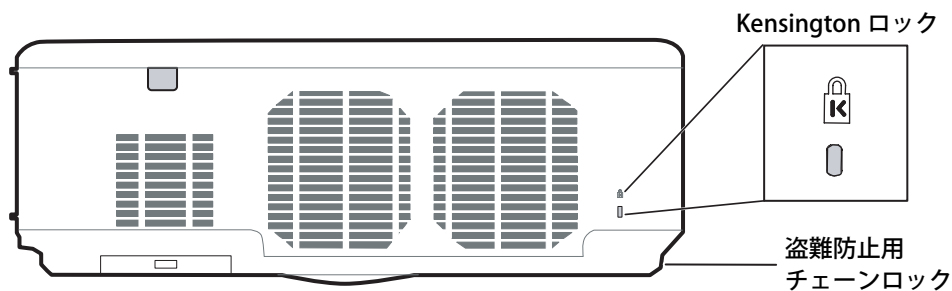
セキュリティロック中です。暗証番号を入力してください。

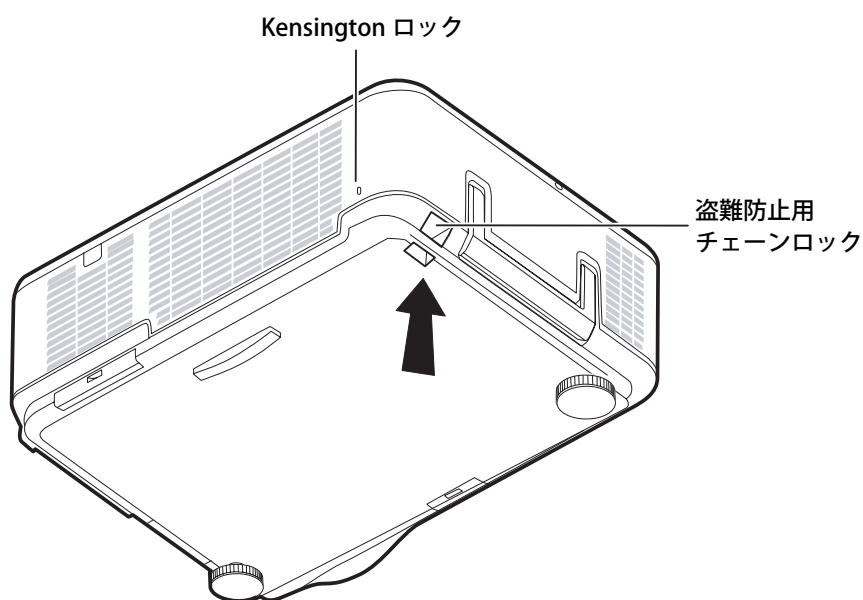
2. ロックを解除するには、操作パネルまたはリモコンの [MENU] ボタンを押します。「暗証番号」画面が表示されます。前述の手順で設定した暗証番号を入力し、プロジェクターを起動します。

物理的ロックを使用する

プロジェクターには、Kensington ロックと盗難防止用チェーンロックの 2 つの物理的ロックを使用できます。

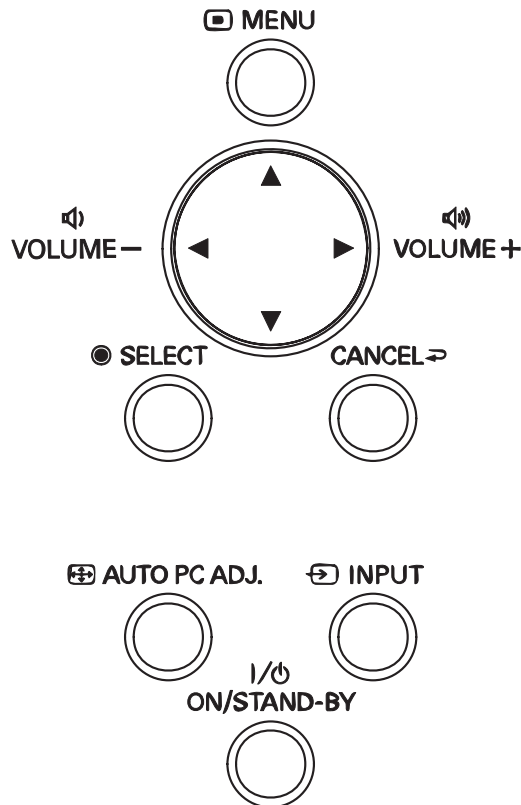
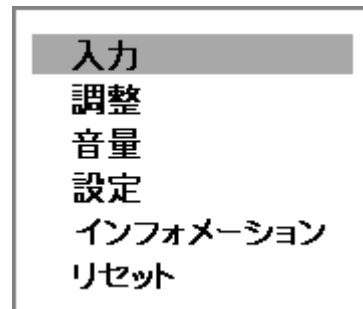
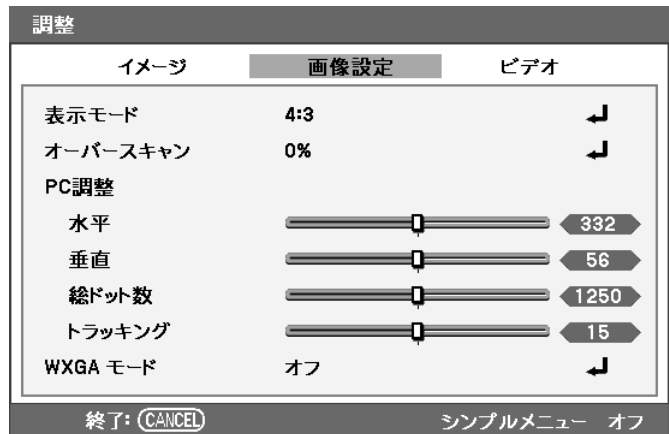
Kensington ロックを使用する

セキュリティを重視する場合は、Kensington スロットとセキュリティケーブルを使用してプロジェクターを固定してください。

盗難防止用チェーンロックを使用する

パスワード保護機能および Kensington ロックに加え、盗難防止用チェーンロックを使用すると、プロジェクターの不正使用を防止できます。
下図を参照してください。

メニューを使用する

プロジェクターには、画像を調整したり様々な設定を変更できるオンスクリーン表示（OSD）機能があります。

OSD の操作

OSD を操作し変更を行うには、リモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンを使用します。下図に、リモコンおよびプロジェクター本体にある OSD 関連のボタンを示します。

1. OSD を表示するには、OSD 操作パネルまたはリモコンの [MENU] ボタンを押します。最初に 6 つのメニューが表示されます。▲または ▼ を押して表示したいメニューを選択し、[SELECT] を押します。

2. サブメニュー内を移動するには、◀ または ▶ ボタンを押します。

3. ▲ または、▼ を押してメニュー項目を選択し、◀ または ▶ を押してセッティングの値を変更します。[SELECT] を押して新しいセッティングを確認します。

4. [CANCEL] を押して OSD を閉じるか、またはサブメニューを終了します。

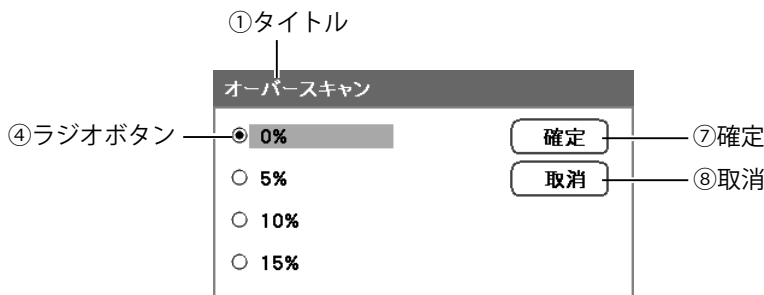
メニュー内容一覧

：網掛け部は、工場出荷時の値です。

メニュー		項　目			
入力		コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3、コンポーネント、ビデオ、S- ビデオ			
		テストパターン	クロスハッチ、ラスタ（0%）、ラスタ（25%）、ラスタ（50%）、ラスタ（100%）、ラスタレッド、ラスタグリーン、ラスタブルー、ブルーラスタ 60、グレーラスタ 10、グレーラスタ 30、Ramp H、Ramp V、Red Ramp H		
調整	イメージ	イメージ選択	高輝度モード / プレゼンテーション / ビデオ / ムービー / グラフィック /RGB		
		詳細設定	基本設定	参照	高輝度モード / プレゼンテーション / ビデオ / ムービー / グラフィック / sRGB
				ガンマ補正	ダイナミック / ナチュラル / ソフト
				色温度	5000/6500/7800/8500/9300/10500
				BrilliantColor	1 ～ 3
			ホワイトバランス	赤	1 ～ 100
				緑	1 ～ 100
				青	1 ～ 100
				コントラスト赤	1 ～ 100
				コントラスト緑	1 ～ 100
				コントラスト青	1 ～ 100
			色補正	赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン	ー 60 ～ 60
		コントラスト	0 ～ 100		
		明るさ	0 ～ 100		
		画質	0 ～ 31		
		色の濃さ	0 ～ 100		
		色合い	0 ～ 100		
		リセット			
	画像設定	表示モード	4：3/16：9/15：9/ レターボックス / リアル / ノーマル		
		オーバースキャン	0% /5% /10% /15%		
		PC 調整			
		水平	± 50		
		垂直	± 25		
		総ドット数	± 50		
		トラッキング	0 ～ 63		
		WXGA モード	オフ / オン		
	ビデオ	ノイズリダクション	オフ / 低 / 中 / 高		
		3D Y/C 分離	オフ / オン		
		プログレッシブ	オフ / 静止画 / ノーマル / ムービー		
		カラーマトリクス	自動判別 /RGB/SDTV/HDTV		
		フィルム	オフ /2-2/2-3 自動 /2-2 オン /2-3 オン		
音量		0 ～ 61			
設定	基本設定	キーストーン	水平、垂直		
		ランプコントロール	ノーマル / エコ		
		ランプモード	2 灯 / ランプ 1/ ランプ 2		
		ランプ切換時間	オフ /1 週間 /4 週間 /2000 時間		
		シンプルメニュー	オン / オフ		
		言語	English, Deutsch, Français, Italiano, Español, Svenska, 日本語 , 中文		

メニュー		項　目	
	設置	天吊り & リア	デスク / フロント、デスク / リア、天吊り / リア、天吊り / フロント
		通信速度	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
		メニュー表示色選択	色の濃さ / モノクロ
		表示時間	手動 / 自動 5 秒 / 自動 15 秒 / 自動 45 秒
		バックグラウンド	青 / 黒 / ロゴ
		暗証番号ロック	オフ / オン
		キーロック	オフ / オン
		DynamicBlack	オフ / オン
		リモコン受光部	両方、前、後
		ネットワーク設定	DHCP　有効 / 無効
			IP address
			Subnet
			Gateway
			DNS
			ネットワーク暗証番号（0000 ～ 9999）
			設定適用
		スタンバイモード	ノーマル / 省電力
		PC コントロール	PC コントロール /Network
	オプション	オンスタート	オフ / オン
		パワーマネジメント	オフ /00：05/00：10/00：20/00：30
		スクリーントリガ	オフ / オン
		ファン制御	ノーマル / マックス
		初期入力選択	ラスト / 自動 / コンピュータ 1/ コンピュータ 2/ コンピュータ 3/ コンポーネント / ビデオ /S- ビデオ
		カラー方式	
		ビデオ	Auto/NTSC/PAL/SECAM
		S- ビデオ	Auto/NTSC/PAL/SECAM
		リモコンコード	コード 1/ コード 2/ コード 3/ コード 4/ コード 5/ コード 6/ コード 7/ コード 8
		メッセージ	オフ / オン
		フィルター警告	オフ /100[H]/200[H]/500[H]/1000[H]
		サーチモード	ノーマル / ファイン
インフォメーション	使用時間	ランプ 1 残量、ランプ 2 残量	
		ランプ 1 使用時間、ランプ 2 使用時間	
		プロジェクター使用時間	
		フィルター使用時間	
	入力	入力名	
		信号	
		水平周波数	
		垂直周波数	
		ビデオ標準	
		同期形態	
		同期極性	
		走査方式	
	Network	IP address、Subnet、Gateway、MAC address	
	Version	モデル名、シリアルナンバー、Firmware、リモコンコード	
リセット		表示中の信号、全データ、ランプ 1 使用時間クリア、ランプ 2 使用時間クリア、 フィルター使用時間クリア	

メニューの内容

メニューや画面によっては、限られた場所に様々な情報が表示されます。オプション全体を簡単にナビゲートする手順は、次のとおりです。

メニュー画面やダイアログ画面には、通常次の内容が表示されます。

項　目	名　称	仕　様
1.	タイトル	メニューのタイトル
2.	ハイライト	選択されたメニューまたは項目
3.	メニューのタイプ	詳細メニューまたは基本メニュー
4.	ラジオボタン	ダイアログボックスのオプションを選択します。
5.	スライドバー	値が調整可能であることを示します。
6.	終了	前のメニューに戻ります。
7.	確定	変更を確定します。
8.	取消	変更を行わずに前のメニューに戻ります。

メモ

もしも XGA 信号が正しく認識されない場合は、WXGA モードをオフにしてください（79 ページ参照）。

信号が正しく認識されているかどうか確認するには、「インフォメーション」メニューの下の「入力」を参照してください（106 ページ参照）。

入力メニューの説明と機能

入力メニューには、サポートされるすべての画像ソースが表示されます。

コンピュータ 1
コンピュータ 2
コンピュータ 3
コンポーネント
ビデオ
S-ビデオ
テストパターン

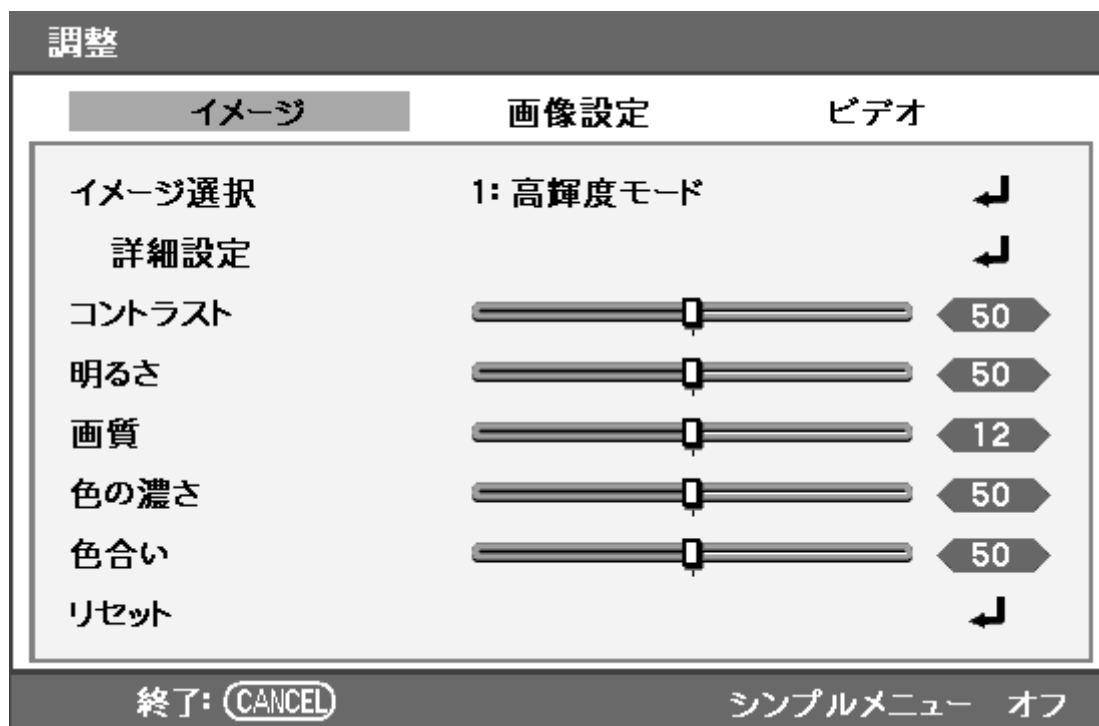
▲ または ▼ を押して必要なソースを選択し、[SELECT] を押して確定します。

名　称	仕　様
コンピュータ 1	COMPUTER 1 IN に接続されているコンピュータ入力を選択します。 （42 ページの「コンピュータを接続する」を参照してください。）
コンピュータ 2	COMPUTER 2 IN に接続されているコンピュータ入力を選択します。 （42 ページの「コンピュータを接続する」を参照してください。）
コンピュータ 3	COMPUTER 3 IN に接続されているコンピュータ入力を選択します。 （42 ページの「コンピュータを接続する」を参照してください。）
コンポーネント	COMPONENT 1 IN に接続されているコンポーネント入力を選択します。 （44 ページの「DVD プレーヤを Component Output に接続する」を参照してください。）
ビデオ	VIDEO IN に接続されているビデオ入力を選択します。 （45 ページの「VCR を接続する」を参照してください。）
S- ビデオ	S-VIDEO IN に接続されている S- ビデオ入力を選択します。 （45 ページの「VCR を接続する」を参照してください。）
テストパターン	テストパターンを表示します。 （オプション：クロスハッチ、ラスタ（0%）、ラスタ（25%）、ラスタ（50%）、 ラスタ（100%）、ラスタレッド、ラスタグリーン、ラスタブルー、 ブルーラスタ 60、グレーラスタ 10、グレーラスタ 30、Ramp H、Ramp V、Red Ramp H）

調整メニューの説明と機能

「調整」メニューには、画質、オーバースキャン、カラーマトリクスなど、プロジェクター全体でのイメージ出力の設定があります。
「調整」メニューには、「イメージ」、「画像設定」、「ビデオ」の 3 つのタブがあります。

イメージメニュー

映像の設定を変更する場合に使用します。「調整」メニューからも表示できます。

下表に、各機能の説明と初期設定値を示します。

名　称	仕　様
イメージ選択	◀ または ▶ によりリストからプリセット値のセットを選択します。下記の値は、プリセット選択によって変化します。
詳細設定	83 ページの「詳細設定メニューの説明と機能」を参照してください。
コントラスト	◀ または ▶ によりコントラスト値を調整し、画面の明るい部分と暗い部分の差を強調します。
明るさ	◀ または ▶ により明るさの値を調整し、画面を明るく、または暗くします。
画質	◀ または ▶ によりシャープネスの値を調整し、境界を強調させる、またはぼかします。
色の濃さ	◀ または ▶ により色の濃さを調整します。
色合い	◀ または ▶ により色合いの値を調整します。
リセット	設定値および調整値は、工場出荷時の値に設定されます。

画像設定メニュー

スクリーンの位置調整、アスペクト比などを設定するメニューです。「画像設定」へは、「調整」メニューからアクセスします。

下表に、各機能の説明と初期設定値を示します。

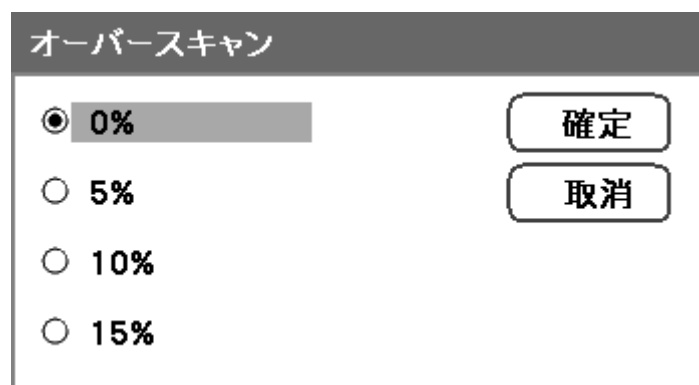
名　称	仕　様
表示モード	◀ または ▶ によりリストから「スクリーン」を選択します（79 ページの「表示モード」を参照してください）。
オーバースキャン	◀ または ▶ によりオーバースキャン値を設定します（79 ページの「オーバースキャン」を参照してください）。
PC 調整	スライドにより位置の値を調整します。 水平：　◀ または ▶ により画面の水平位置を調整します。 垂直：　◀ または ▶ により画面の垂直位置を調整します。 総ドット数：　コンピュータ画像の微調整または横縞を除去します。 トラッキング：　クロック位相を調整するか、または画像のノイズ、残像（クロストーク）を除去します。 メモ 総ドット数の設定を変更後は、トラッキング設定のみを使用してください。
WXGA モード	WXGA モードを選択します（79 ページの「WXGA モード」を参照してください）。

表示モード

「表示モード」画面では、投映画像の縦横比を変えるアスペクト比を調整できます。

4:3 – 標準のテレビ画面（4:3）、画面のサイズに関係なく、横 4、縦 3 の比率。
16:9 – ワイド画面のアスペクト比
15:9 – スクリーンサイズに合うように画像全体を縦横方向に拡大します。
レターボックス – レターボックス（上下に黒い帯のある画面）で投映します。
リアル – オリジナル画像の解像度で画像を表示します。
ノーマル – オリジナル画像のアスペクト比で画像を表示します。

オーバースキャン

通常､映像はスクリーンのサイズよりも大きく､映像の端部が表示されない場合があります。トリミングする境界部分は、オーバースキャンメニューにより調整できます。

異なるスクリーンサイズを補正するオーバースキャン率を 0 〜 15%の範囲で設定します。

WXGA モード

入力信号が認識されたときに、オンに設定されていれば、WXGA（1280 × 768）信号が優先されます。
WXGA モードがオンのとき、XGA（1024 × 768）信号は認識されないかもしれません。このような場合は、WXGA モードをオフにしてください。
信号が正しく認識されているかどうか確認するには、「インフォメーション」メニューの下の「入力」を参照してください（106 ページ参照）。

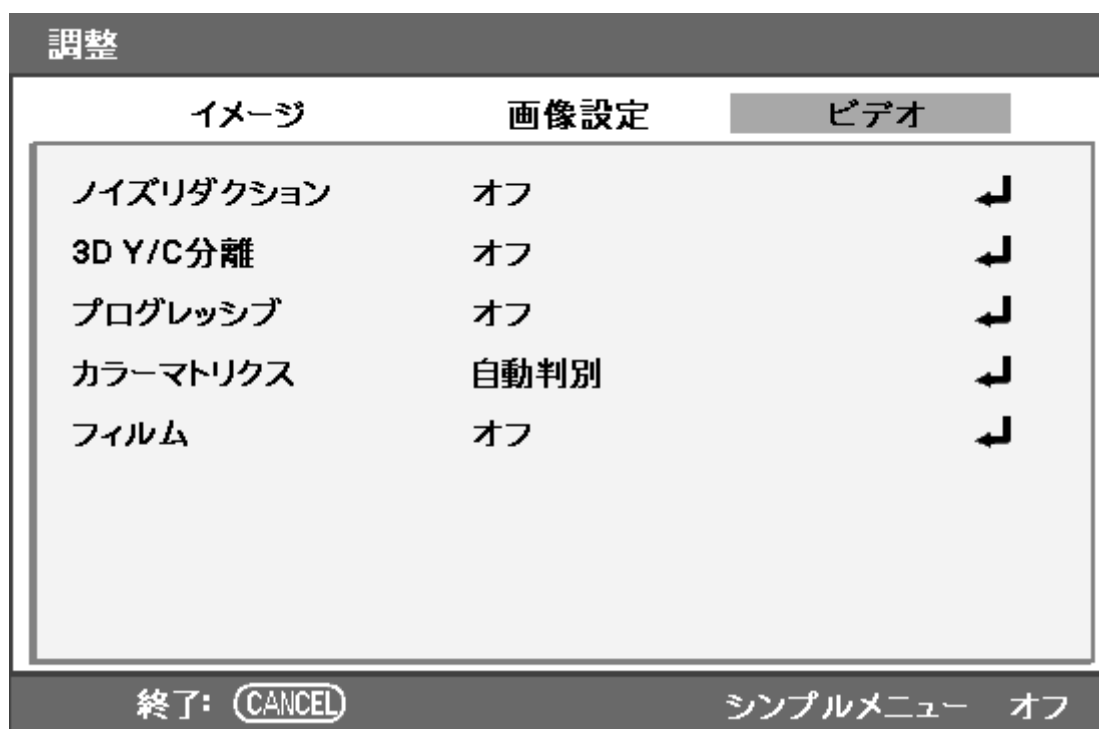
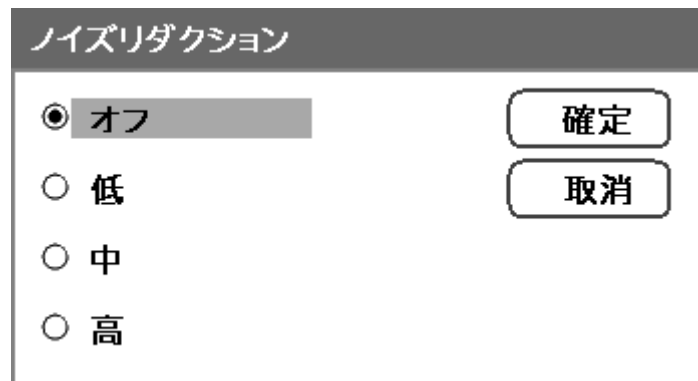
ビデオメニュー

フィルムなどのイメージオプションを設定するメニューです。「ビデオ」メニューへは、「調整」メニューからアクセスします。

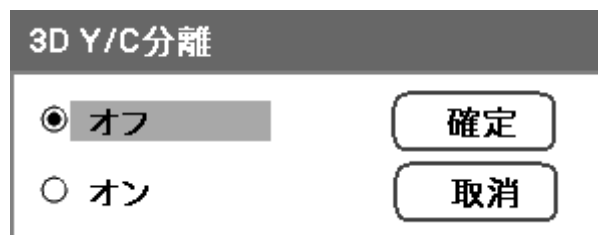
調整

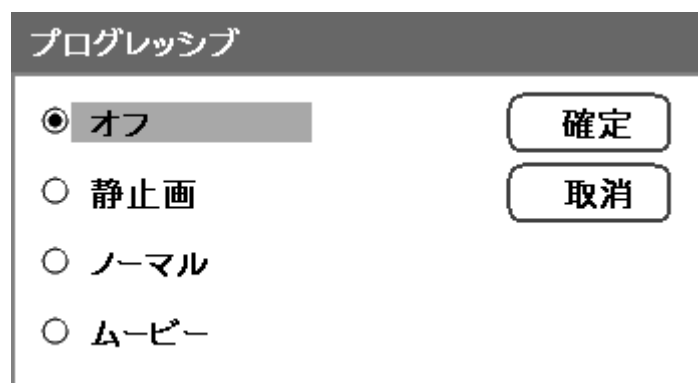
イメージ　画像設定　ビデオ

ノイズリダクション　オフ
3D Y/C分離　オフ
プログレッシブ　オフ
カラーマトリクス　自動判別
フィルム　オフ

終了: CANCEL　シンプルメニュー　オフ

下表に、各機能の説明と初期設定値を示します。詳細は以降のページに示します。

名　称	機　能
ノイズリダクション	ノイズリダクションモードを選択します（81 ページの「ノイズリダクション」を参照してください）。
3D Y/C 分離	3D Y/C 分離モードを選択します（81 ページの「3D Y/C 分離」を参照してください）。
プログレッシブ	プログレッシブモードを選択します（81 ページの「プログレッシブ」を参照してください）。
カラーマトリクス	カラーマトリクスモードを選択します（82 ページの「カラーマトリクス」を参照してください）。
フィルム	フィルムモードを選択します（82 ページの「フィルム」を参照してください）。

ノイズリダクション
必要なノイズリダクションレベルを選択します。

オプション：オフ、低、中、高

3D Y/C 分離
3D Y/C 分離は、コンポジット信号を Y（輝度）信号と C（色）信号に分離し、色を重ねずに（レインボー効果）映像を鮮明にする効果があります。

3D Y/C 分離を「オン」または「オフ」に設定します。

プログレッシブ
インターレス画像をプログレッシブスキャン画像に変換します。

プログレッシブの方式を選択します。
静止画 – スライド投映やスクリーンショットなどの静止画投映時に選択します。
ノーマル – 通常の投映時に選択します。
ムービー – ムービー投映時に選択します。

カラーマトリクス

R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 つの色成分の量を定義します。

次のオプションから選択します。
自動判別 – カラーマトリクスを自動選択します。
RGB – カラーマトリクスを RGB に設定します。PC モニターやカメラ画像処理に使用します。
SDTV – カラーマトリクスを SDTV に設定します。標準画質の画像処理に使用します。
HDTV – カラーマトリクスを HDTV に設定します。高品位の画像処理に使用します。

フィルム

映画のフィルム画像をビデオ信号に変換する際に役立つ機能です。この処理では、映像にフレームを追加してフレームレートを上げます。

この機能は、プログレッシブが選択され、SDTV 信号が選択されている場合にのみ利用できます。

次のオプションから選択します。
オフ – フィルムモードをオフにします。
2-2/2-3 自動 – プルダウン方式を検出します。
2-2 オン – 2-2 プルダウン方式を使用します。
2-3 オン – 2-3 プルダウン方式を使用します。

詳細設定メニューの説明と機能

詳細設定メニューには、ガンマ補正、カラーコントラスト、色補正などの基本および詳細なカラー調整オプションがあります。

基本設定

「基本設定」タブには、ガンマ補正、色温度などの一般的な詳細設定オプションがあります。「基本設定」タブへは、詳細設定メニューからアクセスします。

下表に、各機能を説明します。

名　称	仕　様
参照	基準モードを設定します（84 ページの「参照」を参照してください）。
ガンマ補正	ガンマ補正モードを選択します（84 ページの「ガンマ補正」を参照してください）。
色温度	スライドバーを左右に動かし色温度 K（ケルビン）を設定します。利用できる光の量を補正します。昼光は約 5,500K。
BrilliantColor	スライドバーを左右に動かし BrilliantColor™（ブリリアントカラー）値を設定します。ブリリアントカラーは、ダイナミックレンジを広げ、コントラストのあまりのない画像のディテールを鮮明にします。

 メモ

「色温度」と「BrilliantColor」は、「参照」で「ビデオ」を選択したときのみ、調整できます。

参照

参照モードを使用すると、ムービー、PC 画像、静止画などのソースに合わせてプロジェクターを使い分けることができます。

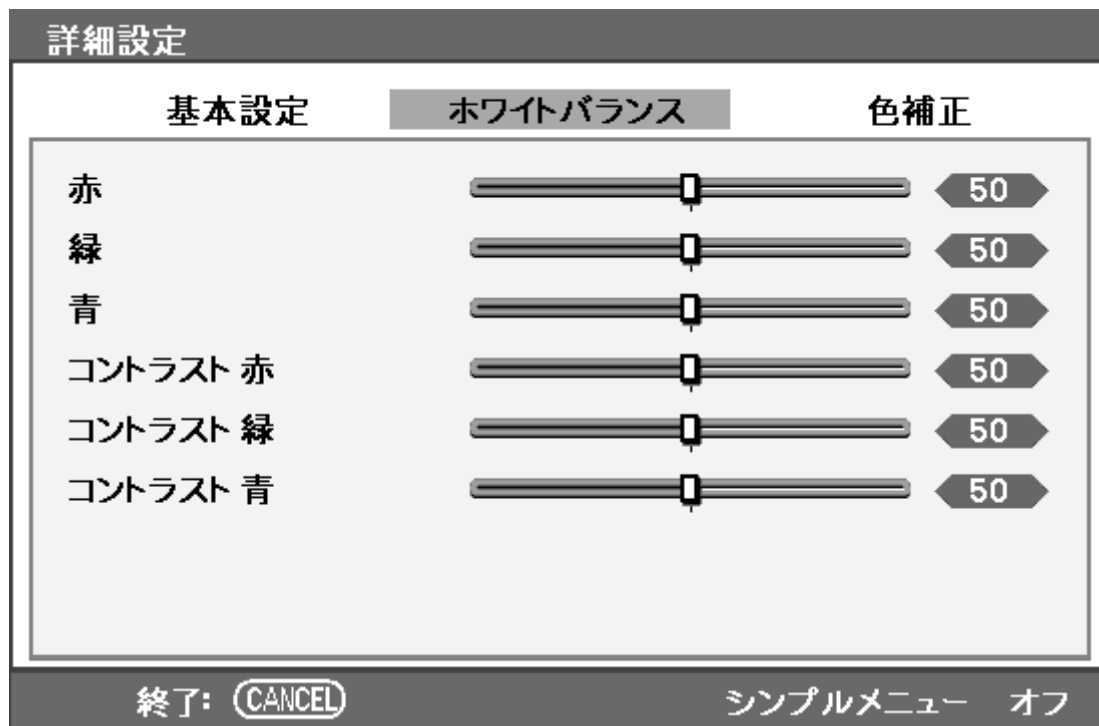
次のオプションから選択します。
高輝度モード – 明るい室内でプロジェクターを使用する場合に選択します。
プレゼンテーション – プレゼンテーションを行う場合に選択します。
ビデオ – ビデオ画像投映時に選択します。
ムービー – ムービー投映時に選択します。
グラフィック – 静止画投映時に選択します。
sRGB – PC 画像または Web ページ画像投映時に選択します。

ガンマ補正

ソースをさらに忠実に再現するために、画像の明るさを調整することができます。

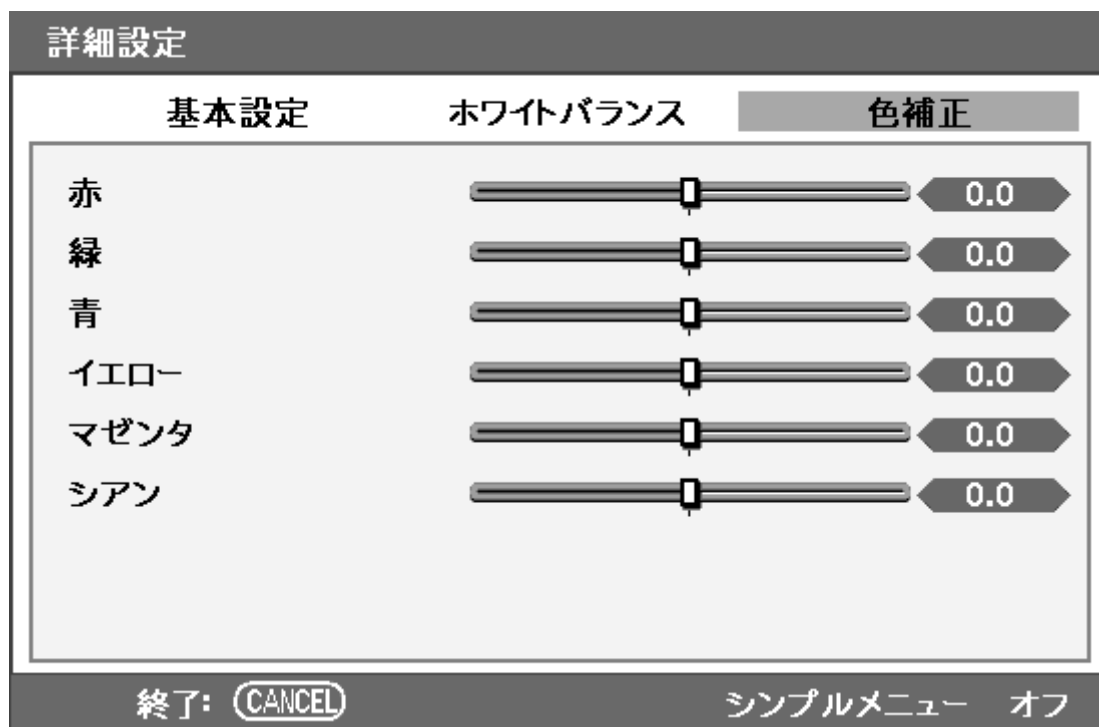
次のオプションから選択します。
ダイナミック – ガンマ補正を自動的に修正します。
ナチュラル – オリジナルのソースをできる限り忠実に再現します。
ソフト – シネマなどの画像の暗い部分のディテールを鮮明にします。

ホワイトバランス

異なる光源から出力された光の様々な色を補正します。

下表に、各機能を説明します。

名　称	仕　様
赤	赤の光源を補正する値を設定します。
緑	緑の光源を補正する値を設定します。
青	青の光源を補正する値を設定します。
コントラスト赤	赤の光源を補正するコントラスト（赤）値を設定します。
コントラスト緑	緑の光源を補正するコントラスト（緑）値を設定します。
コントラスト青	青の光源を補正するコントラスト（青）値を設定します。

色補正

「色補正」タブでは、不要な効果を除去したり、カラー特性を改善したり、特定の色を追加するなど、画像の明度を調整できます。

下表に、各機能を説明します。

名　称	仕　様
赤	◀ または ▶ ボタンを押して、投映出力の赤の色成分を増減します。
緑	◀ または ▶ ボタンを押して、投映出力の緑の色成分を増減します。
青	◀ または ▶ ボタンを押して、投映出力の青の色成分を増減します。
イエロー	◀ または ▶ ボタンを押して、投映出力の黄色の色成分を増減します。
マゼンタ	◀ または ▶ ボタンを押して、投映出力のマゼンタの色成分を増減します。
シアン	◀ または ▶ ボタンを押して、投映出力のシアンの色成分を増減します。

設定メニューの説明と機能

設定メニューには、設置時に使用する一般的な設定や、プロジェクターの出力をカスタマイズするオプションがあります。設定メニューには、「基本設定」、「設置」、「オプション」の 3 つのタブがあります。

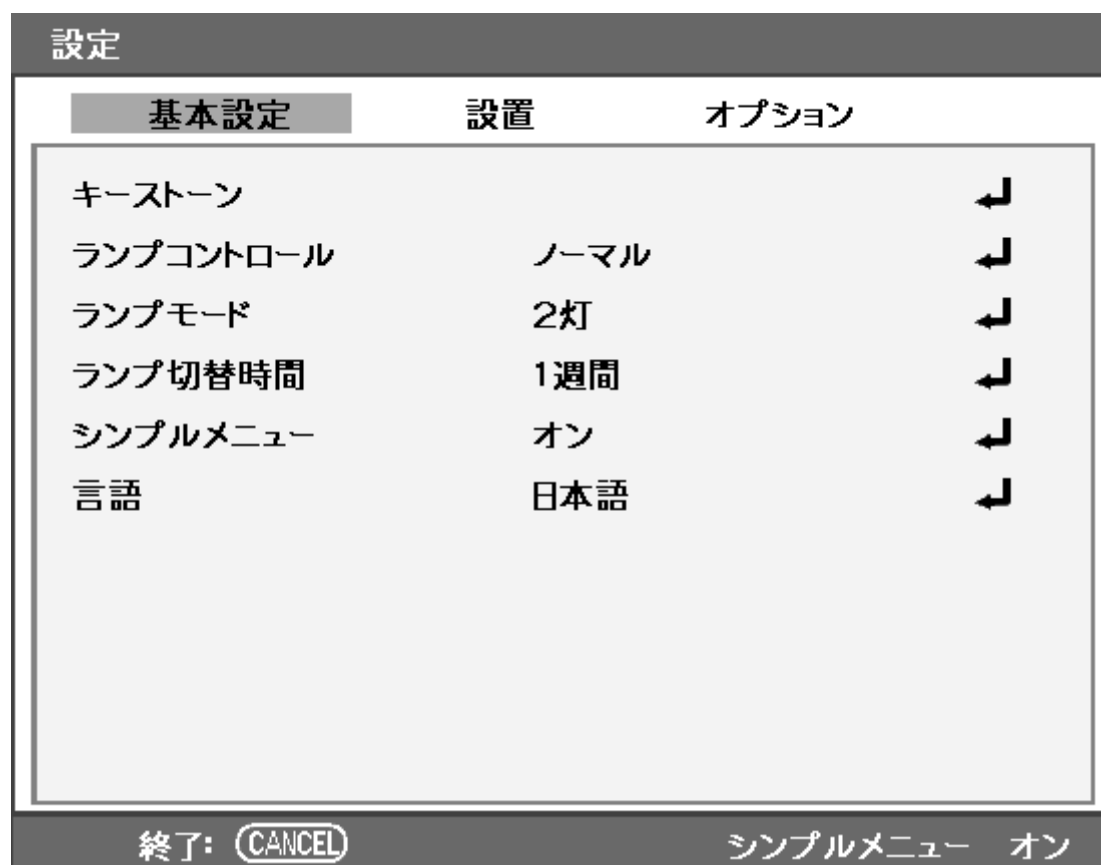
基本設定

「基本設定」タブには、ランプモード、OSD 言語設定など全般的な設定オプションがあります。このタブへは、プロジェクターの操作パネルまたはリモコンからアクセスできます。

設定

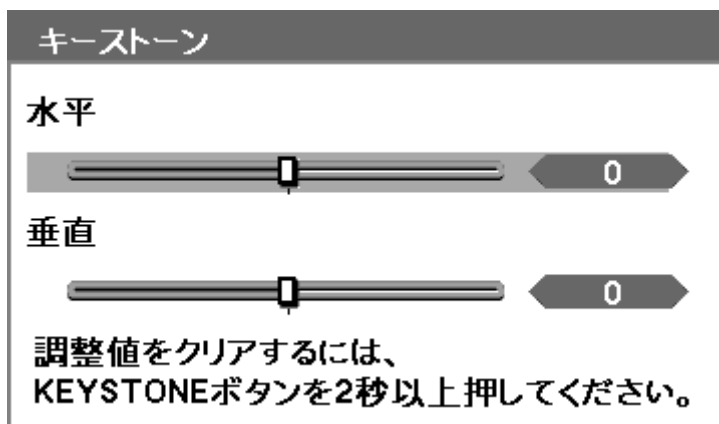
基本設定　設置　オプション

キーストーン		↵
ランプコントロール	ノーマル	↵
ランプモード	2灯	↵
ランプ切替時間	1週間	↵
シンプルメニュー	オン	↵
言語	日本語	↵

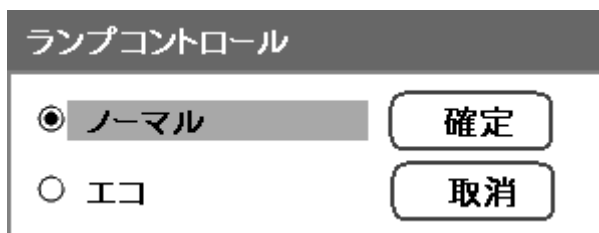
終了: CANCEL　シンプルメニュー　オン

下表に、各機能を説明します。

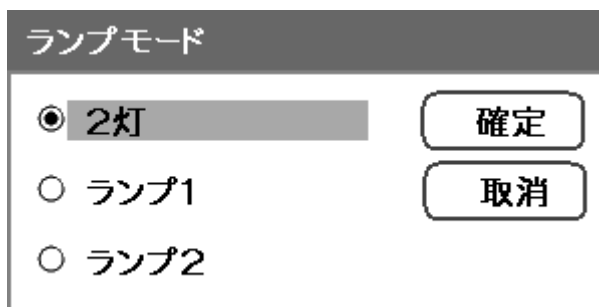
名　称	仕　様
キーストーン	キーストーン（台形歪み）を調整します（88 ページの「キーストーン」を参照してください）。
ランプコントロール	ランプコントロールを「ノーマル」または「エコ」に切り替えます。
ランプモード	ランプ構成を「2 灯」、「ランプ 1」、または「ランプ 2」に切り替えます。
ランプ切替時間	ランプ交換周期を「オフ」、「1 週間」、「4 週間」、または「2000 時間」に切り替えます。
シンプルメニュー	最小限必要なオプションを備えたメニューを表示します。これは、初心者に最適な設定です。
言語	OSD の言語を選択します（90 ページの「言語」を参照してください）。

キーストーン

このオプションを選択すると、キーストーン（台形歪み）を調整できます。

▲ または ▼ を押して「水平」方向または「垂直」方向を選択し、次に ◀ または ▶ を押して投映画像を必要に応じて調整します。

ランプコントロール

ランプモード画面で「ノーマル」または「エコ」を選択します。エコモードを選択すると、ランプの寿命が伸び、ファンの回転ノイズが減少します。

ランプモード

投映時に使用するランプを選択します。

次のオプションから選択します。
2 灯 – 両方のランプを同時に使用
ランプ 1– ランプ 1 のみ使用
ランプ 2– ランプ 2 のみ使用

ランプ切替時間

2 灯モード以外のランプモード使用時に、ランプ 1 とランプ 2 を切り替える交換周期を設定します。

次のオプションから選択します。
オフ、1 週間、4 週間、2000 時間

シンプルメニュー

シンプルメニューを選択して表示します。

シンプルメニューを「オン」または「オフ」に設定します。

言語

OSD で使用する言語を選択します。

次のオプションから選択します。

- English（英語）
- Deutsch（ドイツ語）
- Français（フランス語）
- Italiano（イタリア語）
- Español（スペイン語）
- Svenska（スウェーデン語）
- 日本語
- 中文（簡体字中国語）

設置

「設置」タブには、設置方向やリモートセンサモードなど、各種セットアップ条件に対応したメニューオプションがあります。このタブは、「設定」メニューからアクセスします。

設定		
基本設定	設置	オプション
天吊り&リア	デスク／フロント	↵
通信速度	4800bps	↵
メニュー表示色選択	カラー	↵
表示時間	自動 5秒	↵
バックグラウンド	青	↵
暗証番号ロック	オフ	↵
キーロック	オフ	↵
DynamicBlack	オフ	↵
リモコン受光部	両方	↵
ネットワーク設定		↵
スタンバイモード	ノーマル	↵
PCコントロール	PCコントロール	↵
終了: CANCEL	シンプルメニュー オフ	

下表に、各機能を説明します。

名　称	仕　様
天吊り & リア	投映場所に基づいて 4 通りの投映方法から選択します。
通信速度	通信速度を、「4800bps」、「9600bps」、「19200bps」、「38400bps」の中から選択します。
メニュー表示色選択	メニューの色を、「カラー」または「モノクロ」から選択します。
時間表示	表示時間を、「手動」、「自動 5 秒」、「自動 15 秒」、「自動 45 秒」の中から選択します。
バックグラウンド	無信号時の背景を、「青」、「黒」、「ロゴ」の中から選択します。
暗証番号ロック	暗証番号ロックを「オン」または「オフ」に設定します。

名　称	仕　様
キーロック	操作パネルロックを「オン」または「オフ」に設定します。 メモ • 操作パネルロックは、リモコン機能には影響を与えません。 • 操作パネルをロックし、本機のキャビネットにある［CANCEL］ボタンを約 10 秒間押し続けると、設定は「オフ」に切り替わります。
DynamicBlack	DynamicBlack™ は、プロジェクターの黒レベルを向上させます。黒レベルは、画像の最も暗い部分で、表示装置や環境によって異なります。 DynamicBlack を「オン」または「オフ」に設定します。
リモコン受光部	リモコン受光部を「前後両方」、「前」、または「後」に設定します。
ネットワーク設定	「ネットワーク設定」タブを表示します（98 ページの「ネットワーク設定」を参照してください）。
スタンバイモード	スタンバイモードを「ノーマル」、「省電力」から選択します。
PC コントロール	「PC コントロール」または「Network」から選択します。

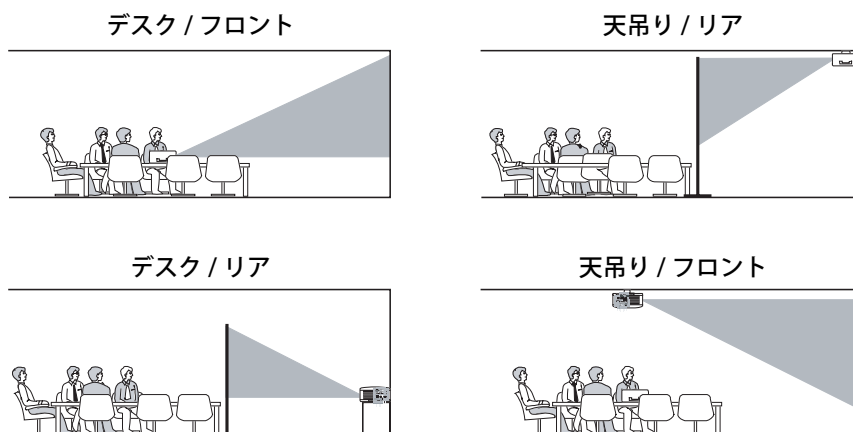
天吊り & リア

天吊り＆リア機能では、投映画像の表示方法を設定できます。
次のオプションから選択します。
デスク / フロント – 標準的な正面向きの投映（初期設定）
デスク / リア – 標準的な背面投映。画像の左右を反転させスクリーンの後から投映することができます。
天吊り / フロント – 天井から正面向きの投映。画像の上下を反転させ天井から投映することができます。
天吊り / リア – 天井からの背面投映。画像の上下左右を反転させ天井からスクリーンの後に向け投映することができます。

デスク / フロント

天吊り / リア

デスク / リア

天吊り / フロント

通信速度

通信速度を選択します。

 メモ

ケーブル接続が長い場合は、通信速度の設定値を小さくしてください。

次のオプションから選択します。

- 4800bps
- 9600bps
- 19200bps
- 38400bps

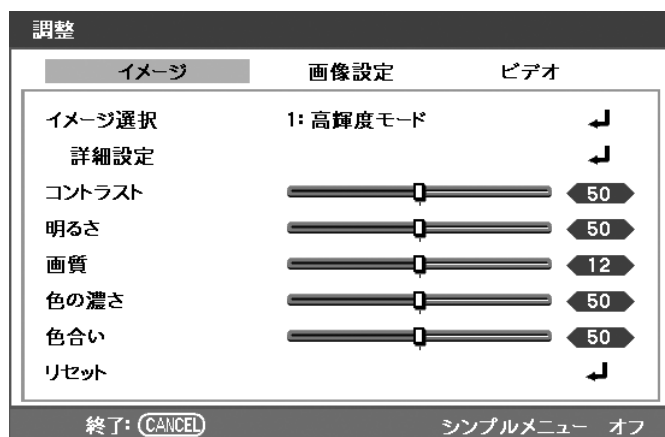
ネットワークモードでは、通信速度機能は使用できません。

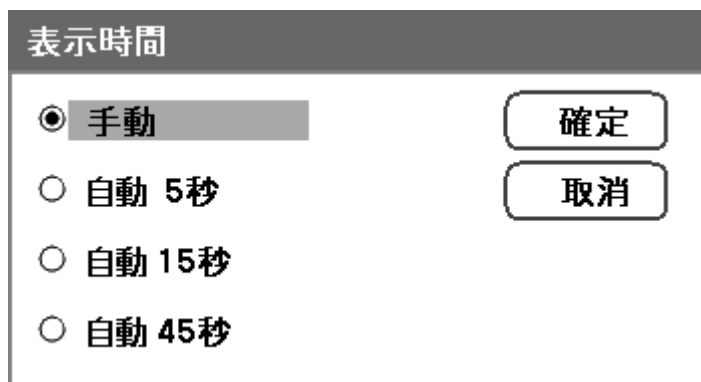
メニュー表示色選択

カラーモードを選択しメニューの色を設定します。

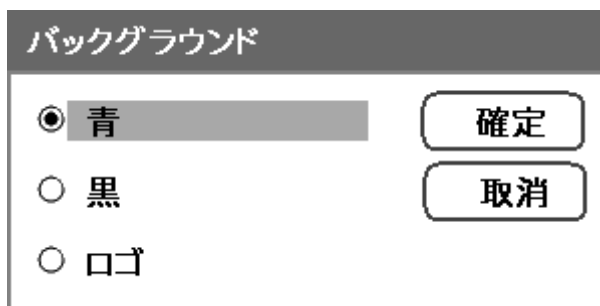
次のオプションから選択します。

- カラー

- モノクロ

時間表示

メニューの表示時間を設定します。

次のオプションから選択します。
手動 – メニューは [MENU] ボタンがもう一度押されるまで画面に表示されます。
自動 5 秒 – メニューを 5 秒間表示します。
自動 15 秒 – メニューを 15 秒間表示します。
自動 45 秒 – メニューを 45 秒間表示します。

バックグラウンド

無信号時に青画面または黒画面を表示します。バックグラウンドの初期設定は青です。

次のオプションから選択します。
- 青
- 黒
- ロゴ

暗証番号ロック

67 〜 69 ページの「プロジェクターの不正使用を防ぐ」を参照してください。

キーロック

本機のキャビネットのボタンを対象としたキーロック機能をオンまたはオフにします。

 メモ

- 操作パネルロックは、リモコン機能には影響を与えません。
- 操作パネルをロックし、本機のキャビネットにある［CANCEL］ボタンを約 10 秒間押し続けると、設定は「オフ」に切り替わります。

DynamicBlack

DynamicBlack™ を使用すると、プロジェクターの黒レベルを向上させることができます。

リモコン受光部

ワイヤレスリモコンの作動範囲を設定します。

次のオプションから選択します。

- 両方
- 前
- 後

ネットワーク設定

98 ページの「ネットワーク設定」を参照してください。

スタンバイモード

スタンバイモードにはノーマルと省電力の 2 種類があります。省電力モードの場合、スタンバイ状態での消費電力はノーマルモード時よりも少なくなります。

 メモ

コンピュータの電源を入れる前に、必ずプロジェクターをスタンバイモードにしてコンピュータに接続してください。

次のオプションから選択します。

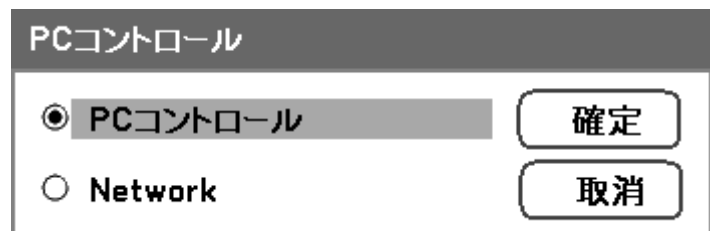
- ノーマル
- 省電力

メモ

省電力モード時には、HTTP サーバー機能は使用できません。
省電力モード時には、モニター出力機能は使用できません。
省電力モード時には、PC コントロールコネクタおよび LAN モードからのコントロールは使用できません。プロジェクターの PC コントロールおよび LAN モード時には、プロジェクターをノーマルモードのままにしておくことをお薦めします。

ノーマルモード時 : POWER インジケータは橙で点灯
WARNING インジケータが緑で点灯
省電力モード時： POWER インジケータは橙で点灯
WARNING インジケータはオフ

PC コントロール

この機能を使用すると、PC からの制御または、ネットワーク経由での制御を選択できます（129 ページの「PC コントロールコードおよびケーブル接続」を参照してください）。

メモ

ネットワークモードでは、通信速度機能は使用できません。

次のオプションから選択します。

- PC コントロール
- Network

ネットワーク設定

「ネットワーク設定」タブは、「設定」または「設置」タブからアクセスし、一般的な LAN 設定を行います。

下表に、各機能の説明と初期設定値を示します。

名　称	仕　様
DHCP	該当するラジオボタンを選択して、静的 IP 設定または DHCP IP 設定を選択します。
IP address	IP アドレスを表示します。
Subnet	サブネットマスクを表示します。
Gateway	ネットワークゲートウェイ設定をオンまたはオフにします。設定を変更するには、ラジオボタンをクリックします。
DNS	DNS サーバー設定をオンまたはオフにします。設定を変更するには、ラジオボタンをクリックします。
ネットワーク暗証番号	パスワードを設定すると、Web ブラウザによるプロジェクターの設定ページへのアクセスを制限できます。パスワードの初期設定値は、0000 です。 設定範囲：　0000 〜 9999
設定適用	設定を適用して保存します。

オプション

「オプション」タブには、パワーマネージメントや初期入力選択などのセットアップメニュー設定があります。このタブは「設定」メニューからアクセスできます。

設定

基本設定　設置　オプション

オンスタート	オフ	↵
パワーマネージメント	オフ	↵
スクリーントリガ	オフ	↵
ファン制御	マックス	↵
初期入力選択	ラスト	↵
カラー方式		
ビデオ	自動判別	↵
S-ビデオ	自動判別	↵
リモコンコード	コード 1	↵
メッセージ	オフ	↵
フィルター警告	オフ	↵
サーチモード	ファイン	↵

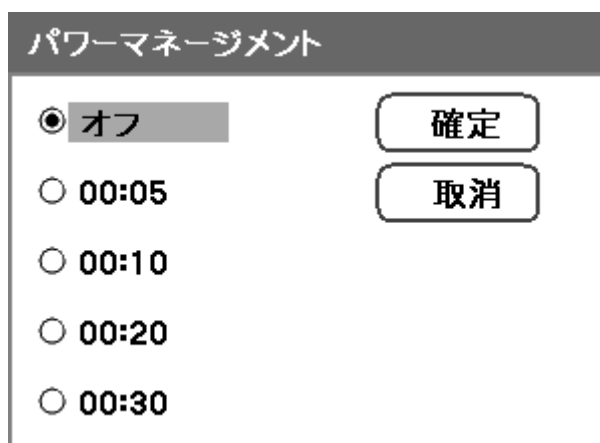
終了: CANCEL　シンプルメニュー　オフ

下表に、各機能の説明と初期設定値を示します。

名　称	仕　様
オンスタート	電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入るようにする場合、この項目をオンに設定します。 オンまたはオフに設定。
パワーマネジメント	プロジェクターの電源が切れるまでの待機時間を、次の中から選択します。 オフ、0:05、0:10、0:20、0:30
スクリーントリガ	プロジェクターの電源を入れたときにスクリーンを自動的に下降させる場合、この項目をオンに設定します。
ファン制御	ファン制御を「ノーマル」、「マックス」の中から選択します（101 ページの「ファン制御」を参照してください）。
初期入力選択	既定インプット選択を、「ラスト」、「自動」、「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「コンピュータ 3」、「コンポーネント」、「ビデオ」、「S- ビデオ」の中から選択します。
リモコンコード	リモコンコードを切り替えます（コード 1 ～コード 8）。
メッセージ	メッセージ表示を「オフ」、または「オン」に設定します。

名　称	仕　様
フィルター警告	エアフィルターの掃除時期を知らせるメッセージを表示させる場合、この項目をオンに設定します。設定値は、「オフ」、「100 時間」、「200 時間」、「500 時間」、または「1000 時間」です。
サーチモード	自動調整モードを「ノーマル」、または「ファイン」に設定します。

オンスタート

オンスタート機能は、電源コードをコンセントに接続し、主電源スイッチを入れたときにプロジェクターを自動的に起動します。これにより、リモコンまたは本機キャビネットの [POWER（ON/STAND-BY）] ボタンを押す必要はありません。オンスタート機能を使用するには、電源コードを接続する前に、主電源スイッチを入れます。

メモ

- [POWER] ボタンによりプロジェクターの電源を切り（またはスタンバイモードに切り替え）、電源コードを外した場合、AC 電源を供給してもオンスタート機能は起動しません。
- ダイレクトパワーオフ機能によりプロジェクターの電源を切った場合、または AC 電源を切断すると（スタンバイモードではありません）、オンスタート機能は AC 電源が供給された後起動します。
- ダイレクトパワーオフ機能では、切替器 / ブレーカー内蔵ケーブルタップによりプロジェクターへの AC 電源供給をオフにすることができます。

パワーマネジメント

パワーマネージメント機能は、入力信号がない場合にプロジェクターの電源を自動的に切断します。

次のオプションから選択します。

- オフ
- 00:05（5 分）
- 00:10（10 分）
- 00:20（20 分）
- 00:30（30 分）

スクリーントリガ

プロジェクターの電源を入れたときにスクリーンを自動的に下降させる場合、スクリーントリガをオンに設定します。電源を切ると、スクリーントリガからスクリーンコントローラへの低電圧トリガ信号の送信が停止し、スクリーンは上昇します。

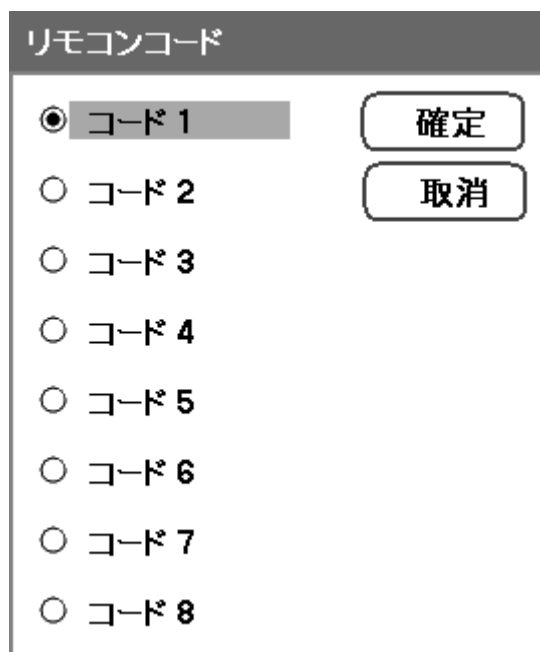
ファン制御

ファン制御は、冷却ファンの回転速度を設定する場合に使用します。海抜 1500m 以上の高地の場合は、ファン回転速度を「マックス」に設定します。

ファン制御オプションの初期設定値は「ノーマル」です。この場合、プロジェクターはファンの動作要件を自動的に検出します。高温地域での使用や長時間使用の場合は、「マックス」オプションを使用すると冷却能力が向上します。

初期入力選択

初期入力とは、プロジェクターが起動時に自動的にサーチする画像ソースです。

ラスト – 最後に使用された画像ソースを使用します。
自動 – 既定の画像ソースを自動検出します。
コンピュータ 1, 2, 3 – コンピュータ 1、2 または 3 を初期設定の画像ソースとして使用します。
コンポーネント – 最後に使用したコンポーネントを初期設定の画像ソースとして使用します。
ビデオ – 最後に使用したビデオ入力を初期設定の画像ソースとして使用します。
S- ビデオ – 最後に使用したＳ - 映像入力を初期設定の画像ソースとして使用します。

リモコンコード

本機には、「コード 1」～「コード 8」の 8 種類のリモコンコードがあります。工場出荷時はコード 1 に設定されています。複数のプロジェクターやビデオ機器を使用するときに、このリモコンコードを使い分けてリモコンによるコントロールの混信を防止できます。

プロジェクターのコードを切り替える場合：

リモコンコントロールコードを切り替える場合、オンスクリーンメニューでコード 1 ～コード 8 の中から選択できます。

メッセージ

メッセージ表示をオンまたはオフにするオプションです。「オフ」を選択しても、「セキュリティロック中です。」というメッセージが表示されます。プロジェクターのセキュリティを解除すると、このメッセージは消えます。

フィルター警告

エアフィルターの掃除時期を通知するメッセージが表示されるまでの時間を設定します。

この機能をオンにすると、次のメッセージが表示されます。

フィルタ清掃時期です。

サーチモード

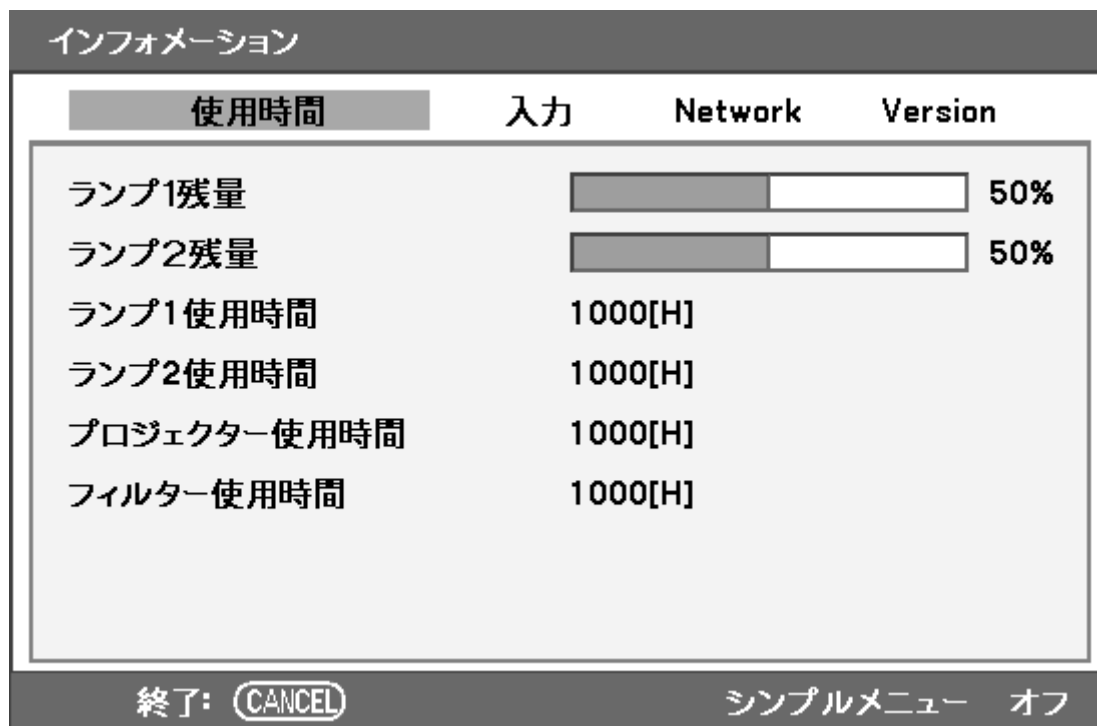
この機能は､RGB 画像のノイズや再現性の自動調整またはマニュアル調整ができるように､自動調整モードを設定します。
自動調整には、「ノーマル」と「ファイン」の 2 つのモードがあります。

ノーマル：RGB 画像は自動的に調整されます。通常は、このオプションを選択します（初期設定）。
ファイン：微調整が必要な場合、このオプションを選択します。ただし、ソースへの切替にはノーマル設定よりも時間がかかります。

インフォメーションメニューの説明と機能

インフォメーションメニューは、メニューに簡単にアクセスするための画面のみを提供します。インフォメーションメニューには 4 つのタブがあります。

使用時間

「使用時間」タブには、ランプの使用時間とランプ交換までの残り時間が表示されます。

下表に、このタブに表示される各項目を説明します。

名　称	仕　様
ランプ 1 残量	ランプ 1 の交換までの残り時間をパーセントで示します。
ランプ 2 残量	ランプ 2 の交換までの残り時間をパーセントで示します。
ランプ 1 使用時間	ランプ 1 の積算使用時間を示します。
ランプ 2 使用時間	ランプ 2 の積算使用時間を示します。
プロジェクター使用時間	プロジェクターの積算使用時間を示します。
フィルター使用時間	フィルターの積算使用時間を示します。

入力

「入力」タブには、様々なソースや周波数値が表示されます。

インフォメーション

使用時間　**入力**　Network　Version

入力名	コンピュータ 2
信号	1024x768
水平周波数	48.36[kHz]
垂直周波数	60.00[Hz]
ビデオ標準	---
同期形態	セパレート
同期極性	H:(-)V:(-)
走査方式	ノンインターレース

終了: CANCEL　シンプルメニュー　オフ

下表に、このタブに表示される各項目を説明します。

名　称	仕　様
入力名	現在接続されている入力端末を示します （102 ページの「初期入力選択」を参照してください）。
信号	現在使用されている信号のソース名を示します（99 ページの「オプション」を参照してください）。
水平周波数	水平周波数を示します (単位：KHz)
垂直周波数	垂直周波数を示します (単位：Hz)
ビデオ標準	ビデオ標準を示します。
同期形態	同期形態を示します。
同期極性	同期極性を示します。
走査方式	走査方式を示します。

Network

「Network」タブには、前述したネットワーク設定が表示されます（98 ページの「ネットワーク設定」を参照してください）。

インフォメーション

使用時間 入力 Network Version

IP address	192.168.10.10
Subnet	255.255.255.0
Gateway	0.0.0.0
MAC address	00:30:13:04:9E:01

終了: CANCEL シンプルメニュー オフ

Version

「Version」タブには、プロジェクターおよび関連するソフトウェアのバージョンと製品詳細情報が表示されます。

インフォメーション

使用時間　入力　Network　Version

モデル名	DWT50
シリアルナンバー	
Firmware	1.0.0
リモコンコード	コード 1

終了: CANCEL　シンプルメニュー　オフ

下表に、このタブに表示される各項目を説明します。

名　称	仕　様
モデル名	製品 ID を表示します。
シリアルナンバー	プロジェクターの製造番号を表示します。
Firmware	現在インストールされているファームウェアのバージョンとカラーホイール（4 または 6 セグメント）を表示します。
リモコンコード	リモコンコードを表示します。

リセットメニューの説明と機能

デモを行う場合や部品を交換する場合など、工場出荷時設定をリセットすることが必要な場合があります。
リセットメニューには、設定を工場出荷時設定に戻すオプションがあります。このメニューはメインメニューからアクセスします。

下表に、このタブに表示される各項目を説明します。

<table>
<tr><th>名　称</th><th colspan="2">仕　様</th></tr>
<tr><td>表示中の信号</td><td colspan="2">投映中の信号の調整値を工場出荷時のプリセットレベルにリセットします。「調整」のすべての項目をリセットできます。</td></tr>
<tr><td>全データ</td><td colspan="2">オプション変更した場合でも、すべてのオプションを工場出荷時設定にリセットします。
言語、バックグラウンド、キーロック、セキュリティ、LAN モード、通信速度、ランプ残り時間、ランプ使用時間、フィルター使用時間を除く、すべての信号の調整値と設定値をリセットします。</td></tr>
<tr><td>ランプ 1 使用時間クリア</td><td>ランプ 1 使用時間をリセット</td><td rowspan="3">これらのオプションは、ランプやフィルターの掃除・交換を行うとき以外は使用しないでください（110 ページの「プロジェクターのお手入れ」を参照してください）。</td></tr>
<tr><td>ランプ 2 使用時間クリア</td><td>ランプ 2 使用時間をリセット</td></tr>
<tr><td>フィルター使用時間クリア</td><td>フィルター使用時間をリセット</td></tr>
</table>

プロジェクターのお手入れ

キャビネットのお手入れ

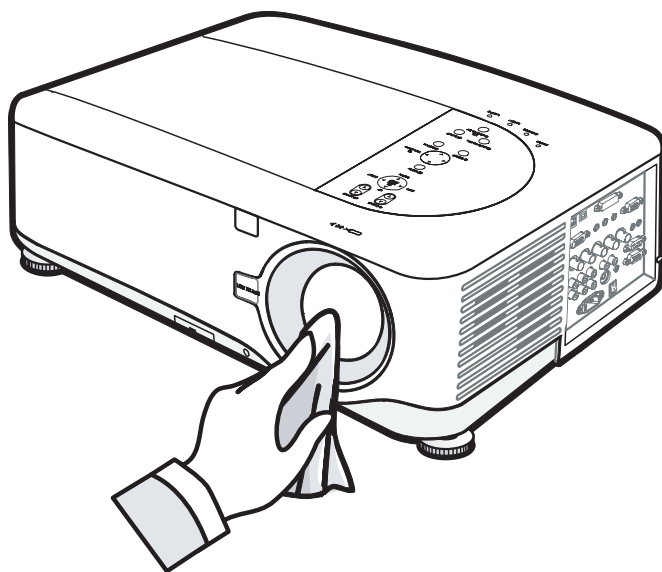
プロジェクターのキャビネットは、次のようにお手入れしてください。

1. 湿らせた布でほこりを拭き取ります。
2. ぬるま湯、中性洗剤で湿らせた布でキャビネットを拭きます。
3. 洗剤を洗い流した布をよく絞り、プロジェクターをもう一度拭きます。

キャビネット表面の変色や退色を防ぐために、研磨剤や揮発性成分を含む洗剤は使用しないでください。

レンズのお手入れ

プロジェクターのレンズは、次のようにお手入れしてください。

1. 柔らかい布にレンズクリーナーを少量つけます（レンズに直接クリーナーをつけないでください）。
2. 円を描くように力を入れずにレンズを拭きます。

研磨剤入りの洗剤や溶剤は使用しないでください。
プロジェクターキャビネット表面には、変色や退色を防ぐために洗剤は使用しないでください。

フィルターのお手入れ

プロジェクターのファンには、ほこりなどを防ぐフィルターが3つあります。これらのフィルターは、200時間(使用時間)ごとに掃除してください。ほこりの多い環境では、短い周期で掃除することをお薦めします。フィルターが汚れたり目詰まりを起こすと、プロジェクター内部の温度が上昇します。次のメッセージが表示された場合は、フィルターを掃除してください。

フィルタ清掃時期です。

 メモ

「フィルタ清掃時期です。」というメッセージが表示された場合は、3つのフィルターを同時に掃除または交換して、フィルター使用時間の表示を同一時刻にしてください。
フィルターメッセージ機能は、オプションメニューの「メッセージ」の設定をオンにし、かつ「フィルター警告」の設定をオンにしてください。99ページの「オプション」を参照してください。

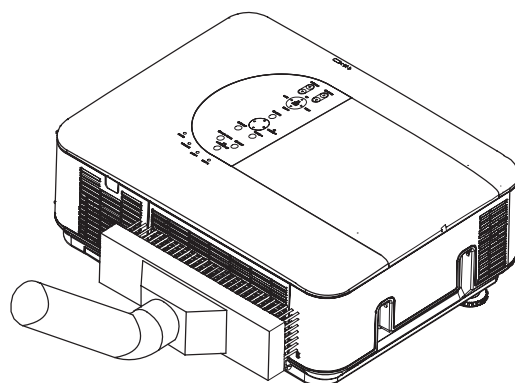
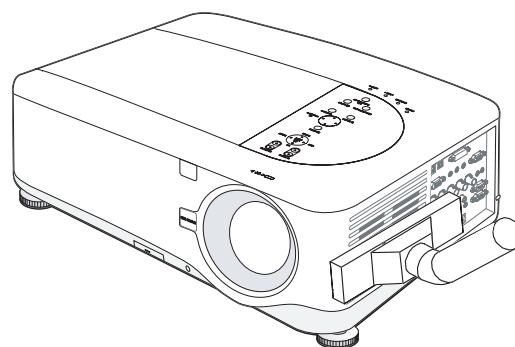
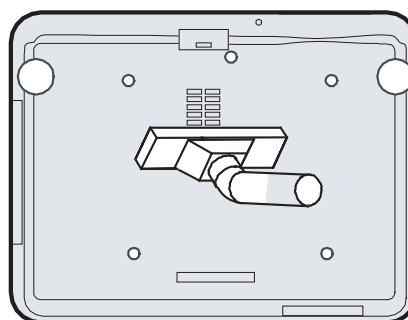
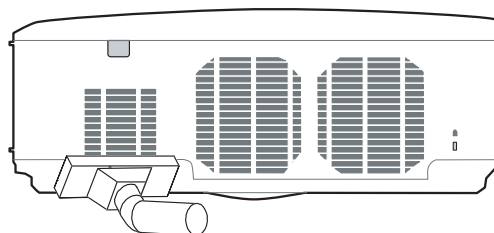
フィルターは、次のようにお手入れしてください。

1. 右図のように、プロジェクターを持ち上げ、1番目のフィルターが取り付けられている底面が見えるようにします。

 メモ

掃除機で排気口周辺のほこりを取りのぞいてください。

底面

2. 図のように、左側のフィルターと吸気口(後部)のほこりを取りのぞきます。

3. 図に後部フィルターの取り付け位置を示します。

フィルターの掃除が終了したら、「フィルター使用時間クリア」オプション（109 ページの「リセットメニューの説明と機能」を参照してください）を使用してフィルター使用時間をリセットしてください。

メモ

エアフィルターを付けずにプロジェクターを使用すると、プロジェクター内部にほこりなどが入り故障の原因になります。

消耗部品の交換

消耗部品は、通常の使用で摩耗し性能が低下します。プロジェクター内部の様々な消耗部品を簡単かつ安全に交換する手順は、次のとおりです。

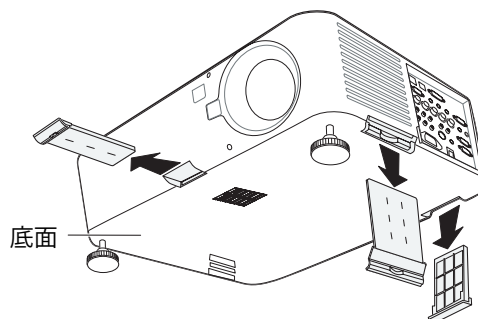
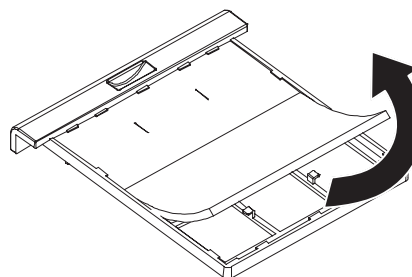
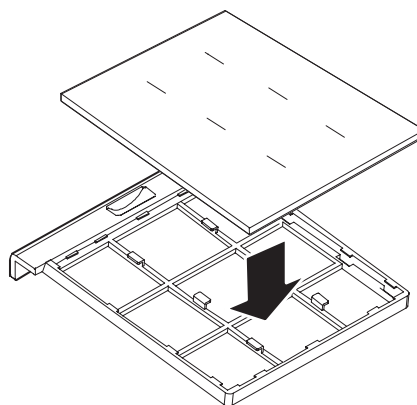
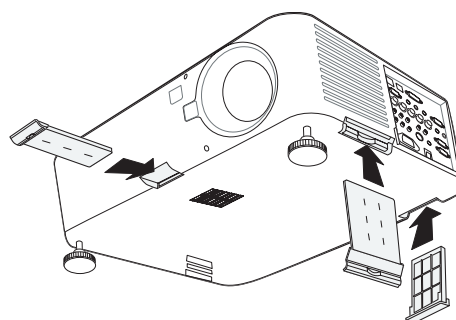
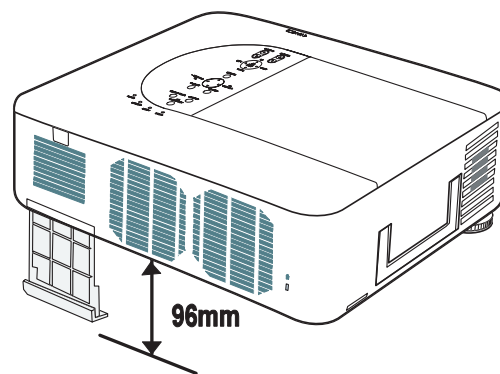
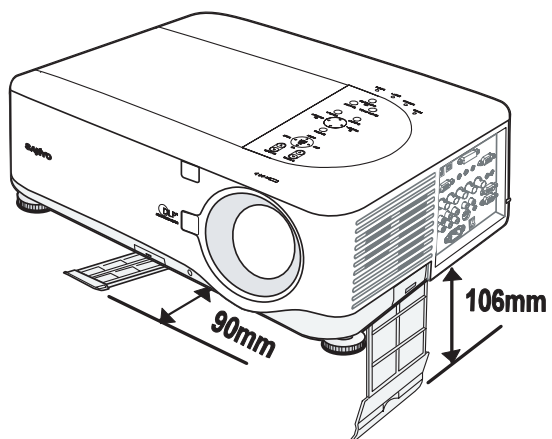
- 部品を交換する際の注意
- プロジェクターの電源がオフになっており、電源コードが外れていることを確認してください。
- プロジェクターを安定した清潔な場所に置いてください。
- プロジェクターの電源を切って 1 時間以上経過してから、消耗部品を交換してください。
- プロジェクターの使用を開始した後は、ランプ 1 とランプ 2 を入れ替えないでください。
  ランプの入れ替えをした場合、ランプ使用時間が正しく表示されません。
- 交換時に必要な最小スペースを確保してください。詳細は 39 ページおよび 115 ページを参照してください。

フィルターの交換

ランプを交換するときは、フィルターも交換してください。
フィルターを交換する手順は、次のとおりです。

フィルター交換でプロジェクターを持ち上げたとき、手や指の上にプロジェクターが倒れないよう注意してください。さもないと、怪我をする恐れがあります。

側面フィルターと後部フィルターは底面にあります。

1. フィルターカバーを矢印方向にゆっくり引き抜きます。

2. 3 つのフィルターからスポンジを矢印方向に外します。フィルターカバーから完全に外し、廃棄します。

3. 交換用スポンジを差し込み、しっかり押さえつけます。

4. フィルターカバーを矢印方向にゆっくり押し込み、元に戻します。

フィルターの交換が終了したら、「フィルター使用時間クリア」オプション（109 ページの「リセットメニューの説明と機能」を参照してください）を使用してフィルター使用時間をリセットしてください。

ランプの交換

ランプ交換をお知らせする次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。

ランプの交換時期です。
取扱説明書に従って早めに交換してください。

ランプが切れた場合は、必ず交換してください。交換ランプは必ず指定された品番の部品を使用してください。品番が不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メモ

1. 交換する際は、無理な力をかけないように注意してください。
2. 本機を 2 灯または 1 灯ランプモードで使用する場合は、両方のランプモジュール（ランプ 1 およびランプ 2）を取り付ける必要があります。1 灯ランプモジュールだけの場合、本体のランプは点灯せずランプ異常とみなされます。
3. ランプの寿命は約 2000 ～ 2100 時間（エコモードの場合は 2500 ～ 2600 時間）です。ランプの交換推奨時間が 100 時間未満になると、ランプ交換を知らせるメッセージが表示されます。使用時間が 2000 ～ 2100 時間の範囲内で交換してください。

重要

1. ランプには水銀が使用されています。破棄する場合は、ご使用の地域の条例に従って処分してください。
2. ランプのガラス面を手で触れると、ランプの寿命時間が短くなります。手で触れないように注意してください。

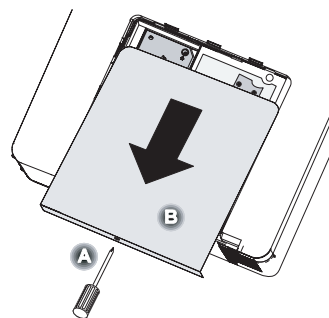
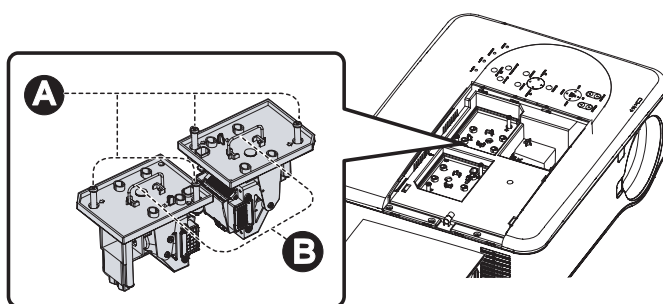
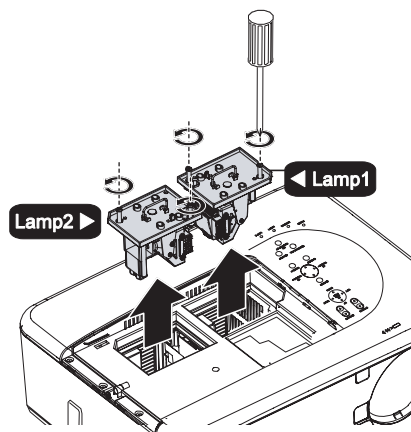
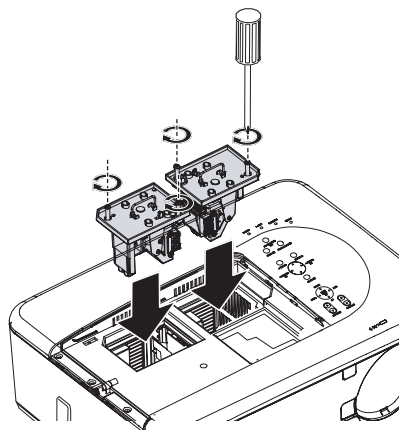
ランプ取り扱い上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高いランプを使用していますので、慎重かつ適切に扱ってください。不適切な取り扱いは、事故、けが、火災をまねく恐れがあります。

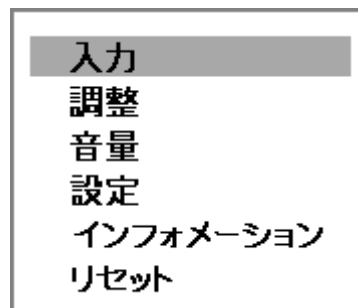
- ランプの寿命は、個体差や使用環境によって異なります。各ランプの寿命は同じ寿命とは限りません。寿命までの時間は、それぞれのランプで異なります。
- ランプ交換のお知らせ表示が出た場合（LAMP 1 および LAMP 2、またはいずれか一方が点灯）、プロジェクターの温度が低下してから、すみやかに新しいランプと交換してください。（この取扱説明書のランプ交換の項にある指示に従ってください。）交換時期を超えてお使いになると、ランプが破裂する危険が高まります。
- 使用可能な残り時間が少なくなると、振動、衝撃、劣化などでランプが破裂する恐れがあります。ランプが破裂する危険は、使用環境や使用条件によって異なります。

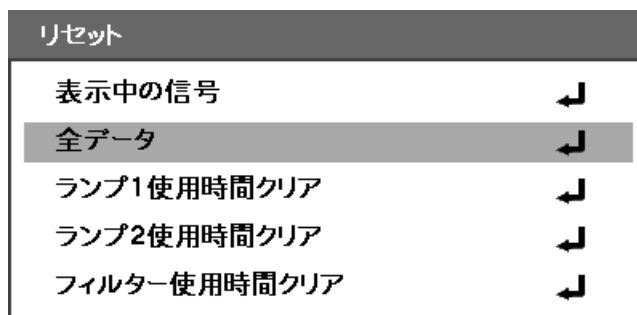
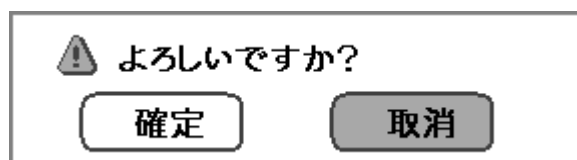
ランプが破裂した場合、次の安全対策を実施してください。
プロジェクターの AC プラグをすみやかにコンセントから抜きます。認定サービスセンターに連絡し、装置の点検とランプの交換を依頼してください。また、プロジェクターの周囲や冷却用エアの排気口近くにガラスの破片などがないか確認します。破片が見つかったときは、慎重に清掃してください。有資格者およびプロジェクターの保守作業に熟知した人以外は、プロジェクターの内部点検を実行しないでください。適切な研修を受けていない人が装置の保守作業を行うと、ガラスの破片で怪我をする恐れがあります。

インフォメーションメニューの「使用時間」に基づき、交換ランプの番号を確認してください。
プロジェクターの電源を切り AC プラグを外します。プロジェクターを 1 時間以上そのままにして内部温度を下げます。

1. ランプカバー（A）のネジをゆるめ、ランプカバーを（B）方向に引き抜き外します。

2. ランプモジュールの押さえネジ 2 本（A）をゆるめ、取っ手（B）を持ってランプモジュールを引き抜きます。

3. ランプを外します。

4. 上記の手順 1 ～ 3 の逆の手順で新しいランプモジュールを取り付け、ランプカバーを元に戻します。

ランプカウンターをリセットする

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。ランプカウンターをリセット手順は、次のとおりです。

1. OSD 操作パネルの [MENU] ボタンを押すか、またはリモコンの [MENU] ボタンを押してメインメニューを表示します。

2. ▲ または ▼ を押して「リセット」までスクロールし、[SELECT] を押します。

3. リセット画面が表示されます。▲ または ▼ を押して、「ランプ 1 使用時間クリア」または「ランプ 2 使用時間クリア」（交換したランプモジュールに該当する番号）を選択し、[SELECT] を押します。

4. 確認画面が表示されます。◀ または ▶ を押して「確定」を選択し、ランプカウンターをゼロにリセットします。

交換ランプを注文する

交換ランプはお買い上げの販売店にご注文ください。ご注文の際は、次の情報をお知らせください。

- プロジェクターの品番 :PDG-DWT50JL
- 交換ランプの品番 :POA-LMP117
  （サービス部品コード : 610 335 8406）

故障かなと思ったら

インジケータ表示

プロジェクターでは、インジケータ表示によりプロジェクターのセットアップや内部部品の不具合をユーザーに警告します。プロジェクターの上面にあるインジケータ（LED）には、WARNING と LAMP1/LAMP2 の状態が示されます。また、プロジェクターの動作状態は、WARNING インジケータ (LED) に表示されます (インジケータの位置は、23 ページの「OSD 操作部およびステータス LED」を参照してください)。下表に、4 つのインジケータのステータスを説明します。

POWER インジケータ

プロジェクターのステータス	インジケータの状態	表示シーケンス	プロジェクターの状態
AC オフ	オフ	オフ	オフ
冷却中	橙で点滅	0.5 秒間オン 0.5 秒間オフ	電源オフ後
起動シーケンス	緑で点滅	0.5 秒間オン 0.5 秒間オフ	起動
スタンバイ	橙で点灯	オン	スタンバイ
電源オン	緑で点灯	オン	オン

WARNING インジケータ

プロジェクターのステータス	インジケータの状態	表示シーケンス	プロジェクターの状態
通常の状態	オフ	オフ	電源オン
カバー異常	赤で 1 回点滅 （繰り返し）	0.5 秒間オン 2.5 秒間オフ	エラー
温度異常	赤で 2 回点滅 （繰り返し）	（0.5 秒間オン >0.5 秒間オフ）*2 >2 秒間オフ	エラー
電源異常	赤で 3 回点滅	（0.5 秒間オン >0.5 秒間オフ）*3 >2 秒間オフ	エラー
ファン異常	赤で 4 回点滅 （繰り返し）	（0.5 秒間オン >0.5 秒間オフ）*4 >2 秒間オフ	エラー
キーロック状態 （キーを押した場合）	橙で点灯	オン	キーロック機能がオン
スタンバイ （省電力）	オフ	オフ	スタンバイ （省電力）
スタンバイ（ノーマル）	緑で点灯	オン	スタンバイ（ノーマル）

LAMP インジケータ

プロジェクターのステータス	インジケータの状態	表示シーケンス	プロジェクターの状態
ランプオフ	オフ	オフ	ランプオフ
ランプ交換時期	赤で点滅	0.5 秒間オン 0.5 秒間オフ	ランプ交換
ランプなし	赤で 1 回点滅（繰り返し）	0.5 秒間オン 2.5 秒間オフ	エラー
ランプ異常	赤で 6 回点滅（繰り返し）	（0.5 秒間オン >0.5 秒間オフ） >2 秒間オフ	エラー
冷却ランプ	橙で点滅	0.5 秒間オン >0.5 秒間オフ	ランプ 1 とランプ 2 の交換中
再点灯シーケンス	緑で点滅	0.5 秒間オン >0.5 秒間オフ	起動
ランプ交換時期オーバー	赤で点灯	オン	ランプ交換
エコモード	橙で点灯	オン	電源オン
ノーマルモード	緑で点灯	オン	電源オン

よくあるトラブルと対応策

ここでは、プロジェクターの使用中に起こりがちなトラブルの解決方法を説明します。トラブルが解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

トラブルの原因の多くは、接続不良などです。トラブルの解決に進む前に、次のことをお確めください。

- 別の電気機器の電源コードをコンセントに差し込み、電源が供給されているか確認してください。
- プロジェクターの電源が入っていることを確認してください。
- 接続部が確実に差し込まれていることを確認してください。
- 接続した機器の電源が入っていることを確認してください。
- 接続されている PC が一時停止モードになっていないか確認してください。
- 接続されたノート型パソコンが外部ディスプレイとして設定されているか確認してください。（通常、ノート型パソコンの Fn キーを組み合せて押すことで確認します。）

トラブルシューティングのヒント

トラブルごとのトラブルシューティングの項では、記載された順序を守ってください。守ることにより、トラブルを早期に解決できます。

不良箇所のない部品を交換することがないよう、トラブルを特定してください。
たとえば、電池を交換してもトラブルが解決しない場合は、電池を元に戻し、次のステップに進みます。

トラブルシューティング時の作業を記録してください。この情報は、サービス担当者に作業を依頼する際に役立ちます。

画像のトラブル

トラブル : 画像が映らない

1. ノート型パソコンまたはデスクトップ PC の設定を確認します。
2. すべての機器の電源を、正しい順序で切り、再び入れます。

トラブル : 画面がぼやける

1. プロジェクターのフォーカスを調整します。
2. リモコンまたはプロジェクターの [AUTO PC ADJ.] ボタンを押します。
3. プロジェクターとスクリーンの距離が指定された範囲内であることを確認します。
4. プロジェクターのレンズに汚れやほこりがないか確認します。
5. レンズキャップを外します。

トラブル : 画像が台形になる

1. プロジェクターをスクリーンに対して直角に設置します。
2. リモコンまたはプロジェクターの [KEYSTONE] ボタンを押して、トラブルを解決します。

トラブル : 画像が逆さまになる

- OSD の「設定」メニューの「天吊り & リア」セッティングを確認してください。

トラブル : 画像に縞が入る

1. OSD の「調整」メニューの「総ドット数」と「トラッキング」を調整します。
2. 接続されている PC のビデオカードが原因でないことを確認するために、プロジェクターを別の PC に接続します。

トラブル : 画像のコントラストが弱い

1. OSD の「調整」メニューの「コントラスト」を調整します。
2. OSD の「調整」メニューの「明るさ」を調整します。

トラブル : 投映画像の色が元の画像の色と合わない

- OSD の「詳細設定」メニューの「色温度」と「ガンマ」を調整します。

ランプのトラブル

トラブル : プロジェクターから光が出ない

1. 電源コードが確実に接続されていることを確認します。
2. 別の電気機器を使って電力供給が正常か点検します。
3. 正しい順序でプロジェクターを再起動し、[POWER] インジケータ（緑）が点灯することを確認します。
4. 最近ランプを交換した場合は、ランプの接続を確認してください。
5. ランプモジュールを交換します。
6. レンズキャップを外します。
7. 古いランプをプロジェクターに戻し、プロジェクターの修理を依頼してください。

トラブル : ランプが消える

1. 電圧の変化によってランプが消えることがあります。[POWER (ON/STAND-BY)] ボタンを 2 回押し、プロジェクターの電源を切ります。[POWER] インジケータが橙で点灯したら、[POWER] ボタンを押します。
2. ランプモジュールを交換します。
3. 古いランプをプロジェクターに戻し、プロジェクターの修理を依頼してください。

リモコンのトラブル

トラブル : プロジェクターがリモコンに反応しない

1. リモコンをプロジェクターのリモコン受光部に向けます。
2. リモコンとリモコン受光部の間に障害物がないことを確認します。
3. 室内の蛍光灯をすべて消します。
4. 電池の極性を確認します。
5. 電池を交換します。
6. 近くにある赤外線対応装置の電源を切ります。
7. リモコンコードとプロジェクターのコードが一致していることを確認します。
8. リモコンの背面カバーのリセットスイッチが [Use] 位置になっていることを確認します。
9. リモコンの修理を依頼してください。

音声のトラブル

トラブル : 音が出ない

1. 音量を調整します。
2. オーディオ入力の音量を調整します。
3. オーディオ機器との接続を確認します。
4. 別のスピーカーでオーディオ出力をテストします。
5. プロジェクターの修理を依頼してください。

トラブル : 音がひずむ

1. オーディオ機器との接続を確認します。
2. 別のスピーカーでオーディオ出力をテストします。
3. プロジェクターの修理を依頼してください。

プロジェクターの修理を依頼する

プロジェクターのトラブルを解決できない場合は、修理を依頼する必要があります。その場合、プロジェクターを元の梱包箱に入れ、トラブルの内容についての説明とトラブルを解決するときに行った作業のチェックリストを添付します。サービス担当者にとってこれらの情報が役立ちます。プロジェクターをお買い上げの販売店に返送してください。

仕　様

プロジェクター本体

下記に、プロジェクターの性能に関する技術情報を示します。

光学仕様

項　目	仕　様
投映系	シングル DLP® チップ、4 セグメントカラーホイール
解像度	1280 × 768 画素 *（UXGA、リフレッシュレート : 60Hz、SXGA+、 リフレッシュレート：60Hz（DVI-D 端子））
ランプ	AC260W（エコモードの場合： 230W）、2 ランプ系統
イメージサイズ（対角）	1.27m 〜 5.08m（LNS-W41） 1.02m 〜 12.7m（LNS-W40、LNS-S40、LNS-T40、LNS-T41）
レンズ（オプション）	LNS-W41:　パワーフォーカス：投映距離 0.77：1、F2.0、f=11.4mm LNS-W40:　パワーズーム＆フォーカス：投映距離 1.33-1.79：1、F1.8-2.3、f=19.3-25.8mm LNS-S40:　パワーズーム＆フォーカス：投映距離 1.78-2.35：1、F1.7-1.9、f=26-34mm LNS-T40:　パワーズーム＆フォーカス：投映距離 2.22-4.43：1、F2.1-2.9、f=32-63mm LNS-T41:　パワーズーム＆フォーカス：投映距離 4.43-8.3：1、F2.2-3.1、f=63.5-117.4mm
レンズシフト	上下 + 0.5V、左右 +/ー 0.1H（LNS-W40、LNS-S40、LNS-T40、LNS-T41）

*　有効画素数は 99.99%以上です。

電気的仕様

項　目	仕　様
入力	アナログ RGB（Mini D-Sub 15P）× 1 系統 アナログ RGB R/Cr、G/Y、B/Cb、H、V（BNC × 5）× 1 系統 Digital RGB（DVI-D 24P）× 1 系統 Component Y、Cb/Pb、Cr/Pr（RCA × 3）× 1 系統 Component（Mini D-Sub 15P）（COMPUTER 1 IN と共用）× 1 系統 S-Video（Mini DIN 4P）× 1 系統 Video × 1 系統 Stereo Mini Audio × 3 系統 （L/R）RCA Audio × 2 系統 Remote Control（Stereo Mini）× 1 系統
出力	RGB（Mini D-Sub 15P）× 1 系統 Stereo Mini Audio × 1 系統 Screen Trigger × 1 系統
制御	PC 制御ポート（D-Sub 9P）× 1、GPIO（Mini D-sub 15P）× 1
USB ポート	B タイプ（サービス用）× 1
LAN ポート	RJ-45
ビデオ対応信号	NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-60/N/M/B/G/H/I)、SECAM、HDTV:1080i、720p、 SDTV:576p、576i、480p、480i
走査周波数	水平：15kHz、 31 ～ 90kHz（RGB:31kHz 以上）垂直：50Hz ～ 85Hz
ビデオ帯域幅	RGB：100MHz (－ 3dB)
色再現	1670 万色、フルカラー
水平解像度	NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60：540TV 本 SECAM：300TV 本 RGB：水平 1280 ドット×垂直 768 ドット
外部制御	RS232、IR、LAN、GPIO
対応する同期方式	分離同期 / コンポジット同期 /Sync on G
内蔵スピーカー	3W × 2
電源要件	AC100V、50/60Hz
入力電流	7.7A
消費電力	655W - 2 灯ノーマルモード /580W - 2 灯エコモード 350W - 1 灯ノーマルモード /315W - 1 灯エコモード 30W 以下 - スタンバイモード 5W 以下 - スタンバイモード、省電力

機械的仕様

項　目	仕　様
寸法	幅 505mm ×高さ 192mm ×奥行 385mm （突起部含まず）
質量	16.5kg

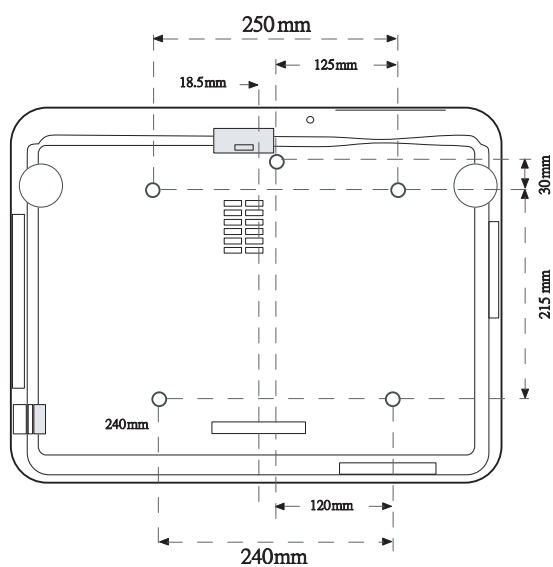
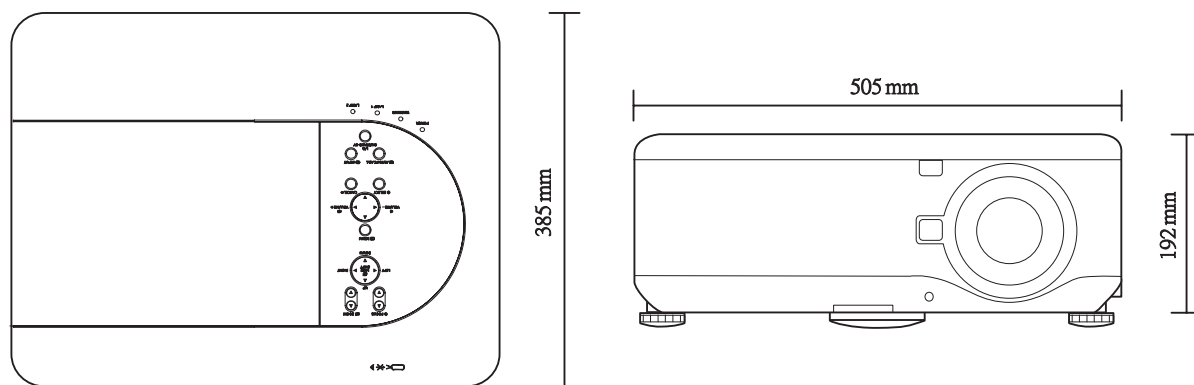
動作条件

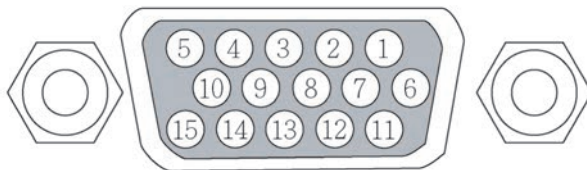
項　目	仕　様
動作温度	5 ～ 40℃、湿度 10%～ 90%（結露なきこと）
保管温度	－ 10 ～ 60℃、湿度 5%～ 90%（結露なきこと）

別売品

下記に別売品を示します。ご注文の際は、品名と品番を販売店にお知らせください。

標準ズームレンズ : LNS-S40
長焦点ズームレンズ : LNS-T40
超長焦点ズームレンズ : LNS-T41
短焦点ズームレンズ : LNS-W40
短焦点固定ズームレンズ : LNS-W41
6 セグメントカラーホイール : POA-CW01
ワイヤードリモートケーブル（30m） : POA-CA-RC30
天吊り金具ブラケット : POA-CHB-DXT10
天吊り金具（高天井用） : POA-CHL-PL02
天吊り金具（低天井用） : POA-CHS-PS02

寸法図

Ceiling Mount: 5-M4
Depth: 12mm Max.

ミニ D-Sub 15 ピン入力コネクタのピン割当て

信号レベル
ビデオ信号 :　0.7Vp-p（アナログ）
同期信号 :　TTL レベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑または Sync on Green	Y
3	青	Cb
4	アース端子	
5	アース端子	
6	接地（R）	接地（Cr）
7	接地（G）	接地（Y）
8	接地（B）	接地（Cb）
9	未接続	
10	接地（同期）	
11	未接続	
12	双方向データ（SDA）	
13	垂直同期またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	データクロック	

入力信号対応表

下表に、対応する信号タイプ、解像度、周波数リフレッシュレートを示します。
水平周波数： 15kHz、31kHz ～ 90kHz
垂直周波数： 50Hz ～ 85Hz

信号	解像度	リフレッシュレート		Component	Video	RGB	DVI
		水平周波数 [KHz]	垂直周波数 [Hz]				
VGA	640 x 350	31.5	70.1	--	--	O	O
VESA(DMT)	640 x 350	37.9	85.1	--	--	O	O
	720 x 350	31.5	70.0	--	--	O	O
CGA84	640 x 400	31.5	70.1	--	--	O	O
VESA(DMT)	640 x 400	37.9	85.1	--	--	O	O
	720 x 400	31.5	70.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	720 x 400	37.9	85.0	--	--	O	O
SMT	720 x 480	31.5	60.0	--	--	O	O
SMT	640 x 480	31.5	60.0	--	--	O	O
VESA	640 x 480	37.9	72.8	--	--	O	O
VESA(DMT)	640 x 480	37.5	75.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	640 x 480	43.3	85.0	--	--	O	O
VESA	800 x 600	35.2	56.3	--	--	O	O
VESA	800 x 600	37.9	60.3	--	--	O	O
VESA	800 x 600	46.9	75.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	800 x 600	48.1	72.2	--	--	O	O
VESA(DMT)	800 x 600	53.7	85.1	--	--	O	O
	1024 x 768i	35.5	43.0	--	--	O	O
VESA	1024 x 768	48.4	60.0	--	--	O	O
VESA	1024 x 768	56.5	70.1	--	--	O	O
VESA(DMT)	1024 x 768	60.0	75.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1024 x 768	68.7	85.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1152 x 864	67.5	75.0	--	--	O	O
	1280 x 720	37.5	50	--	--	O	O
	1280 x 720	45	60	--	--	O	O
DMT	1280 x 768	47.4	60.0	--	--	O	O
DMT	1280 x 768	47.8	60.0	--	--	O	O
DMT	1280 x 768	60.3	75.0	--	--	O	O
DMT	1280 x 768	68.6	85.0	--	--	O	O
	1280 x 800	41.2	50	--	--	O	O
DMT	1280 x 800	49.7	60	--	--	O	O
	1280 x 800	49.6	60.05	--	--	O	O
DMT	1280 x 800	62.8	75	--	--	O	O
DMT	1280 x 800	71.6	85	--	--	O	O
VESA(DMT)	1280 x 960	60.0	60.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1280 x 960	85.9	85.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1280 x 1024	64.0	60.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1280 x 1024	80.0	75.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1280 x 1024	91.1	85	--	--	O	O
	1360 x 768	47.7	60.0	--	--	O	O
	1366 x 768	48.36	60	--	--	O	O
	1376 x 768	48.36	60	--	--	O	O
DMT	1400 x 1050	64.7	60.0	--	--	O	O
DMT	1400 x 1050	65.3	60.0	--	--	O	O
DMT	1400 x 1050	82.3	75.0	--	--	O	O
CVT	1440 x 900	55.9	60.0	--	--	O	O
CVT	1440 x 900	70.6	75.0	--	--	O	O
CVT	1440 x 900	80.4	85.0	--	--	O	O
VESA(DMT)	1600 x 1200	75.0	60.0	--	--	O	O

信号	解像度	リフレッシュレート 水平周波数 [KHz]	リフレッシュレート 垂直周波数 [Hz]	Component	Video	RGB	DVI
CVT	1680 x 1050	65.3	60.0	--	--	O	O
1035i	1920x1035i	33.75	60	--	--	O	O
D-1080p/30	1920 x 1080	33.75	30	--	--	O	O
D-1080p/25	1920 x 1080	28.125	25	--	--	O	O
D-1080p/24	1920 x 1080	27	24	--	--	O	O
1080P/50	1920 x 1080	56.25	50	--	--	O	O
1080P/60	1920 x 1080	67.5	60	--	--	O	O
CVT	1920 x 1200	74.0	60.0	--	--	O	O
Apple Macintosh	640 x 480	35.0	66.7	--	--	O	O
	832 x 624	49.7	74.5	--	--	O	O
	1024 x 768	60.2	74.9	--	--	O	O
	1152 x 870	68.7	75.1	--	--	O	O
NTSC/NTSC4.43	クロマ副搬送波 , 3.58 MHz & 4.43 MHz			--	O	--	--
PAL	CCIR, クロマ副搬送波 , 4.43 MHz			--	O	--	--
SECAM	CCIR 副搬送波 , 4.25/4.4 MHz			--	O	--	--
SDTV	480i	15.8	60.0	O	--	--	--
	576i	15.6	50.0	O	--	--	--
EDTV	480p	31.5	60.0	O	--	--	--
	576p	31.3	50.0	O	--	--	--
HDTV	720p	45.0	60.0	O	--	--	--
	720p	37.5	50.0	O	--	--	--
	1080i	33.8	60.0	O	--	O	O
	1080i	28.1	50.0	O	--	O	O

O ： 対応

-- ： 非対応

 メモ

数字に続く "i" は、インターレース信号を示しています。

インターレース信号が接続された場合は、画面にチラツキが生じることがあります。

プロジェクター固有の解像度（1280 × 768）よりも解像度が高い（または低い）画像は、圧縮されます。

コンポジットビデオ信号および Sync on Green 信号によっては、正しく表示されない場合があります。

上の表に指定した信号以外の信号は、正しく表示されない場合があります。その場合は、PC でリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。変更方法は、お使いになっている PC の表示プロパティのヘルプ情報を参照してください。

PC コントロールコードおよびケーブル接続

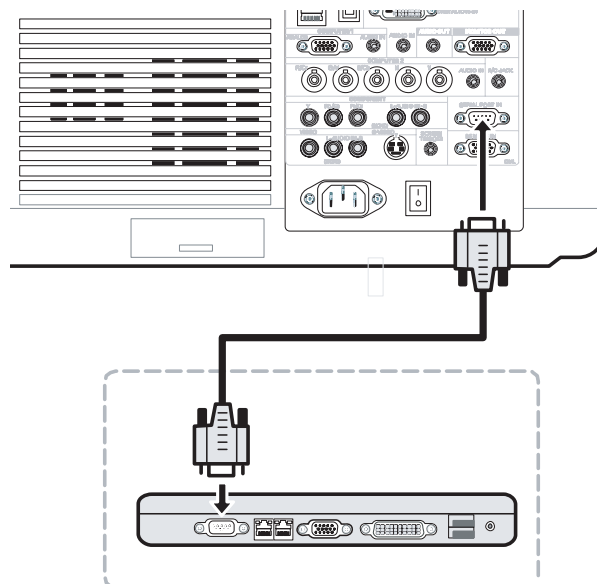
本機をコンピュータに接続することで、コンピュータによる制御や管理を行うことができます。

1. 本機の SERIAL PORT IN とコンピュータの RS-232C 端子をシリアルクロスケーブルで接続します。

2. コンピュータに付属している通信ソフトを起動して、通信オプションを次のように設定します。

ボーレート	： 38400bps
パリテリィチェック	： なし
ストップビット	： 1
フロー制御	： なし
データビット	： 8

3. 制御したいコマンドを入力し、Enter キーを押します。

（例）
入力をコンピュータ 2 に切り替える場合：C、0、6 と入力して、Enter キーを押します。

制御コマンドには次のものがあります。
下記以外のコマンドについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

制御コマンド一覧

コマンド	機　能
C00	電源オン
C01	電源オフ (入力直後)
C05	コンピュータ 1 を選択
C06	コンピュータ 2 を選択
C07	コンピュータ 3 を選択
C08	コンポーネントを選択
C09	音量を上げる
C0A	音量を下げる
C0B	音声のミュートを設定
C3A	ポインター（右）
C3B	ポインター（左）
C3C	ポインター（上）

コマンド	機　能
C0C	音声のミュートを解除
C0D	映像のミュートを設定
C0E	映像のミュートを解除
C0F	アスペクト比4:3
C10	アスペクト比16:9
C1C	メニューオン
C1D	メニューオフ
C33	ビデオを選択
C34	S−ビデオを選択
C5D	レンズシフト（上）
C5E	レンズシフト（下）
C5F	レンズシフト（左）

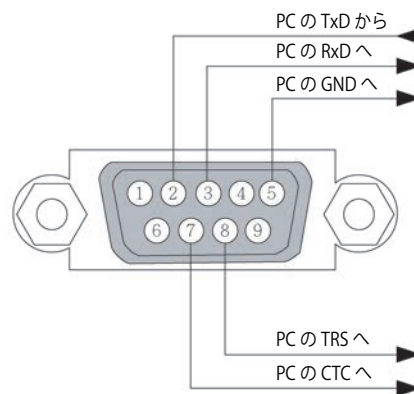
コマンド	機　能
C3D	ポインター（下）
C3F	確定（Enter）
C46	ズームアウト
C47	ズームイン
C4A	フォーカスアウト
C4B	フォーカスイン

コマンド	機　能
C60	レンズシフト（右）
C89	イメージのサイズ、位置、解像度を最適化
C8E	キーストーン補正（上）
C8F	キーストーン補正（下）
C90	キーストーン補正（右）
C91	キーストーン補正（左）

ステータスリードコマンド一覧

コマンド	機　能
CR0	ステータスリード
CR6	温度確認

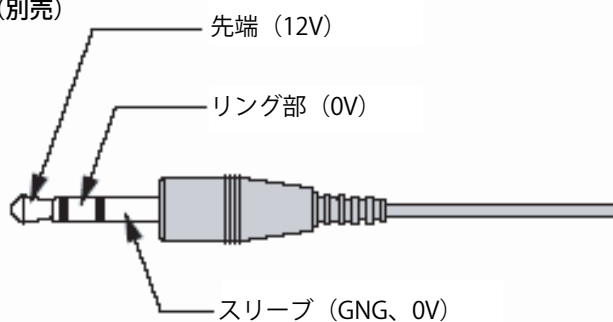
PC コントロールコネクタ（DIN-9P）

メモ

1. ピン 1、4、6、9 は使用していません。
2. ケーブルの接続を簡単にするには、ケーブルの両端で「Request to Send」と「Clear to Send」を一緒にジャンパーで結線してください。
3. 長いケーブルの場合、プロジェクターメニューで通信速度を 9600bps にすることをお薦めします。

スクリーントリガ

プロジェクターの電源を入れると、スクリーントリガ出力からスクリーンコントローラへ低電圧トリガ信号が送信され、スクリーンは下降します。プロジェクターの電源を切ると、スクリーントリガからスクリーンコントローラへの低電圧トリガ信号の送信が中断し、スクリーンは上昇します。

 メモ

この機能を使用するには、スクリーントリガ機能をオンにする必要があります。詳細は 101 ページの「スクリーントリガ」を参照してください。

メモ

スクリーンコントローラは、スクリーンメーカーから提供されサポートされています。

 メモ

このジャックは、指定された目的以外には使用しないでください。SCREEN TRIGGER ミニジャックにワイヤードリモコンを接続すると、リモコンが損傷する恐れがあります。

HTTP ブラウザによる操作

概要

HTTP サーバー機能を使用すると、専用のソフトウェアをインストールせずに Web ブラウザからプロジェクターをコントロールできます。その場合、Web ブラウザは Microsoft Internet Explorer 4.x 以上のバージョンを使用してください。（本機は、JavaScript と Cookie を使用するため、これらの機能を受け付けるようにブラウザを設定してください。設定方法は、ブラウザのバージョンによって異なります。ご使用になっているソフトウェアのヘルプファイルなどを参照してください。）

HTTP サーバー機能へアクセスするには、URL の入力欄に次のアドレスを指定してください。

http://< プロジェクターの IP アドレス >/index.html

http://< プロジェクターの IP アドレス >/lanconf.html

メモ

ネットワークの設定によっては、表示やボタンのレスポンスが遅くなる場合や、操作を受け付けない場合があります。その場合は、ネットワーク管理者に相談してください。プロジェクターのボタンを短い周期で何度も押すと、プロジェクターが応答しない場合があります。その場合、しばらく時間をおいてから操作を繰り返してください。プロジェクターが応答しない場合は、本体の電源をいったん切り、再度入れます。

Web ブラウザをお使いになる前に

ネットワークを接続しプロジェクターをセットアップし、不備がないことを確認してから、ブラウザを操作してください（詳細は 98 ページの「ネットワーク設定」を参照してください）。

プロキシサーバーのタイプや設定方法によっては、プロキシサーバーを使用したブラウザによる操作ができない場合があります。キャッシュの効果によっては、プロキシサーバーのタイプが原因で、実際に設定された項目が表示されない可能性があります。また、ブラウザから設定したコンテンツが操作に反映されない場合もあります。他に選択肢がない場合を除き、プロキシサーバーを使用しないことをお薦めします。

ブラウザによる操作に対応したアドレスの処理

ブラウザを使ってプロジェクターを操作するときにアドレスとして入力するか、または URL に入力する実際のアドレスについては、ホスト名をそのまま使用できます。ただし、その場合、ネットワーク管理者がプロジェクターの IP アドレスに対応したホスト名をドメインネームサーバーにすでに登録しているか、またはプロジェクターの IP アドレスに対応したホスト名が、使用しているコンピュータの HOSTS ファイルに設定されていることが必要です。

例 1

プロジェクターの IP アドレスが **192.168.73.1** の場合、**http://192.168.73.1/index.html** にアドレスを指定するか、URL の入力欄に **http://192.168.73.1/index.html** を指定することにより、HTTP サーバー機能へアクセスできます。

ネットワーク設定の構成

ネットワーク設定画面の表示例を次に示します。
http://< プロジェクターの IP アドレス >/lanconf.html

Domain

Host Name: ホスト名を入力します。英数字で 60 文字まで使用できます。
Domain Name: プロジェクターに接続されたネットワークのドメイン名を入力します。英数字で 60 文字まで使用できます。
Apply: エントリを反映させます。

Mail

Alert Mail:「Enable」をクリックするとアラートメール機能がオンになります。このオプションは、ワイヤード LAN 使用時に電子メールを介してエラーメッセージをコンピュータに送信します。プロジェクターのランプの使用時間が上限に達したか、またはプロジェクターでエラーが発生した場合、エラーメッセージが通知されます。
Sender's Address: 送信元のアドレスを入力します。英数字（記号を含む）で 60 文字まで使用できます。
SMTP Server Name: プロジェクターに接続された SMTP サーバーの名前を入力します。英数字で 60 文字まで使用できます。
Recipient's Address 1 to 3: 送信先のアドレスを入力します。英数字（記号を含む）で 60 文字まで使用できます。
Apply: クリックすると設定が適用されます。

Test Mail

テスト用メールを送信して､設定が正しいことを確認します。この機能をオンにするには､「Execute」をクリックします。
Test Mail Status Button: クリックするとテスト結果が表示されます。

プロジェクターが通知するメッセージの例 :
プロジェクター名 :XXXX
ランプ 1 または 2 の使用時間 :xxxx [H]
ランプの使用時間が上限に達しました。ランプを交換してください。

メモ

テスト用メールに入力したアドレスが正しくないと、アラートメールが届かない場合があります。その場合、「Recipient's Address」で正しいアドレスが設定されているか確認してください。
「Sender's Address」、「SMTP Server Name」、または「Recipient's Address 1-3」が選択されていない場合、「Test Mail」は使用できません。

PJLink

このオプションを使用すると、PJLink 機能を使用するときにパスワードを設定できます。
On/Off: パスワードを有効または無効にします。
Password:32 文字以下のパスワードを入力します。

メモ

PJLink は、メーカー各社のプロジェクターを管理するための標準プロトコルです。この標準プロトコルは、2005 年に社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）により策定されました。
本機は、PJLink クラス 1 のすべてのコマンドに対応します。

PROJECTOR INPUT	PJLINK INPUT	PARAMETER
COMPUTER1	RGB1	11
COMPUTER2	RGB2	12
VIDEO	VIDEO1	21
S-VIDEO	VIDEO2	22
COMPONENT	VIDEO3	23
COMPUTER3	DIGITAL1	31

HTTP サーバーの構造

プロジェクターをネットワークに接続し、正しく構成すると、Web ブラウザにより次の画面が表示されます。
http://< プロジェクターの IP アドレス >/index.html

機　能	設　定	仕　様
Power	オン オフ	プロジェクターの電源をコントロールします。
Volume	▲ - 音量調整値を大きくします。 ▼ - 音量調整値を小さくします。	プロジェクターの音量をコントロールします。
Mute	Picture On - 映像をミュートします。 Picture Off - 映像のミュートを取り消します。 Sound On - 音声をミュートします。 Sound Off - 音声ミュートを取り消します。 OSD On - オンスクリーン表示をミュートします。 All On - 映像、音声、OSD 表示機能をそれぞれミュートします。 All Off - 映像、音声、OSD 表示機能のそれぞれのミュートを取り消します。	プロジェクターのミュート機能をコントロールします。
Image	Brightness ▲▼ - 明るさの調整値を増減します。 Contrast ▲▼ - コントラストの調整値を増減します。 Color ▲▼ - 色の濃さの調整値を増減します。 Tint ▲▼ - 色合いの調整値を増減します。 Sharpness ▲▼ - シャープネスの調整値を増減します。	プロジェクターの映像をコントロールします。
Input Select	Computer1 - COMPUTER 1 IN コネクタに切り替えます。 Computer2 - COMPUTER 2 IN コネクタに切り替えます。 Computer3 - COMPUTER 3 IN コネクタに切り替えます。 Component - COMPONENT IN コネクタに切り替えます。 Video - VIDEO IN コネクタに切り替えます。 S-Video - S-VIDEO IN コネクタに切り替えます。	プロジェクターの入力コネクタを切り替えます。
Projector Status	REFRESH - 利用可能な最新情報でパネルを更新します。 Lamp1 life remaining - ランプ 1 の交換までの残り時間をパーセントで示します。 Lamp2 life remaining - ランプ 2 の交換までの残り時間をパーセントで示します。 Lamp1 time - ランプ 1 の使用時間を示します。 Lamp2 time - ランプ 2 の使用時間を示します。 PJ time - プロジェクターの使用時間を示します。 Error Status - プロジェクター内部で発生したエラーの状態を示します。	特定のプロジェクター機能のステータスを表示します。

メモ

コントロール可能な機能は、プロジェクターに入力される信号によって異なります（詳細は、49 ページの「入力の選択」を参照してください）。

15 ピン GPIO コントロール

タイプ :15 ピン D-SUB コネクタ（メス）（黒）

ピン番号	ショート / オープン				機　能
14	ショート オープン				外部制御モードオン 外部制御モードオフ
5	ショート オープン				電源オン 電源オフ
10	ショート オープン				画像ミュートオン 画像ミュートオフ
3	ショート オープン				音声ミュートオン 音声ミュートオフ
4, 8, 12, 11	11	12	8	4	
	オープン	オープン	オープン	オープン	コンピュータ 1
	オープン	オープン	オープン	ショート	ビデオ 1
	オープン	オープン	ショート	オープン	S-VIDEO1
	オープン	オープン	ショート	ショート	COMPONENT
	オープン	ショート	オープン	オープン	使用不可
	オープン	ショート	オープン	ショート	コンピュータ 2
	オープン	ショート	ショート	オープン	使用不可
	オープン	ショート	ショート	ショート	使用不可
	ショート	オープン	オープン	オープン	コンピュータ 3（DV1）
	ショート	オープン	オープン	ショート	使用不可
	ショート	オープン	ショート	オープン	使用不可
	ショート	オープン	ショート	ショート	使用不可
	ショート	ショート	オープン	オープン	使用不可
	ショート	ショート	オープン	ショート	使用不可
	ショート	ショート	ショート	オープン	使用不可
	ショート	ショート	ショート	ショート	使用不可

※「ショート」とは、15 番ピンと短絡することを意味します。

チェックリスト

アフターサービスを依頼される前に、118 ページの「故障かなと思ったら」を参考にして、次のことをチェックし修理が必要か確認してください。このチェックリストは、トラブルを効率的に解決する上で役立ちます。
トラブルの発生頻度 : 常時、ときどき（頻度 :　　　回）、その他（　　　）

電源

- [ ] 電源が入らない([POWER]インジケータが緑で点灯しない)。「ステータスインジケータ（WARNING）」も参照してください
  - [ ] 電源コードのプラグはコンセントに完全に差し込まれている
  - [ ] 主電源スイッチはON位置になっている
  - [ ] ランプカバーは正しく取り付けられている
  - [ ] ランプ交換後、ランプ使用時間をリセットした
- [ ] 操作中にプロジェクターが停止する
  - [ ] 電源コードのプラグはコンセントに完全に差し込まれている
  - [ ] ランプカバーは正しく取り付けられている
  - [ ] パワーマネージメントはオフになっている

映像と音声

- [ ] PCまたはビデオ機器からプロジェクターに画像が送られない
  - [ ] プロジェクターを PC に接続し、PC を起動しても画像は表示されない
  - [ ] プロジェクターへ送信されるノート型パソコンの信号出力はオンになっている
  - [ ] Fnキーと12個ある機能キーの1つを組み合わせることで、外部ディスプレイのオン/オフが制御できる
  - [ ] 画像が映らない（青バックグラウンド、ロゴバックグラウンド、表示なし）
  - [ ] [AUTO PC ADJ.] ボタンを押しても画像は表示されない
  - [ ] プロジェクターのメニューでリセット操作を行っても画像は表示されない
  - [ ] 信号ケーブルのプラグは入力コネクタに完全に差し込まれている
  - [ ] スクリーンにメッセージが表示される
    （＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
    プロジェクターに接続されたソースはアクティブで使用可能
  - [ ] 明るさやコントラストを調整しても画像は表示されない
  - [ ] プロジェクターは入力ソースの解像度と周波数に対応している
- [ ] 画面が暗い
  - [ ] 明るさやコントラストを調整しても画面は変わらない
- [ ] 画像が歪む
  - [ ] 「キーストーン」調整を行っても画像は台形のままである
- [ ] 画像の一部が欠ける
  - [ ] [AUTO PC ADJ.] ボタンを押しても画像は変わらない
  - [ ] プロジェクターのメニューでリセット操作を行っても画像は変わらない
- [ ] 画像が上下にシフトしている
  - [ ] 水平位置と垂直位置のコンピュータ信号は正しく調整されている
  - [ ] プロジェクターは入力ソースの解像度と周波数に対応している
  - [ ] 一部の画素が欠ける
- [ ] 画像がちらつく
  - [ ] [AUTO PC ADJ.] ボタンを押しても画像は変わらない
  - [ ] プロジェクターのメニューでリセット操作を行っても画像は変わらない
  - [ ] 画像にちらつきや色ずれがある
- [ ] 画像が不鮮明、ピントがずれる
  - [ ] PCで信号の解像度を調べプロジェクター固有の解像度に変更しても画像は変わらない
  - [ ] フォーカスを調整しても画像は変わらない
- [ ] 音が出ない
  - [ ] オーディオケーブルはプロジェクターの音声入力に正しく接続されている
  - [ ] 音量レベルを調整しても画像は変わらない
  - [ ] AUDIO OUTはオーディオ機器に接続されている

その他

- [ ] リモコンで操作できない
  - [ ] プロジェクターのリモコン受光部とリモコンの間に障害物はない
  - [ ] プロジェクターの近くに、赤外線リモコンを妨害する蛍光灯がある
  - [ ] 新しい電池が入っている。極性は正しい向きになっている
  - [ ] リモコンコードはプロジェクターのコードと一致している
- [ ] プロジェクターのキャビネットのボタンで操作できない
  - [ ] 操作パネルロックがオンになっているか、またはメニューでロックがオンになっている
  - [ ] [CANCEL]ボタンを10秒以上押しても状況は変わらない

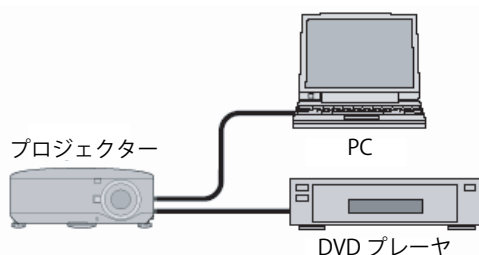
下記の用紙に、トラブルの詳細を記入してください。

プロジェクターをお使いになっている環境および用途に関する情報

プロジェクター	**設置環境**
品番 :	画面サイズ : インチ
製造番号 :	画面タイプ : □ホワイトマット□ビーズ□偏光
お買い上げ日 :	□ワイドアングル□ハイコントラスト
ランプ使用時間 : ランプモード : □ノーマル□エコ	投映距離 : m
入力信号に関する情報 :	向き : □天吊り□床置き
水平同期周波数 [ ] kHz	電源コードの接続状態 :
垂直同期周波数 [ ] Hz	□ 壁のコンセントに直接接続
同期極性 H □ (+) □ (-)	□ 延長コードまたは他の機器(台数 :____________) と接続
V □ (+) □ (-)	□ コードリールまたは他の機器(台数 :____________) と接続
同期タイプ □セパレート□コンポジット	
□ Sync on Green	
WARNING インジケータ	
点灯 □橙□緑	
点滅サイクル [ ] 回	
リモコン品番 :	

信号ケーブル
お使いになっている信号ケーブル
(三洋電機の標準ケーブルまたは他社製ケーブル)
品番 : 長さ : m
分配増幅器
品番 :
切替器
品番 :
アダプター
品番 :

コンピュータ
メーカー :
品番 :
ノート型パソコン□ / デスクトップパソコン□
解像度 :
リフレッシュレート :
ビデオアダプタ :
その他 :

ビデオ機器
VCR、DVD プレーヤ、ビデオカメラ、ビデオゲーム機など
メーカー :
品番 :

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
（ただし、ランプは 6 ヶ月です）

■保証期間中の修理
保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理
お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に
「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと
- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について
この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、
お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	● 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品か劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。		ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ	
品　番	PDG-DWT50JL
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

ＤＩカンパニー
プロジェクター事業部
販売企画部　国内販売課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町 1 - 1

1AA6P1P5557-- (KW3CL)